



# イ ノ サ 、 Rouge

ルージュ

vol. 1

Sakamoto Shin'ichi

坂本眞一

出典：安達正勝「死刑執行人サンダー」

★この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。



18世紀末フランス  
気高き理想を求め 血の海にもかく  
革命の時代を迎えようとしていた——…

国王ルイ十六世  
王妃マリー-アントワネット  
デュ・バリ-夫人  
革命家ロベスピエール  
ダントン サン-ジュスト  
善悪貴賤を問わぬ3000人余りの首が  
ギロチンの刃によって刎ねられることになる

その血塗られた歴史の影に  
血と刃を司る“紅き純真”の存在があったことを  
知る者は少ない——…





Sakamoto Shin'ichi

出典: 安達正勝「死刑執行人サンソン」

vol.1





n°1 ち まみ 血塗れの純真 イノサン

坂 本 眞 一





i n n o c e n t

Rouge

vol. 1

# 静かなる革命

La Révolution tranquille

フランス革命前夜の1772年——、  
サンソン家長兄シャルル・アンリは死刑執行人として成長を遂げ、  
妹マリー・ジョセフはペルサイユで自由に生きていた。  
だがある日、マリー・ジョセフは  
初恋の男アランを貴族に殺害される…!!  
純真たちの物語は、紅き革命編「Rouge」に突入する——!!!

Ce volume 1 contient les épisodes numéro 1 à 6.

◎この作品は、歴史上の人物・団体についての取材を基に、一部脚色して構成したものです。

ぎゃあ……

やめてくれ……

やめろ……

おい見ろ  
骨が見えてる  
ぞ!!!

父ちゃん

ううう

俺の腕が……  
俺の腕が……

痛いーよ……

づあ——  
つ……

おお神よ……

もうこんな苦痛は  
たくさんだ  
早く殺してくれ  
——!!!

痛いーよ……

おい待て  
どこへ行く!?  
逃げる気か!?



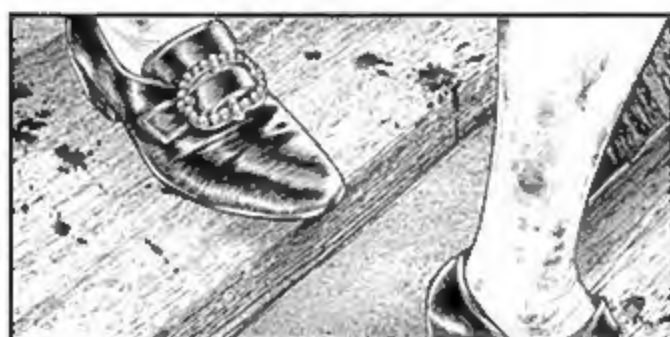
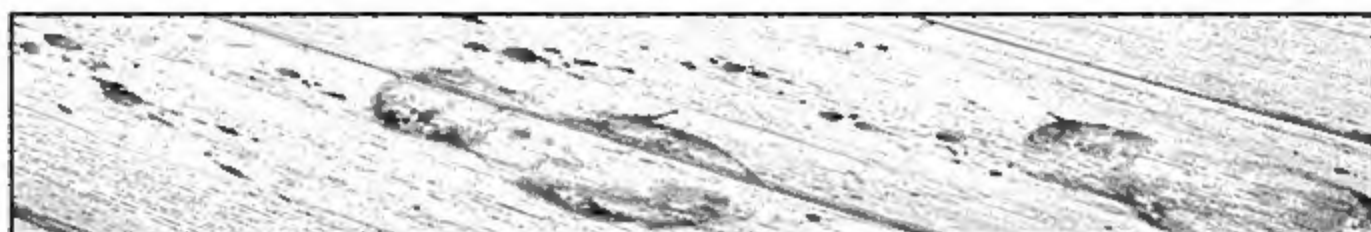




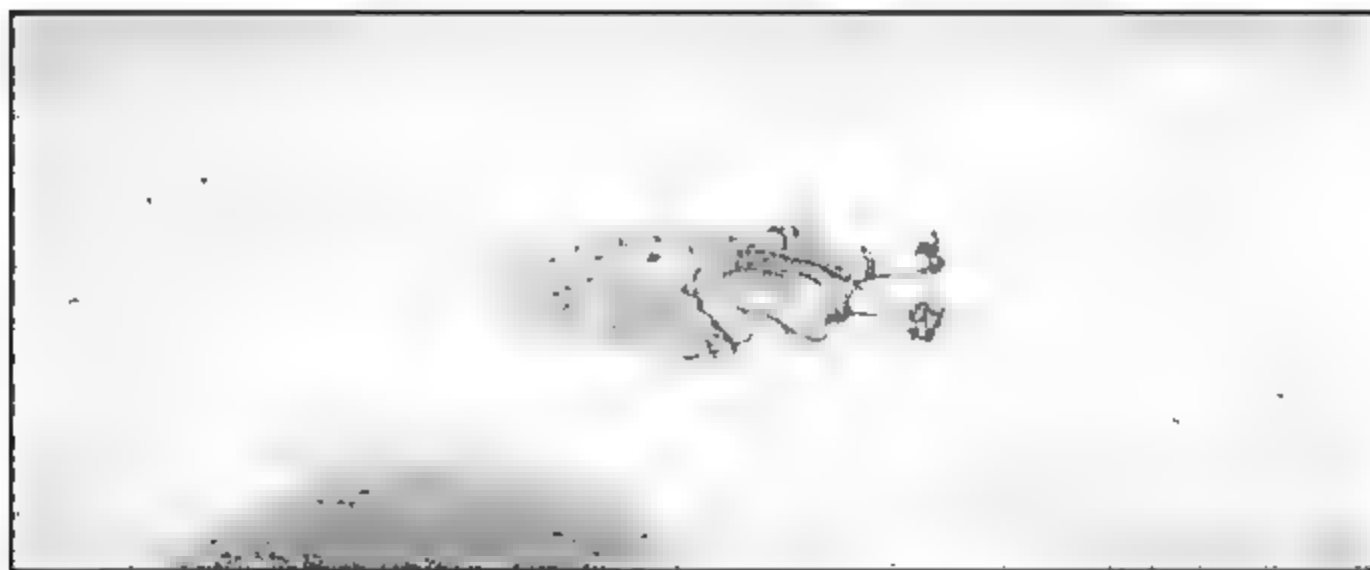
ねん  
1772年  
がつ  
3月

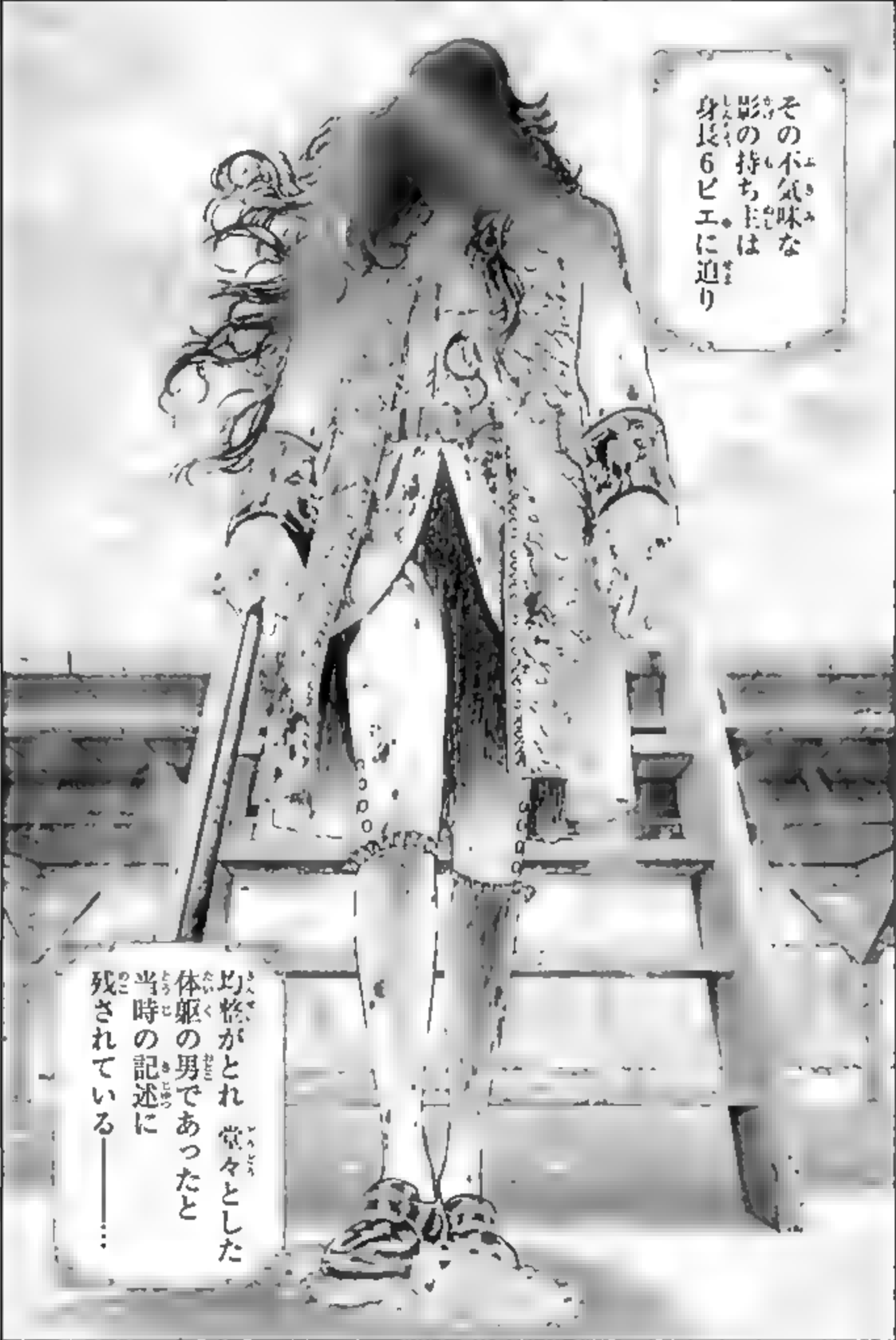
し ちょうしや  
パリ市庁舎

Hôtel de ville de Paris







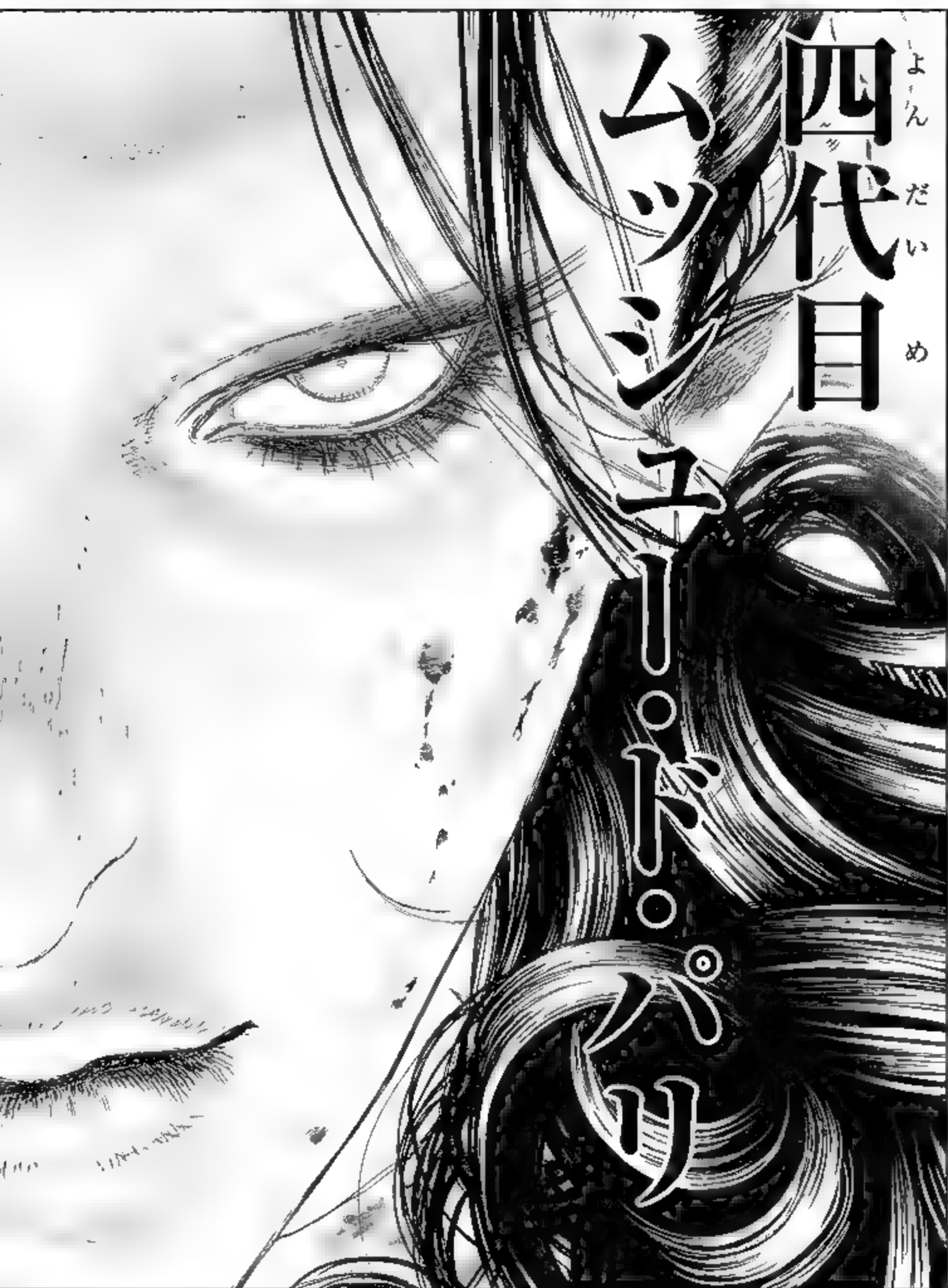


その不気味な  
影の持ち主は  
身長6ピエに迫り

均整がとれ 堂々とした  
体躯の男であったと  
当時の記述に  
残されている――

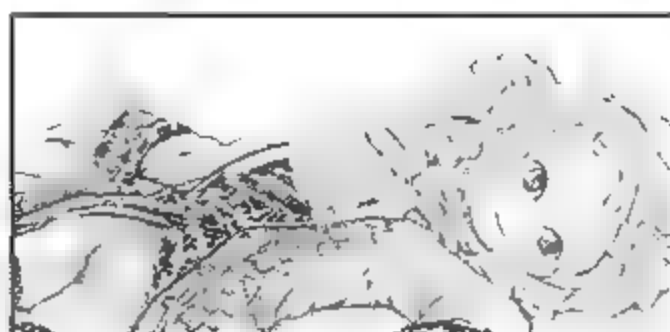






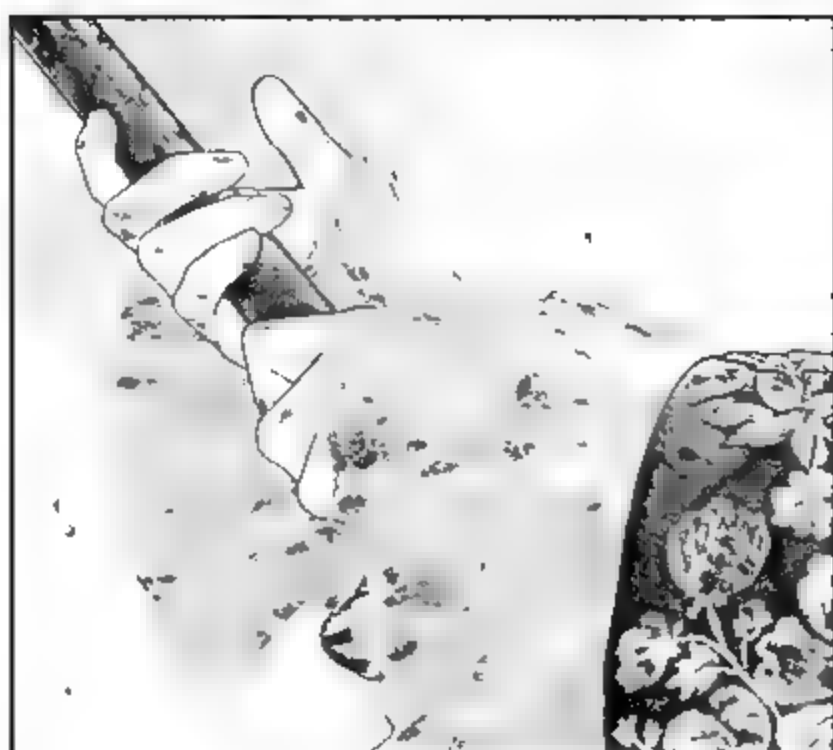












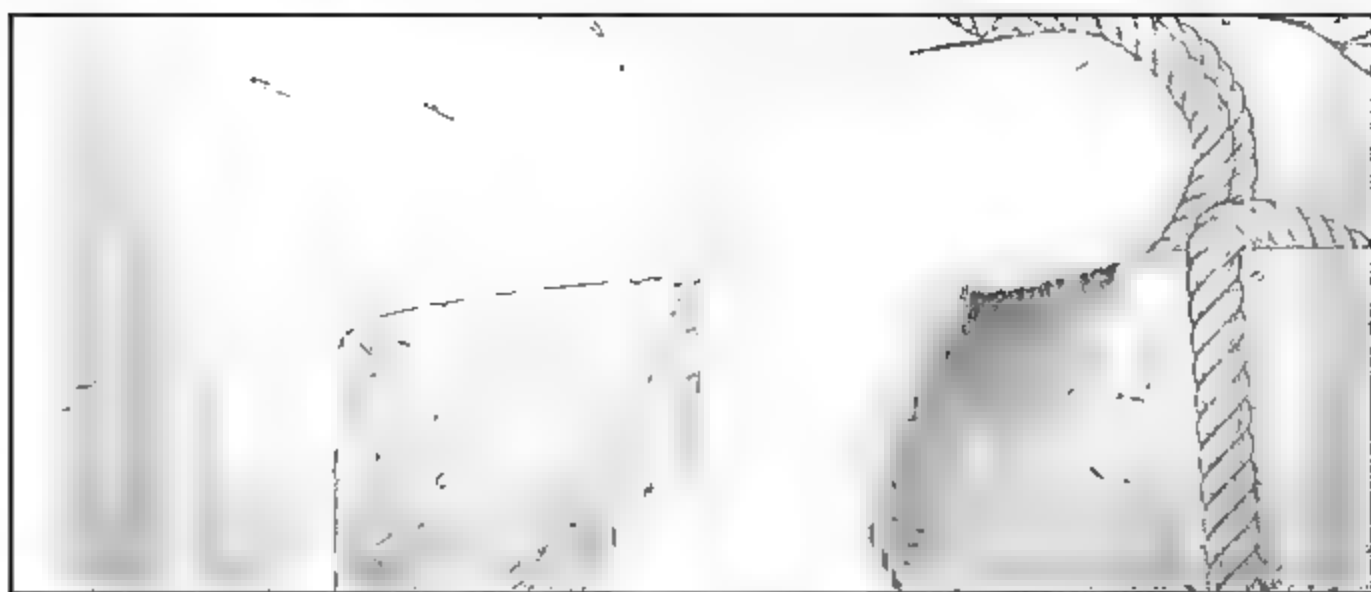
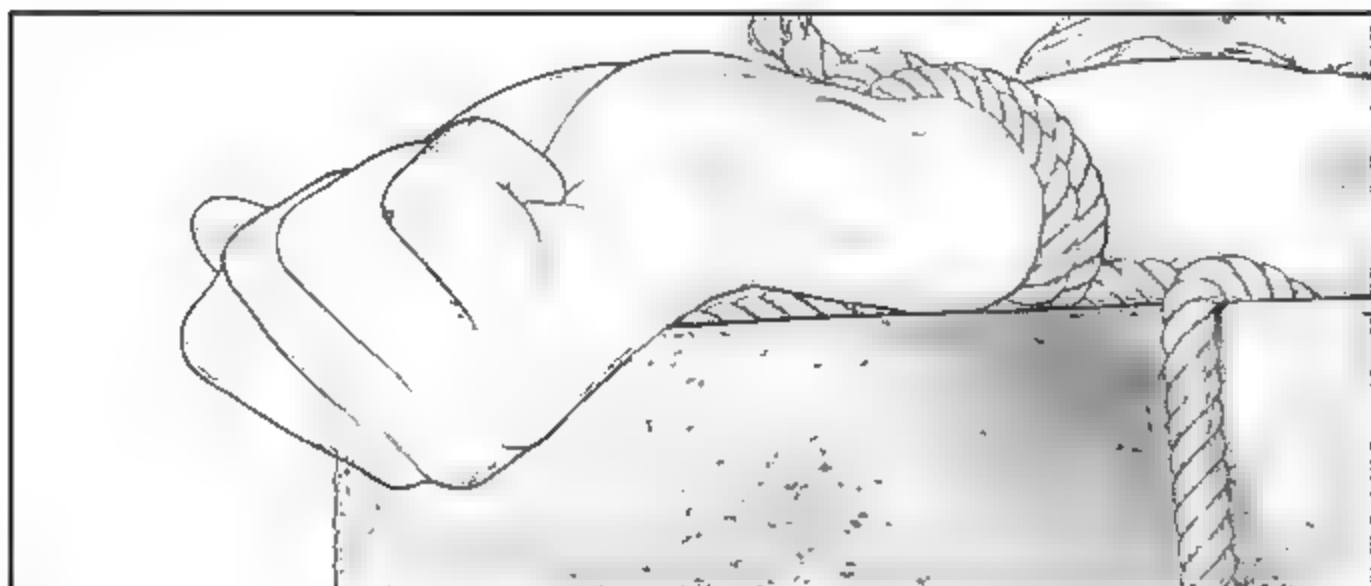


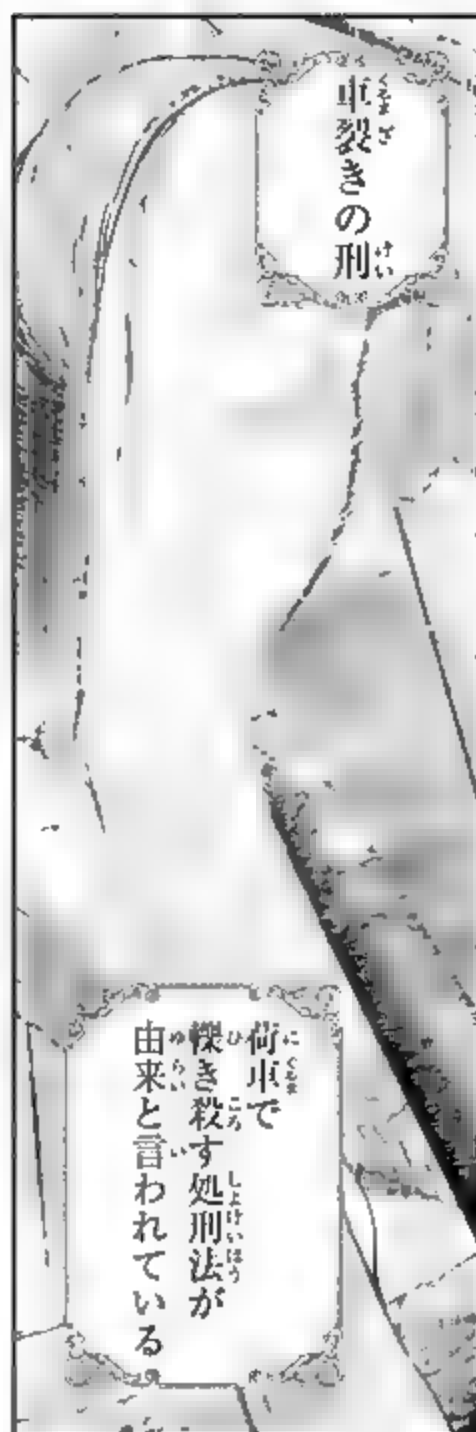






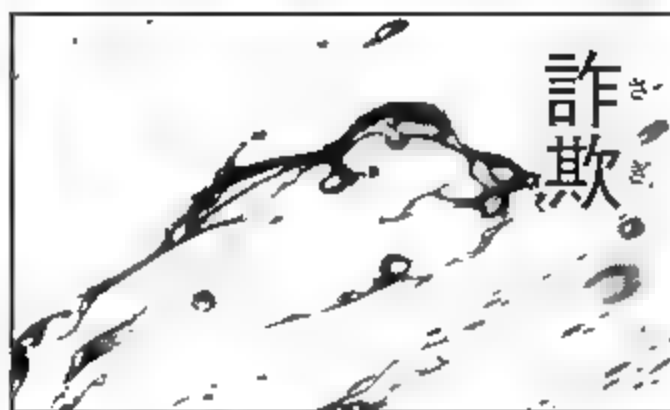
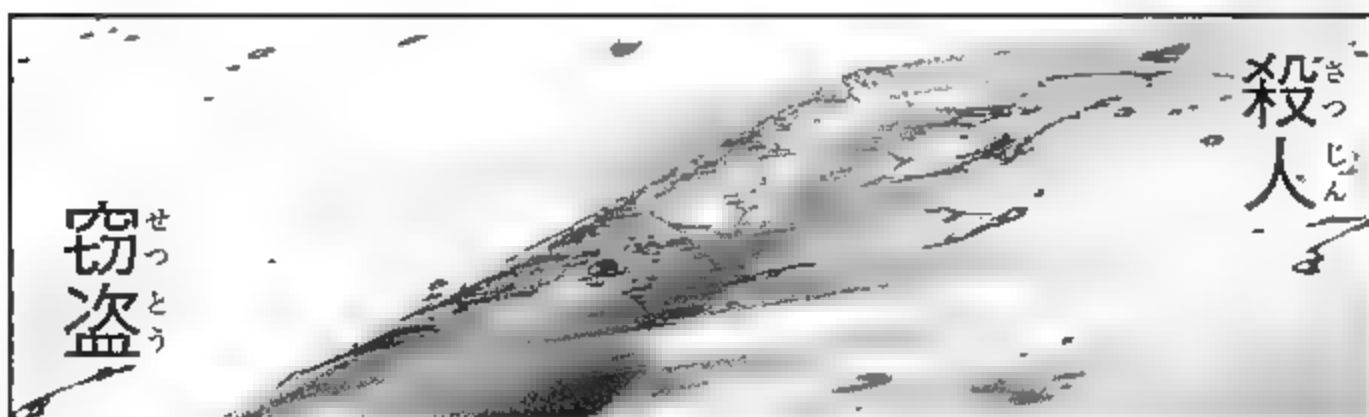












パ  
リ  
よ





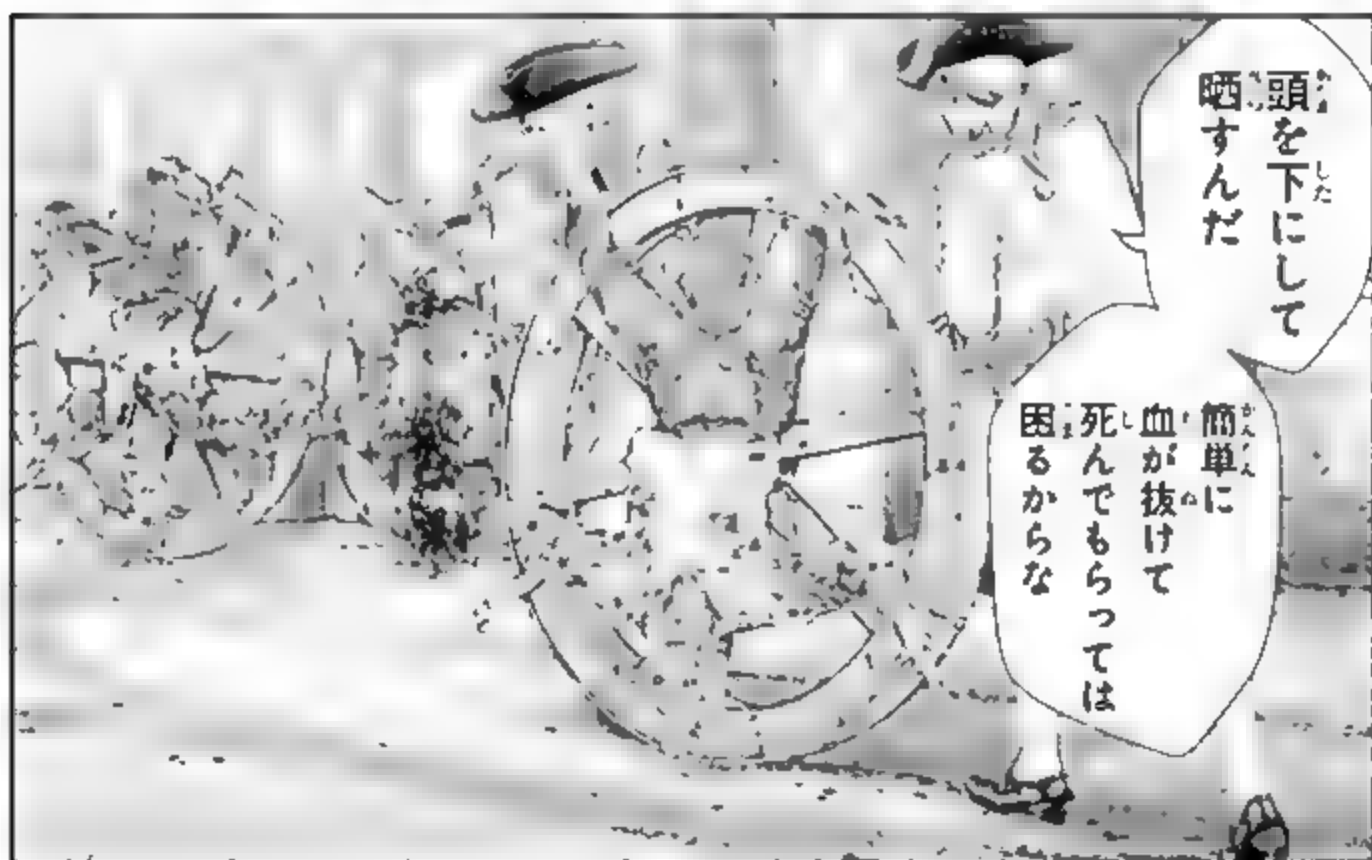
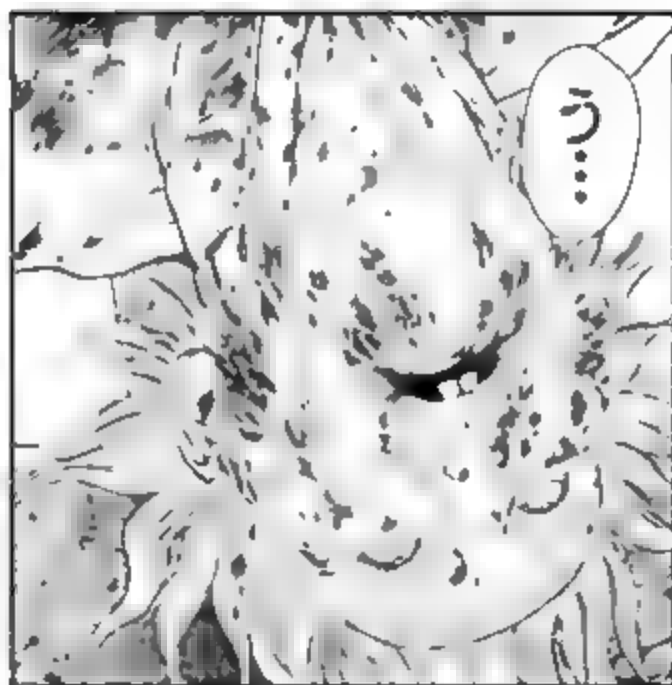
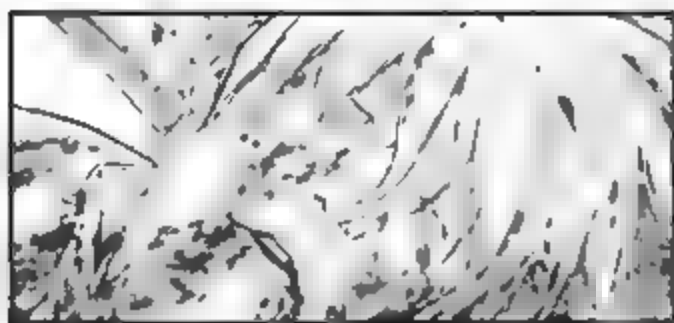
聞<sup>き</sup>け 絶<sup>ぜ</sup>望<sup>っ</sup>の<sup>ほ</sup>声<sup>う</sup>を<sup>こ</sup>













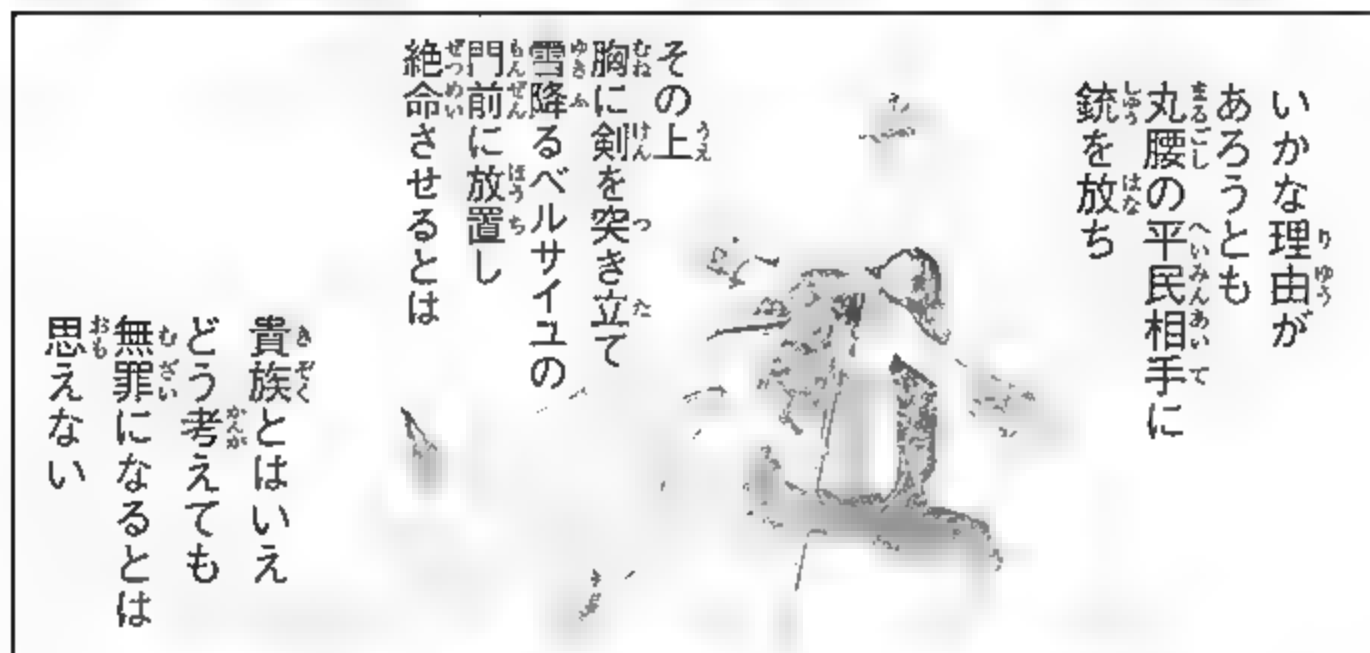


…そうか



はっ  
ドリユクセ伯爵は  
一度は殺人罪により  
斬首刑に処される  
手筈でありましたが

御友人であられる  
デュ・バリー夫人の  
嘆願により  
国王陛下の同情を  
得られたようです



いかな理由が  
あろうとも  
丸腰の平民相手に  
銃を放ち

その上  
胸に剣を突き立て  
雪降るベルサイユの  
門前に放置し  
絶命させるとは

貴族とはいえ  
どう考えても  
無罪になるとは  
思えない



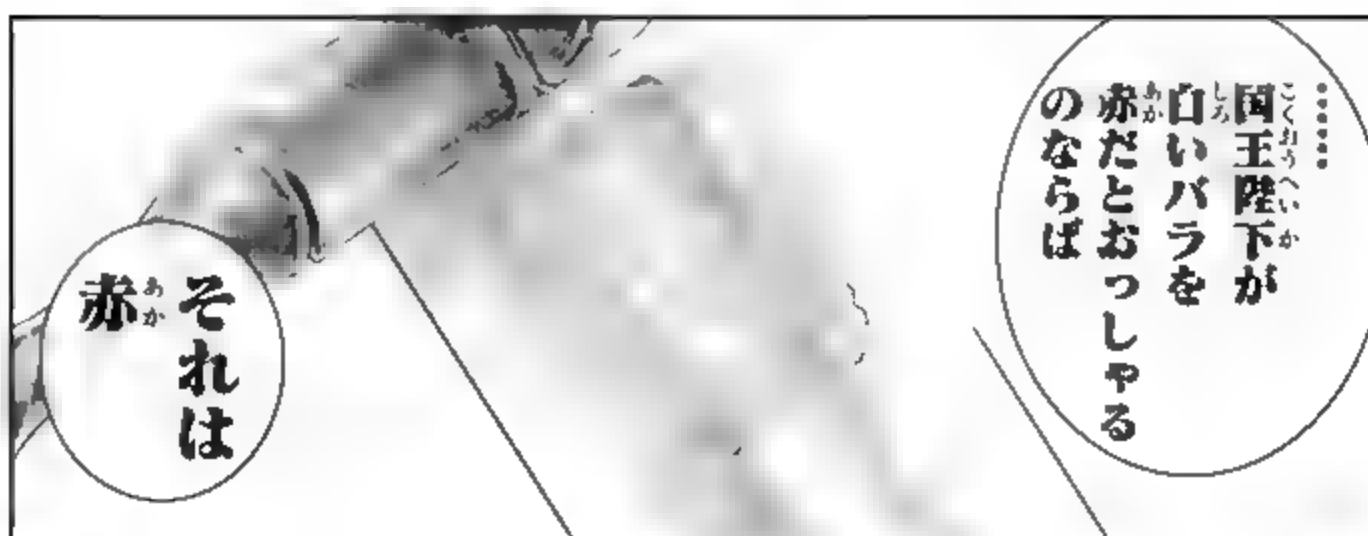
マダム・デュ・バリー

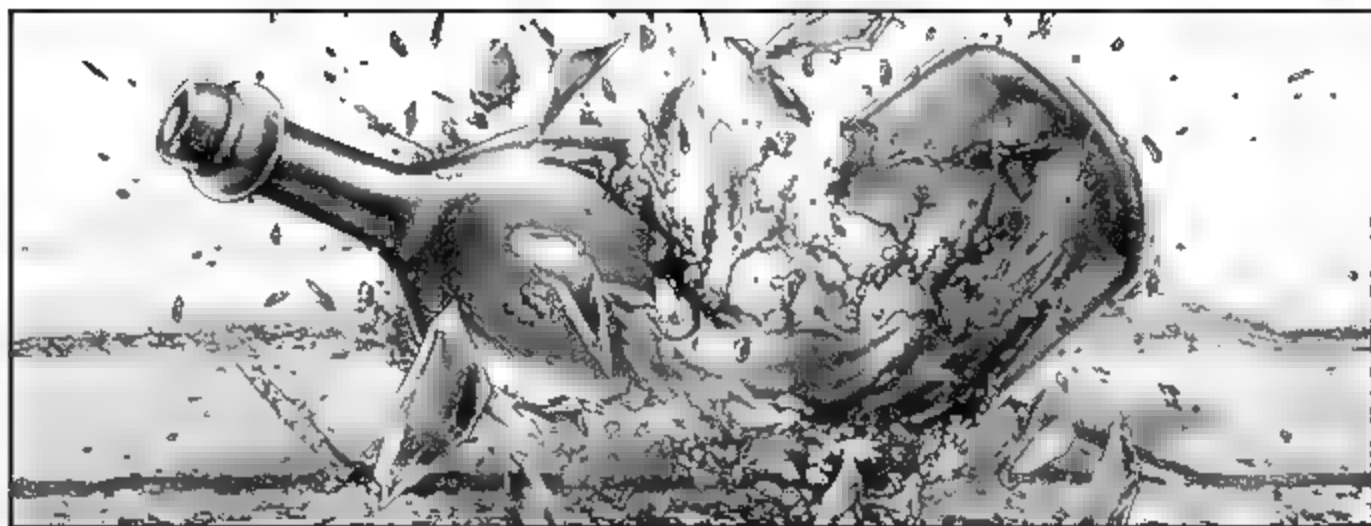
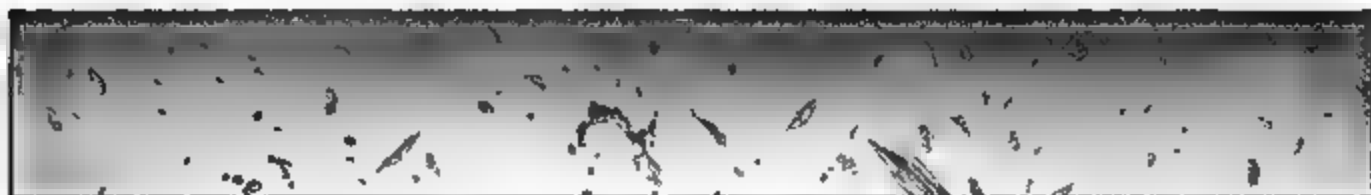
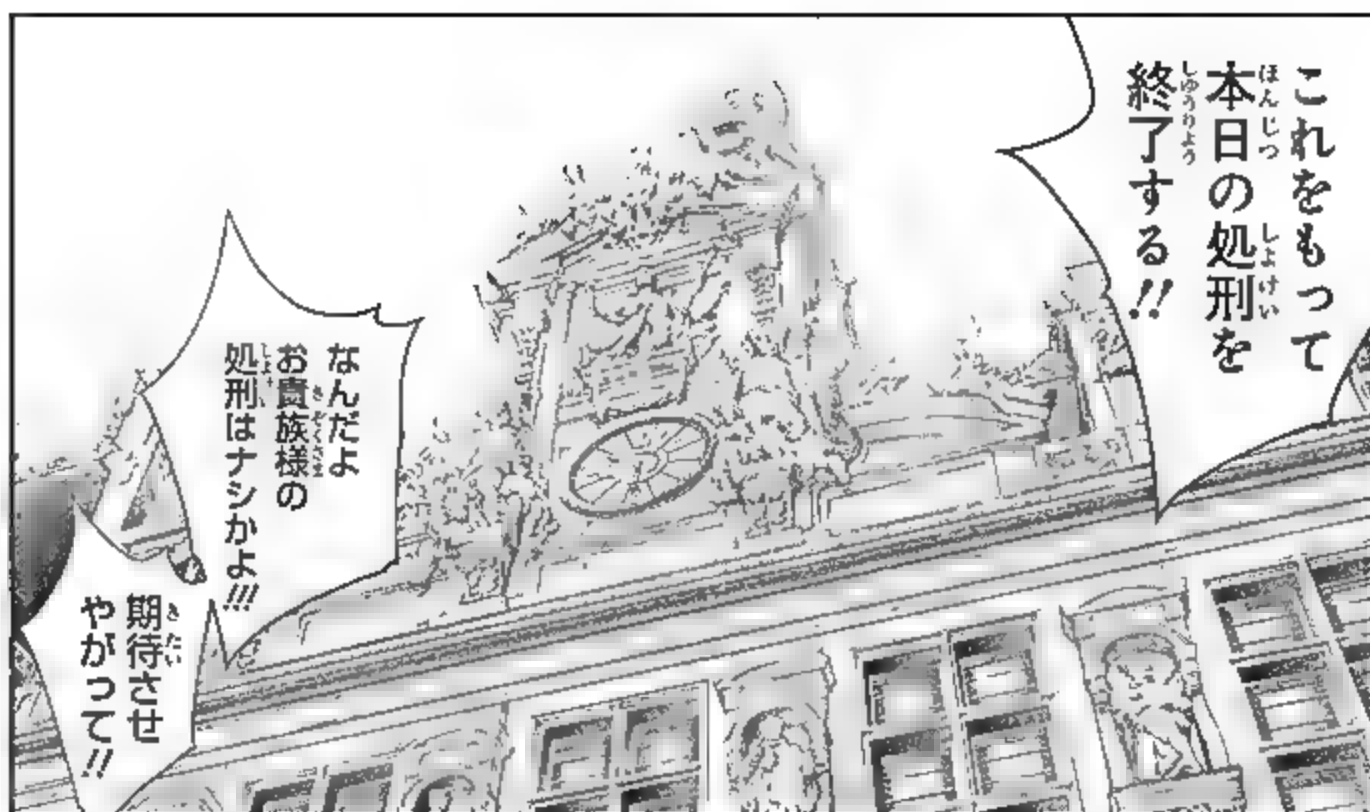
この忌まわしい処刑人ですら  
何度も肌を重ねた  
貴女も変わったものだ――

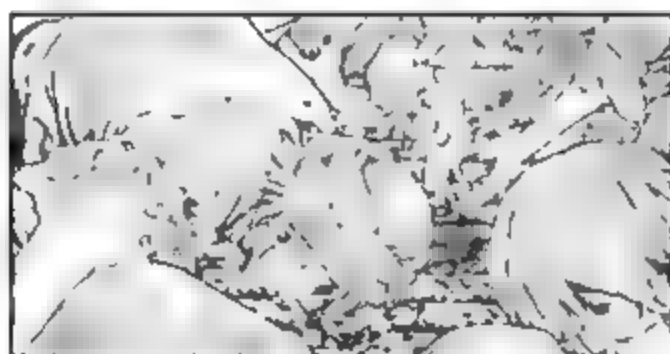


貴族は  
貴族の味方  
という訳か…







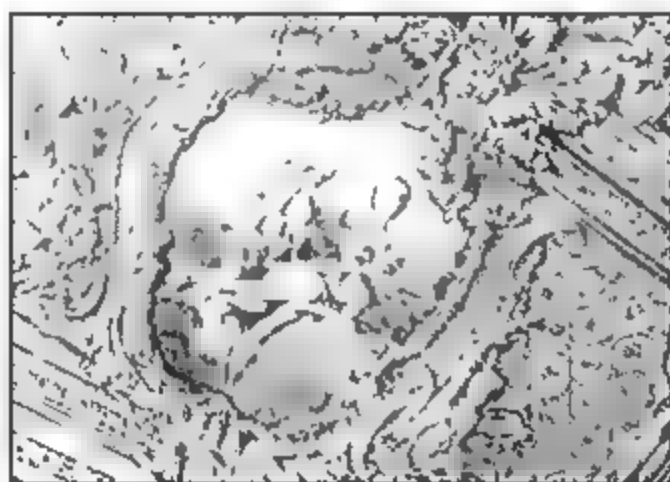
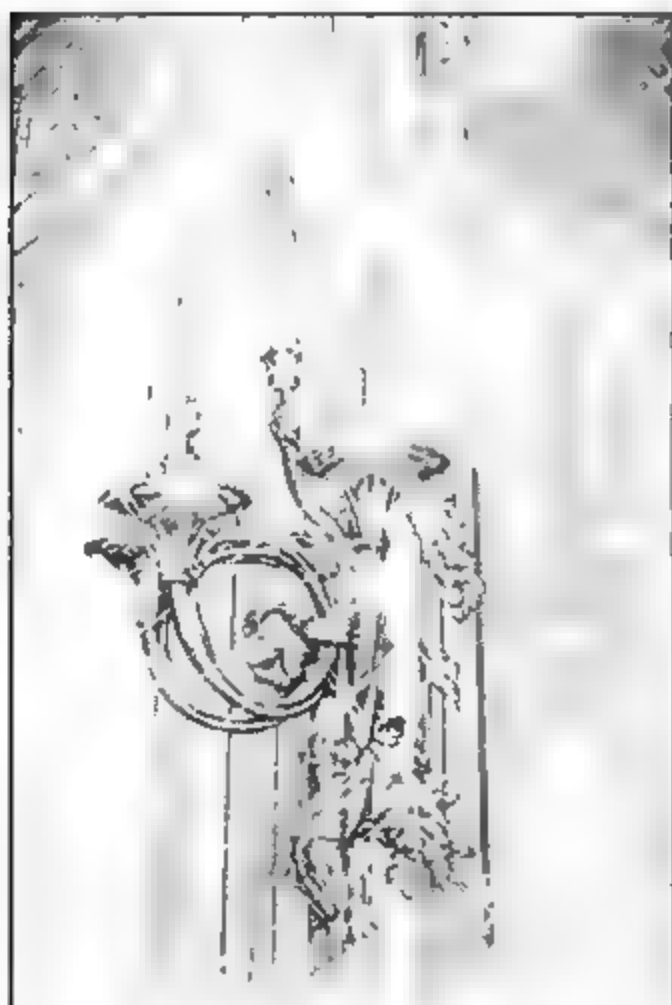
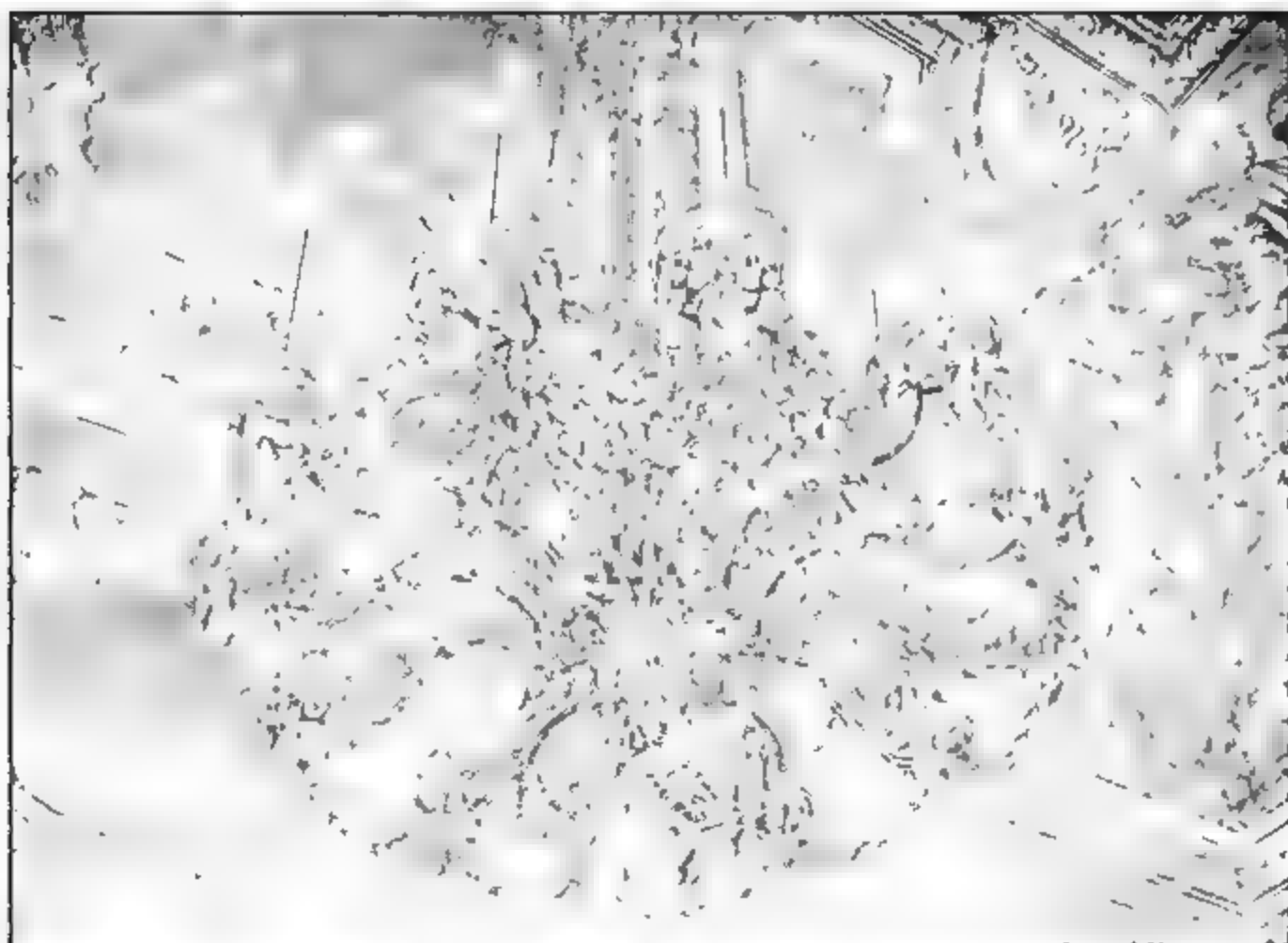


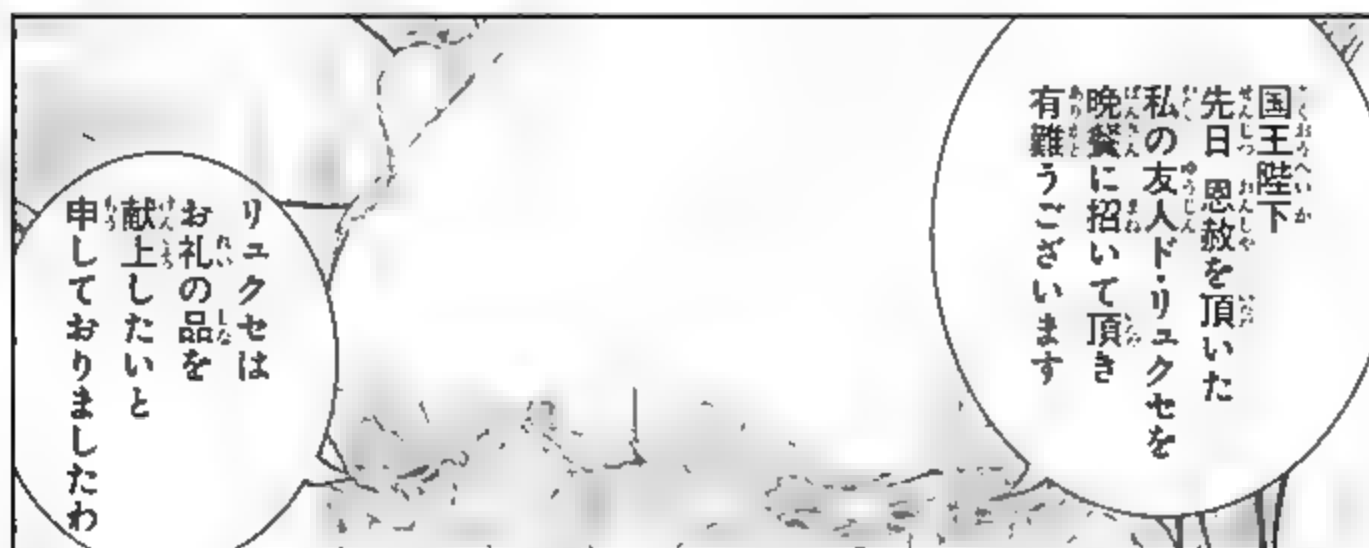




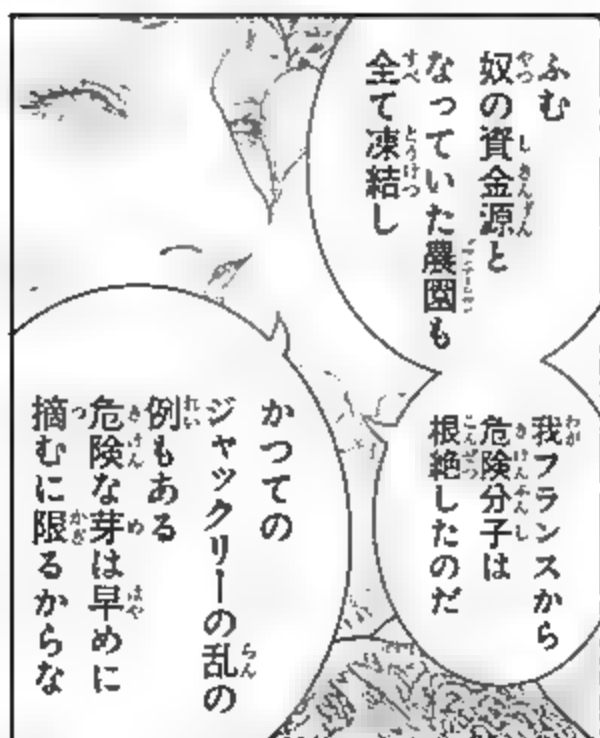


ベルサイユ宮殿<sup>きゆうでん</sup>  
Château de Versailles



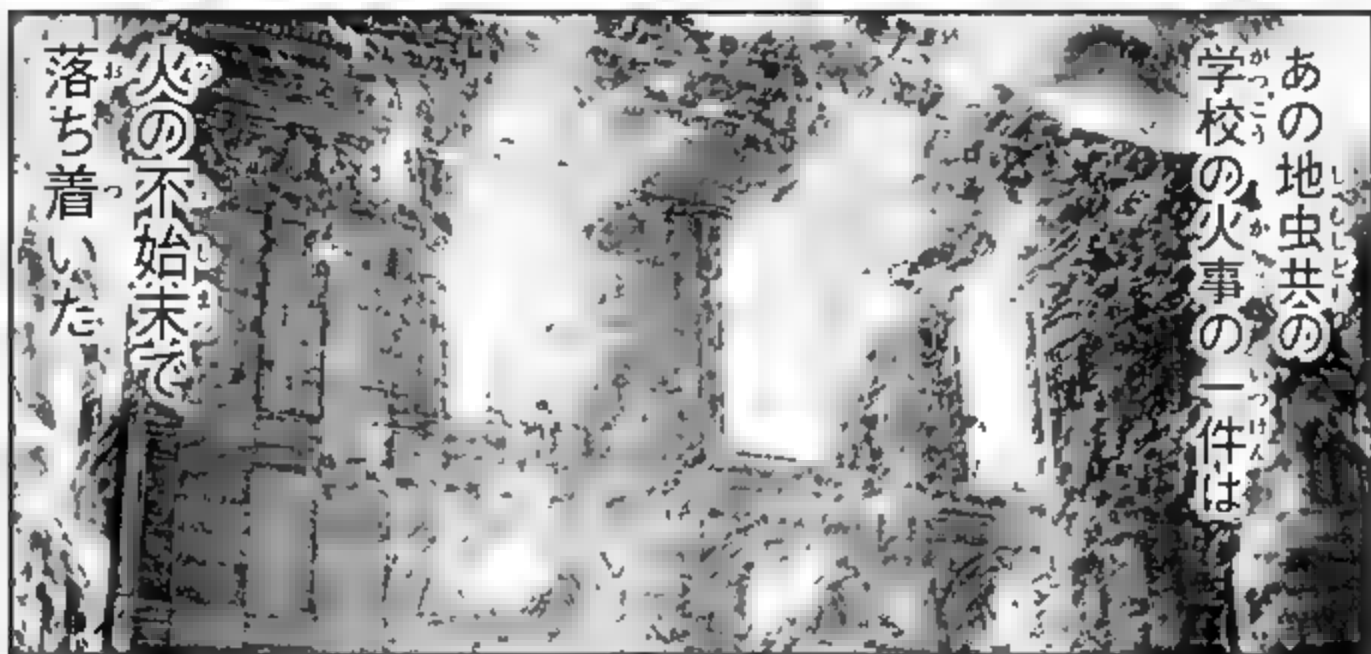






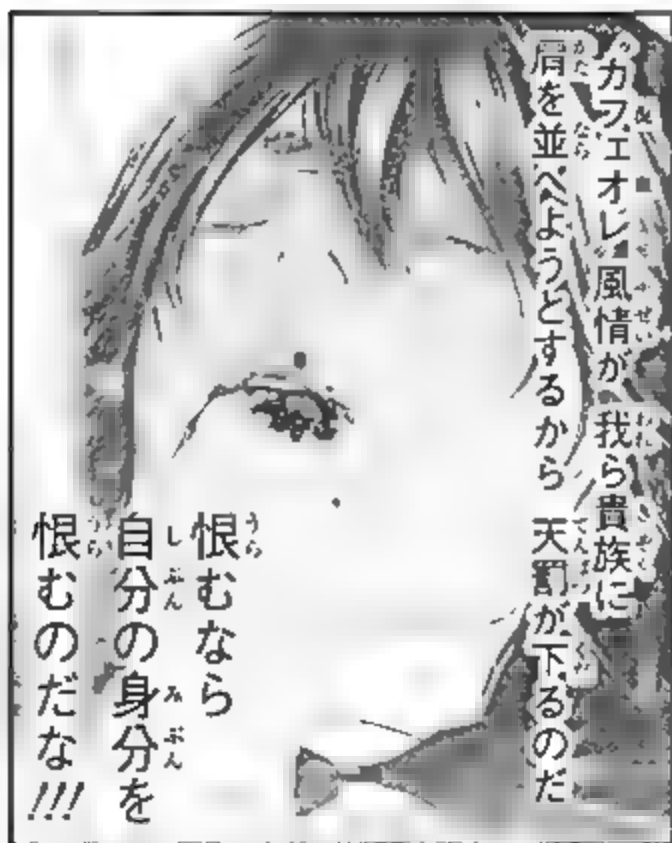
ジャックリーの乱 1358年フランスで起きた農民反乱。





あの地虫共の  
学校の火事の一件は

火の不始末で  
落ちていた

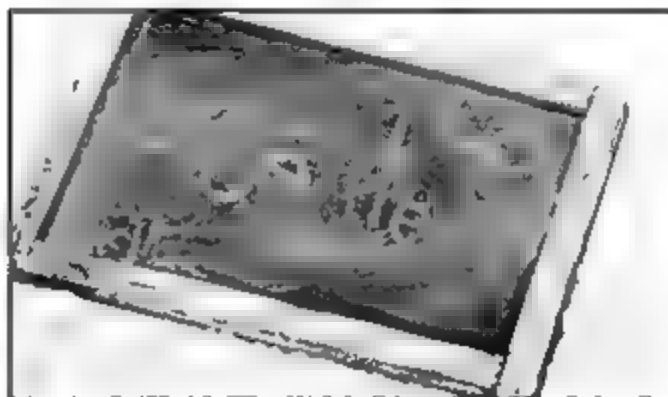


カフエオレ風情が我ら貴族に  
肩を並べようとするから天罰が下るのだ

恨むなら  
自分の身分を  
恨むのだな!!!



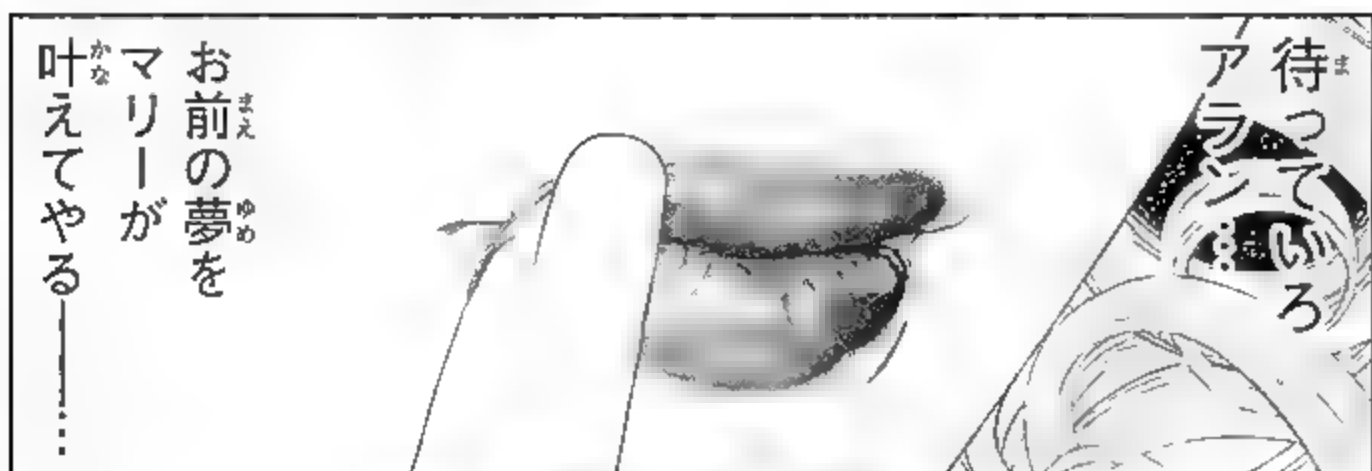
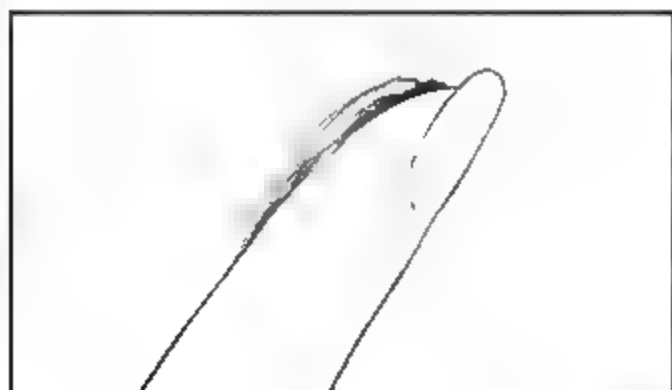
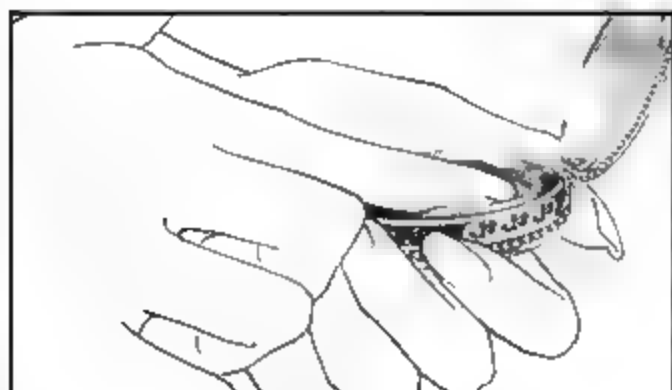
死人に  
口無し……



※人種や民族などの身元で人種を区別しないように。











# 貴族は

き

ぞ

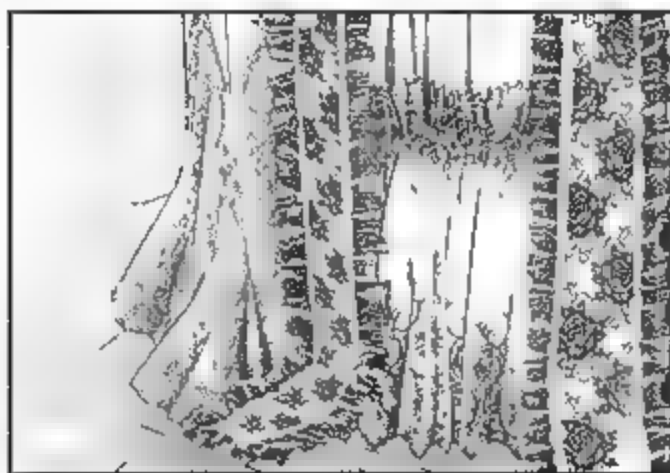
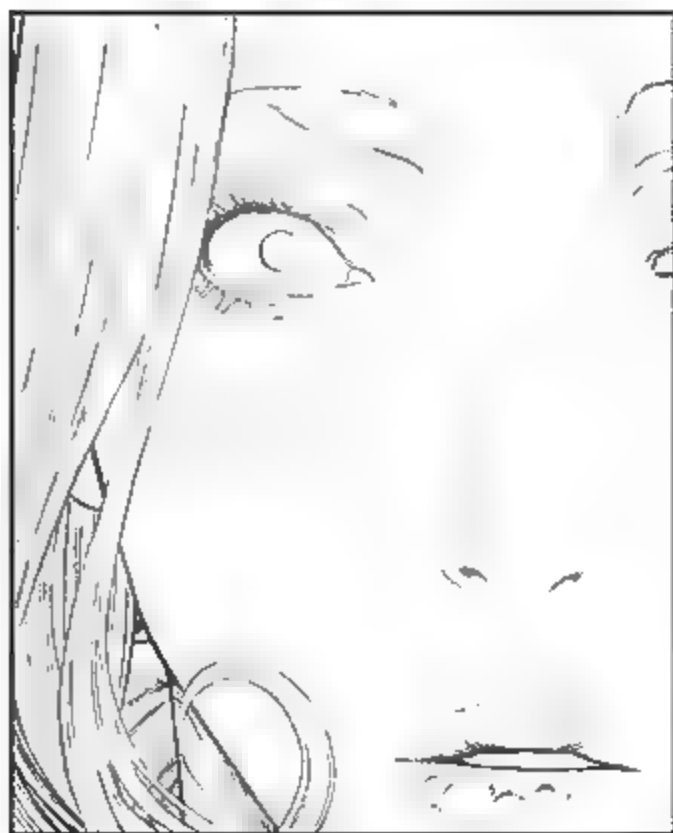
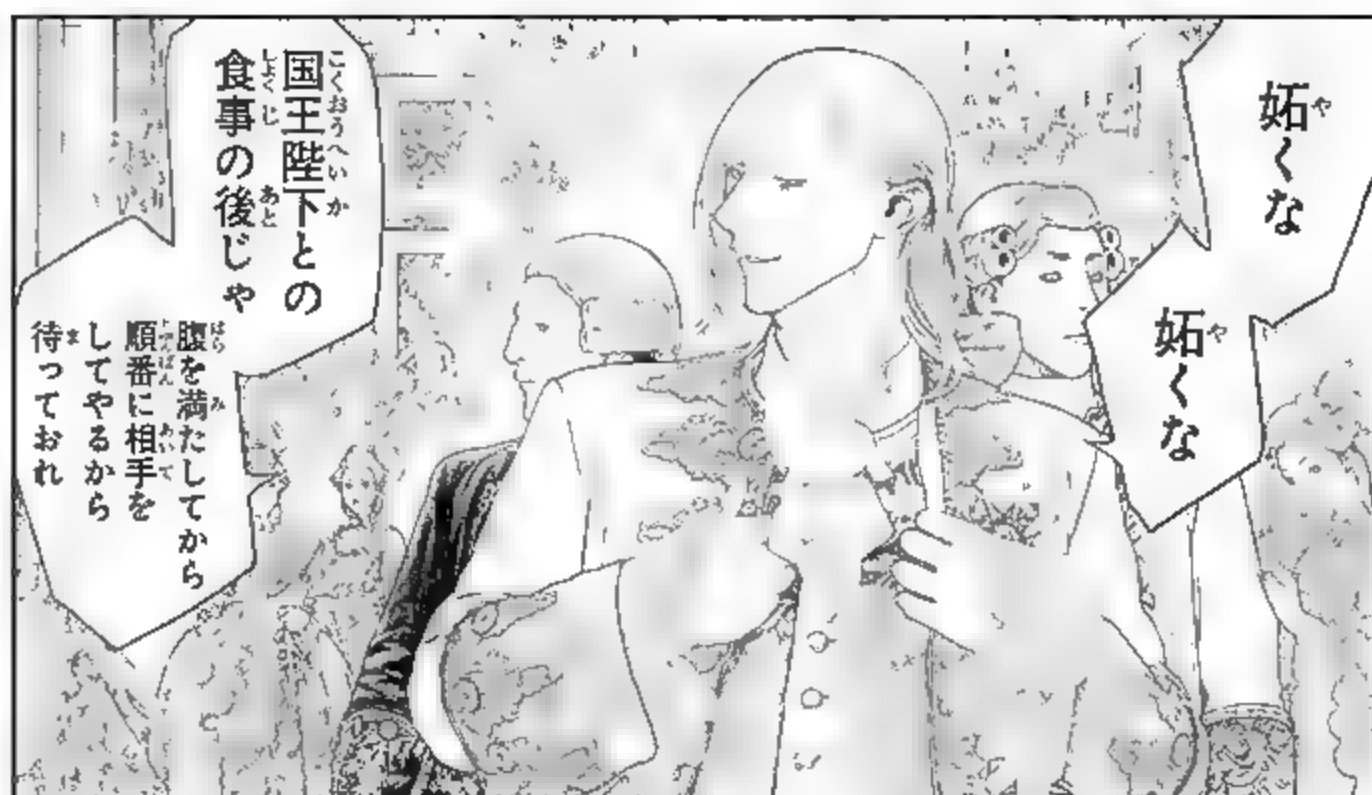
く

塵  
金

みなごろし

だ

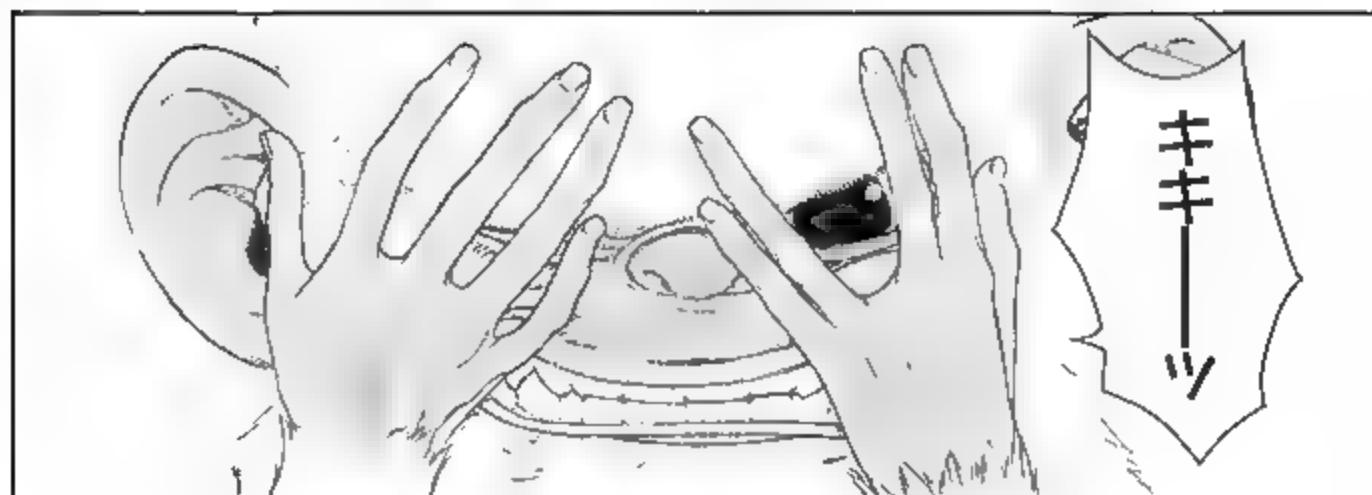




なんと美しい——

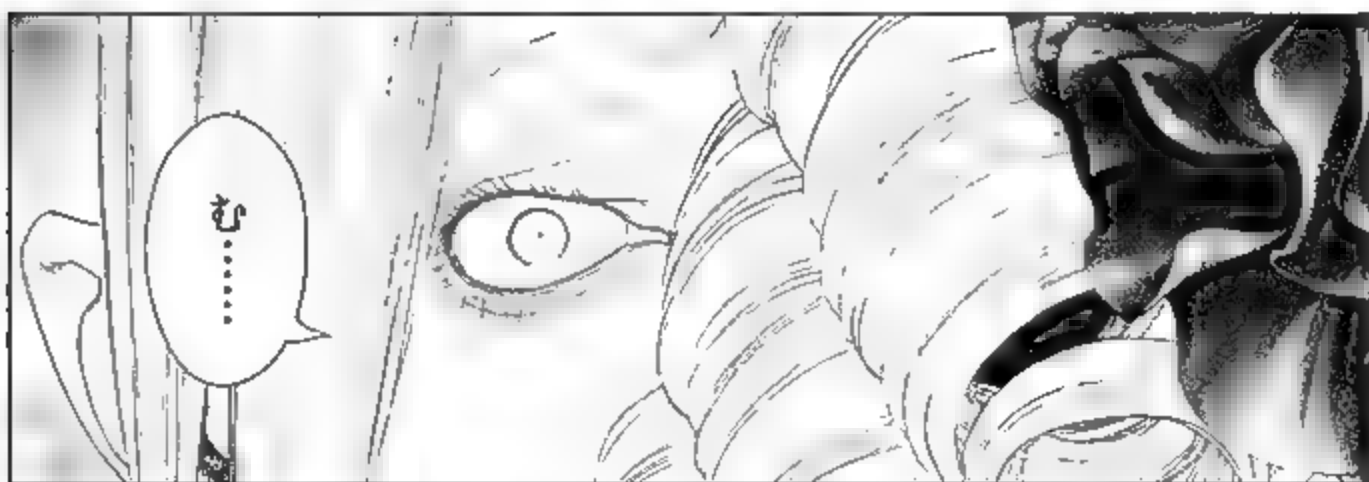
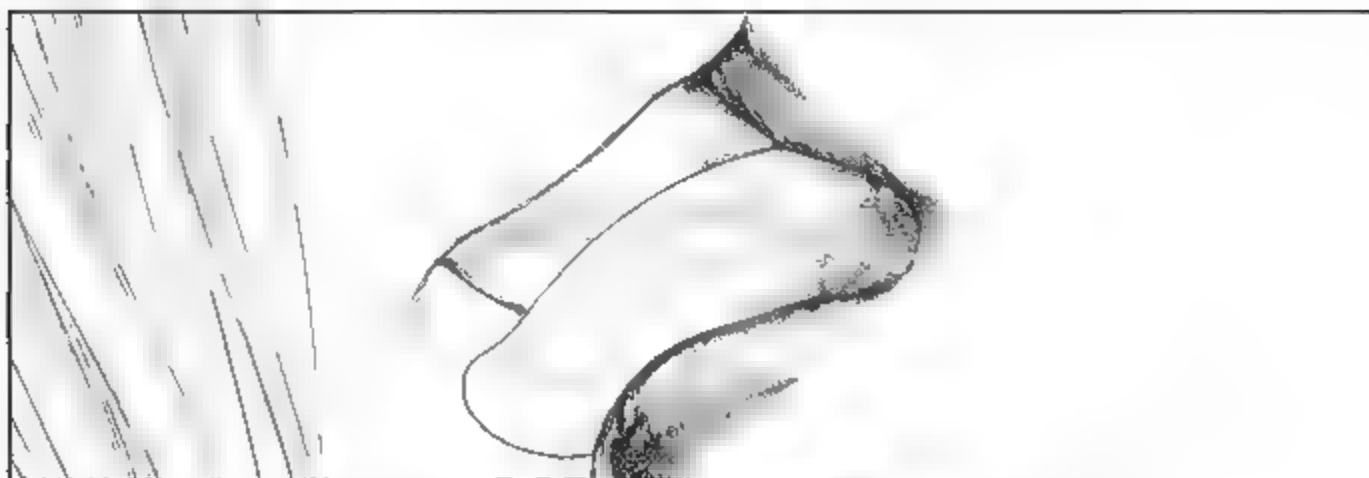


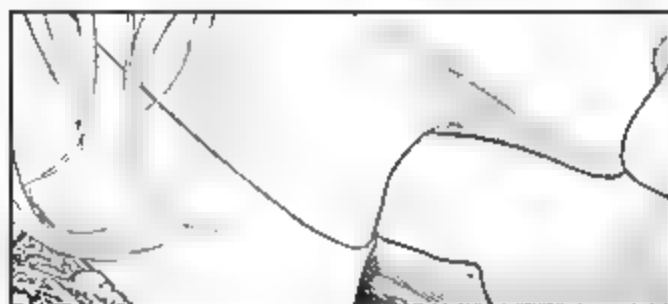




## n°2 夢現の死刑執行









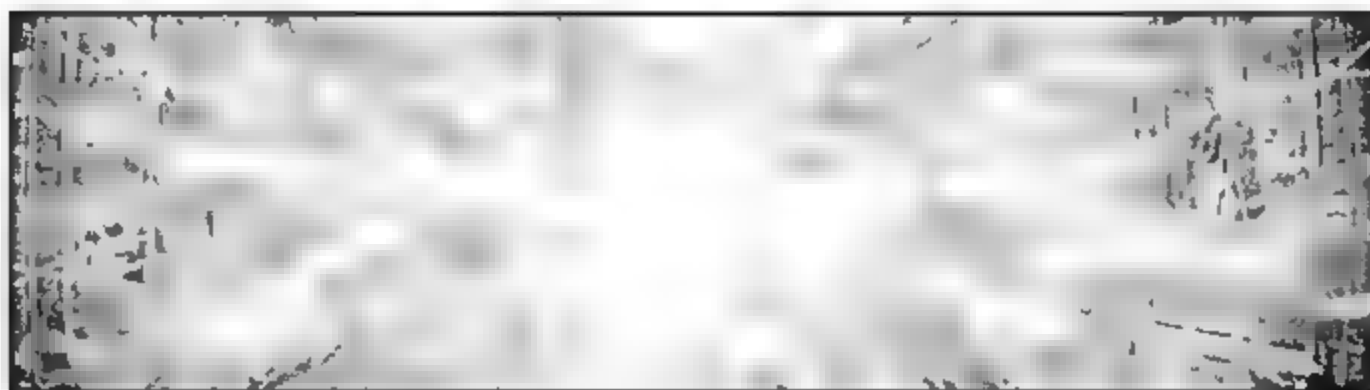
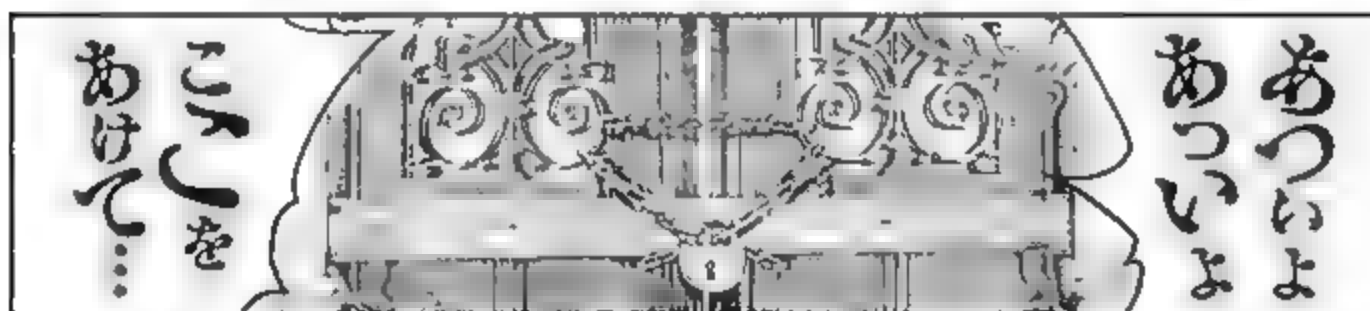
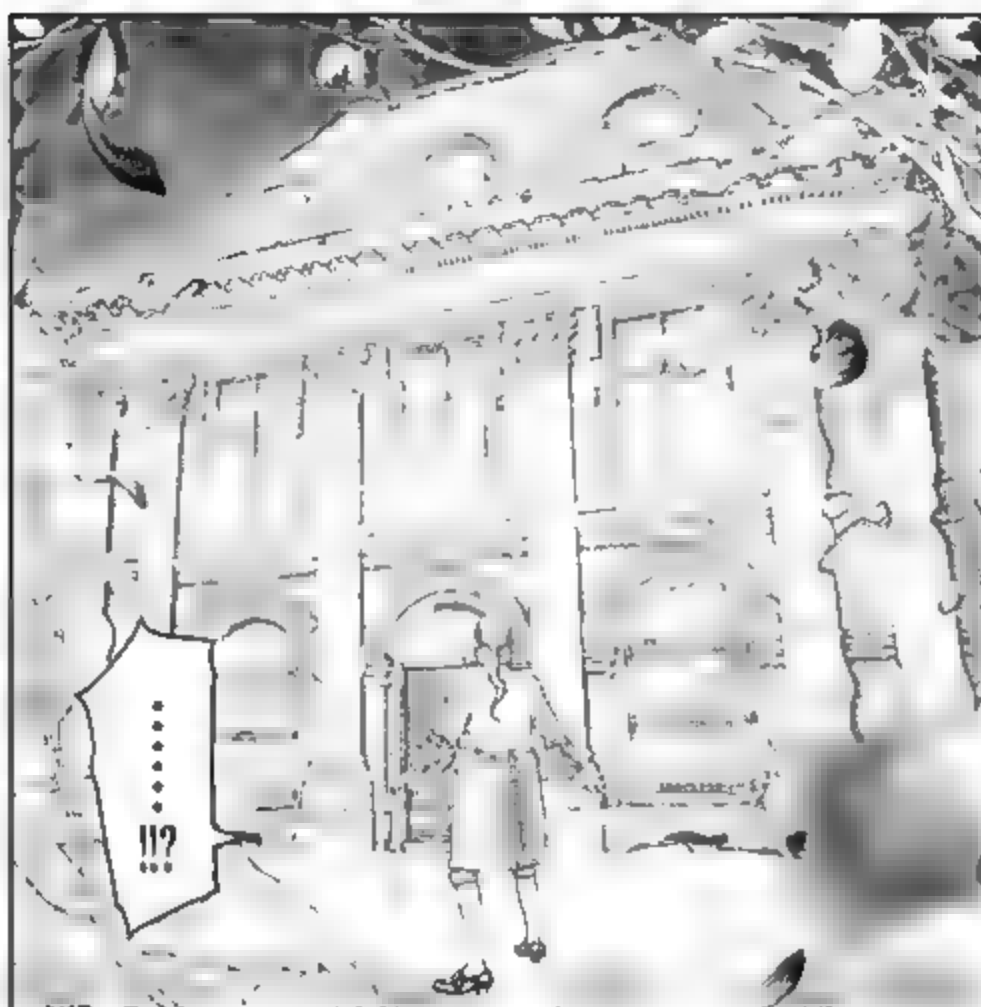






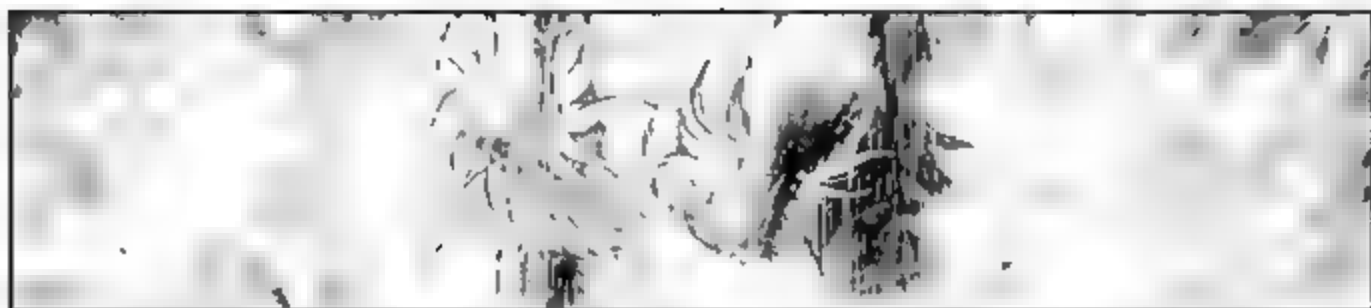


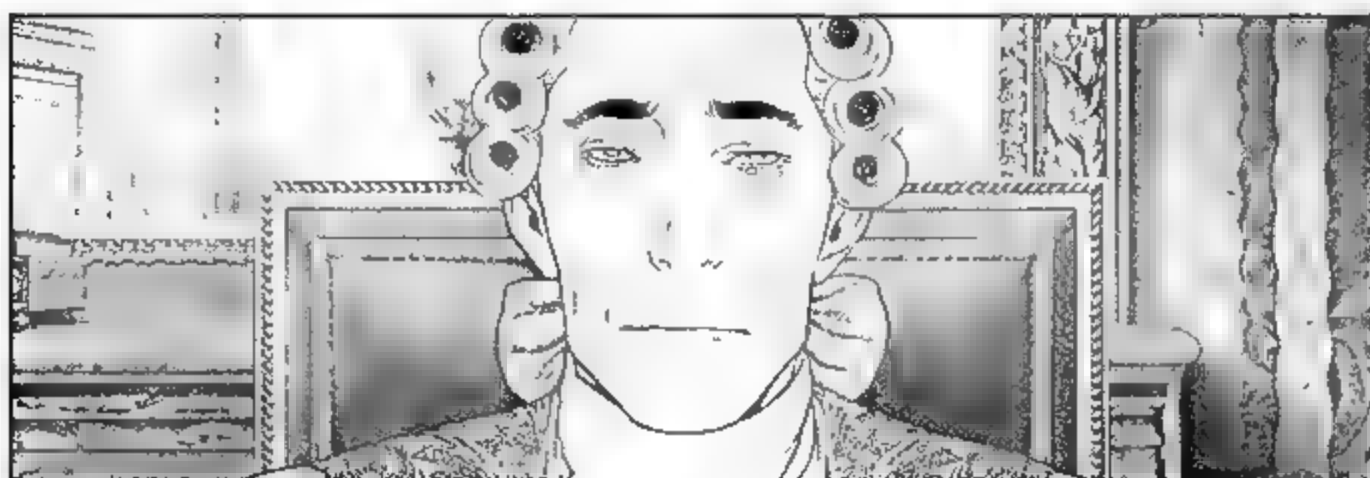
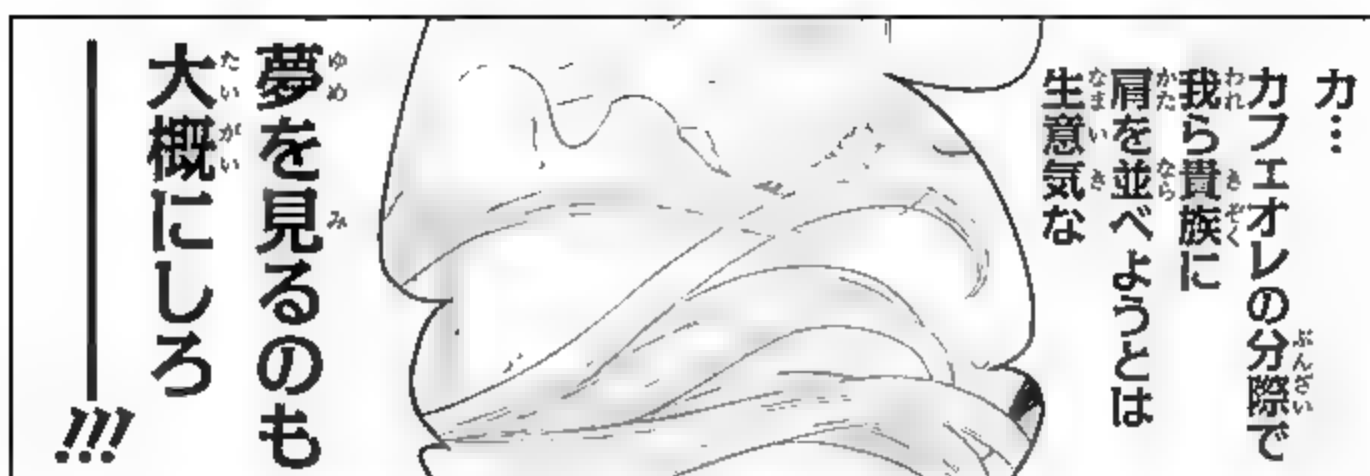
如何<sup>いか</sup>  
が<sup>が</sup>  
?







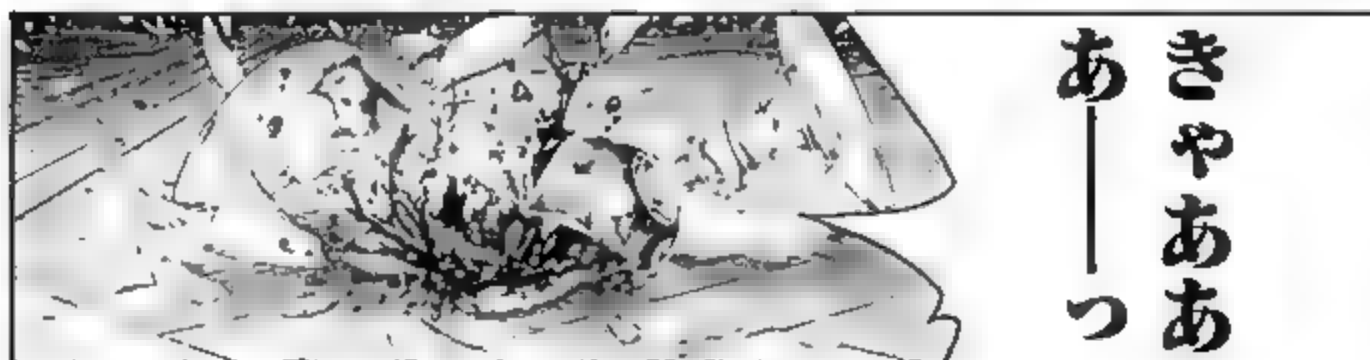


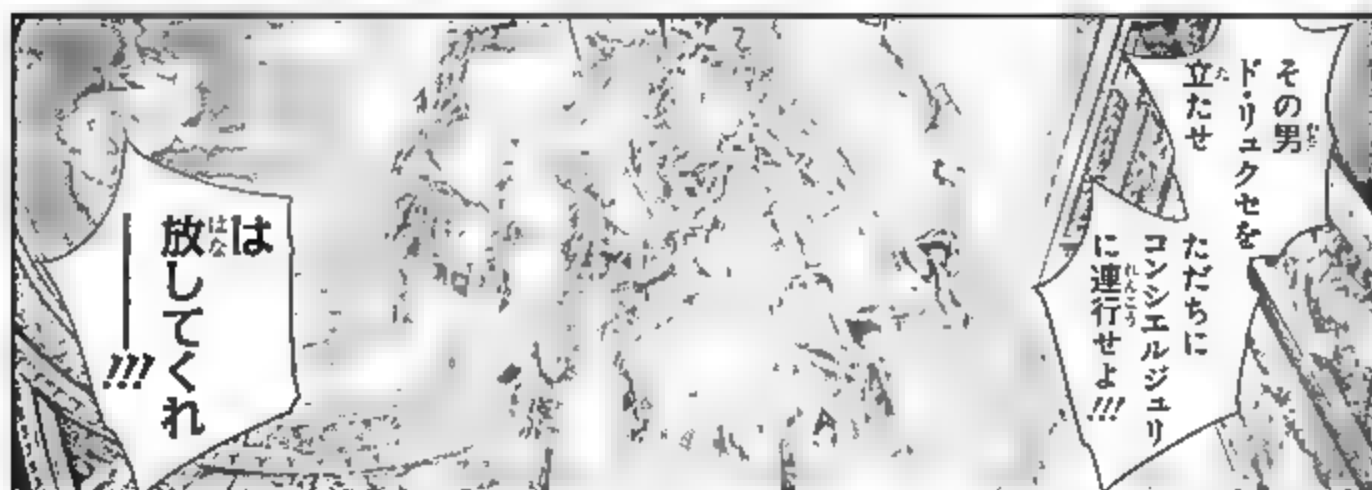
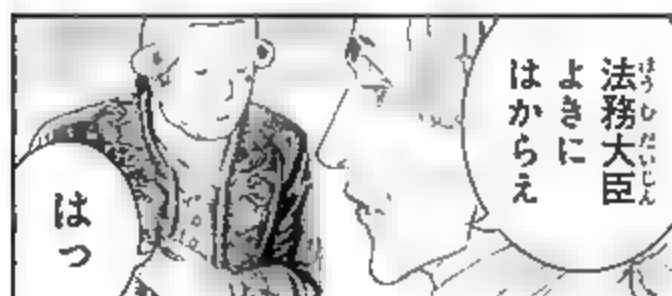


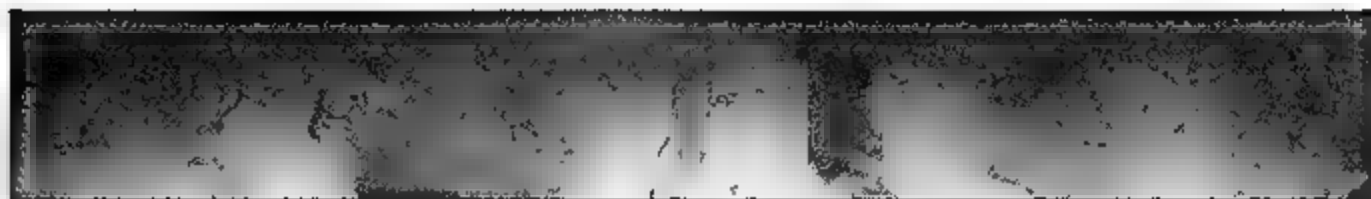
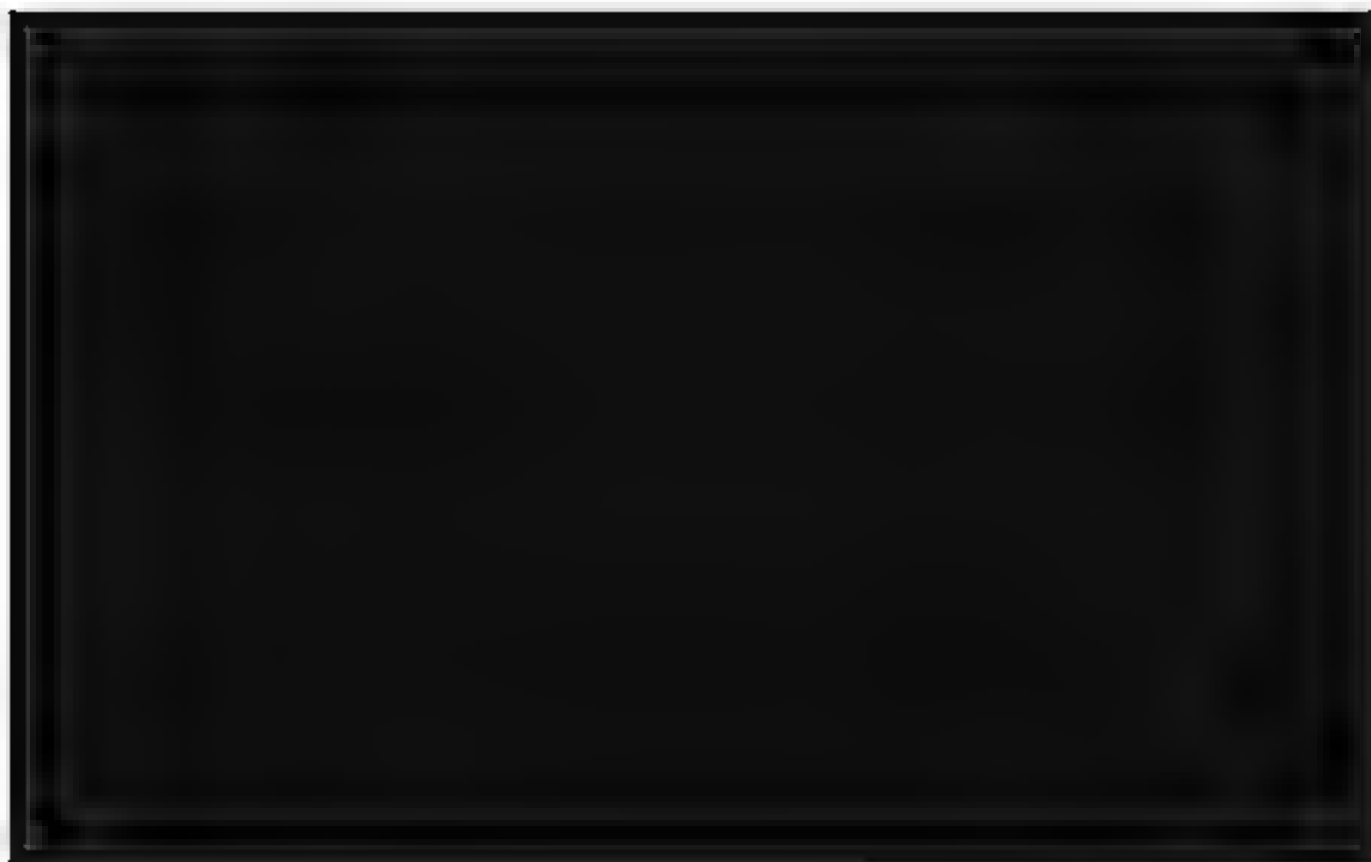






















然

ら

ず

ん

ば



殺せ!!!

そのお貴族様を  
早くぶった斬うち  
まえ——!!!

今度は  
どこだよ!!!

俺は  
幻を見ている  
のか!!!?

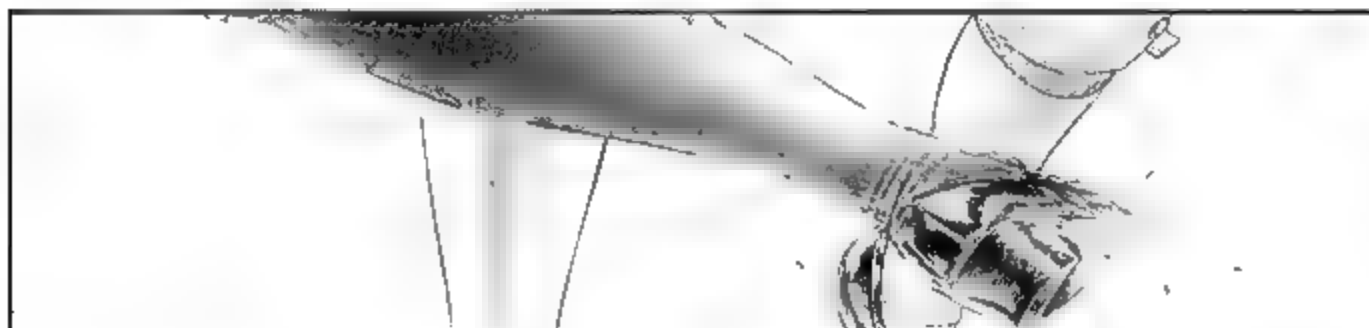
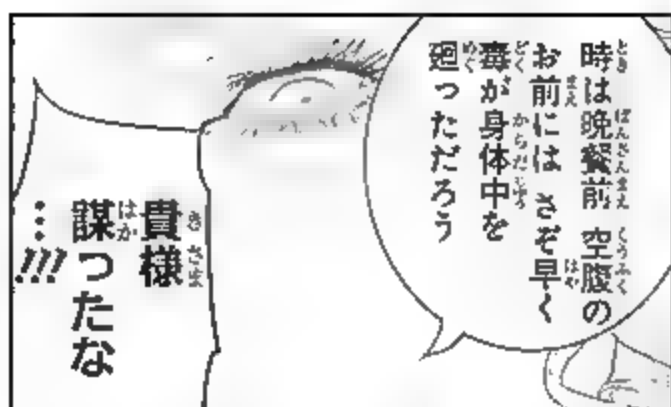
ド・  
リュクセ

ほうかおよ  
放火及び  
殺人偽証罪  
において

このプレヴォテ・ド・ロテル  
マリー・ジョセフ・  
サンソンの手により  
斬首刑に処す  
!!!





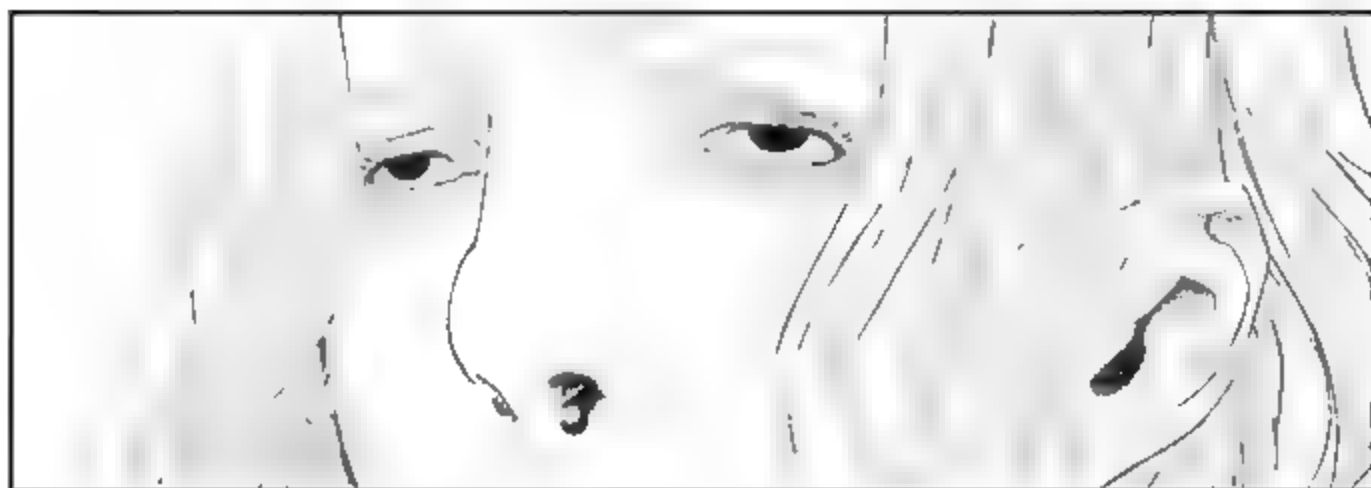


# この世に

91







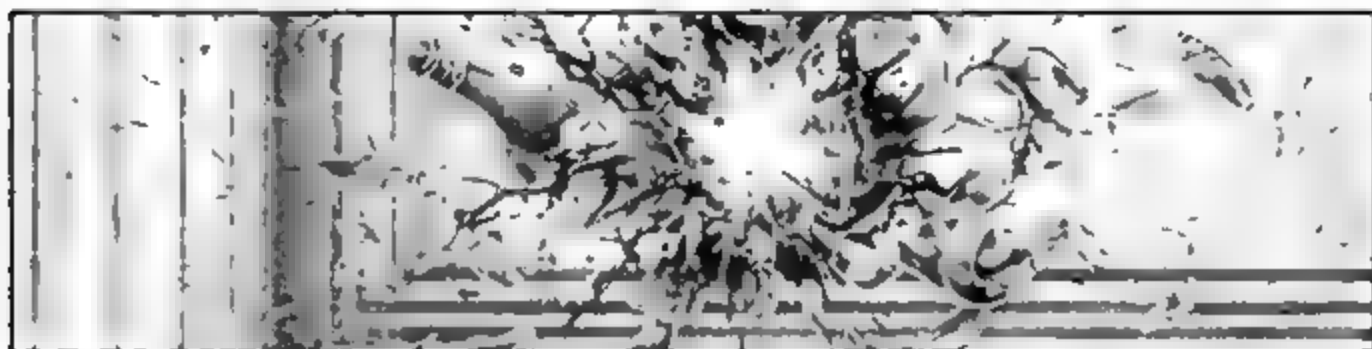


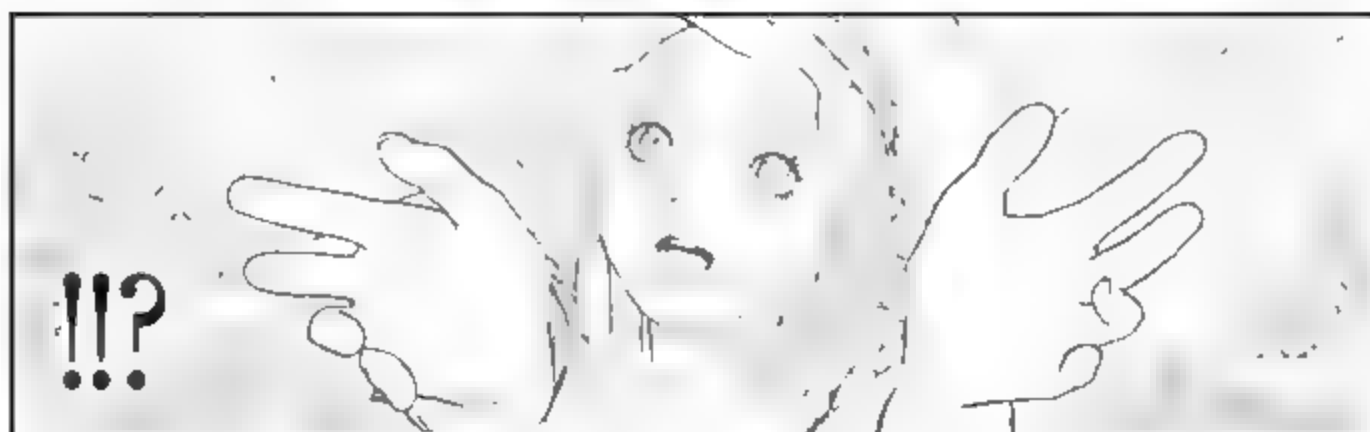




貴族が  
死んだぞ!!!

今日は俺達  
平民の勝利した  
記念すべき日だ  
——っ!!!







Je t'aime pour toujours...

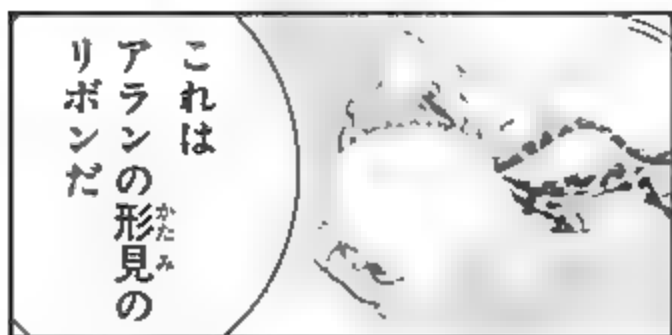
えいえん あい  
永遠に愛している...

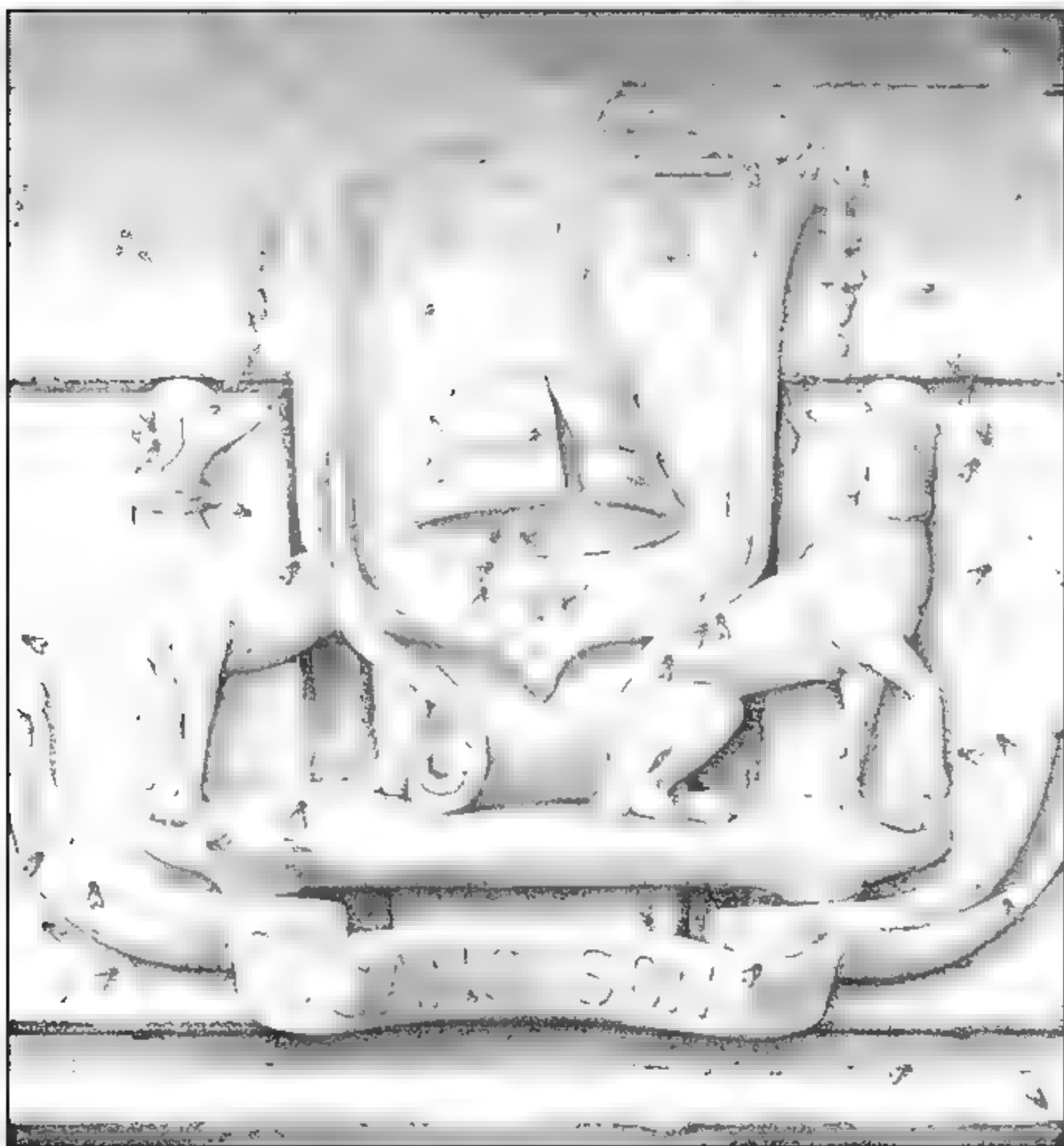
Dans votre coeur je reste.

おれ まえ なか い つづ  
俺はお前の中で生き続ける———...









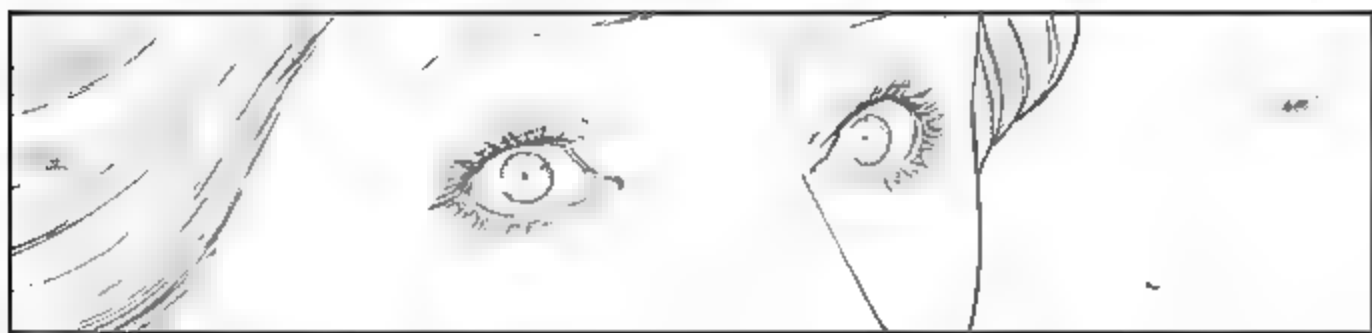
短い間でしたが  
お世話になりました



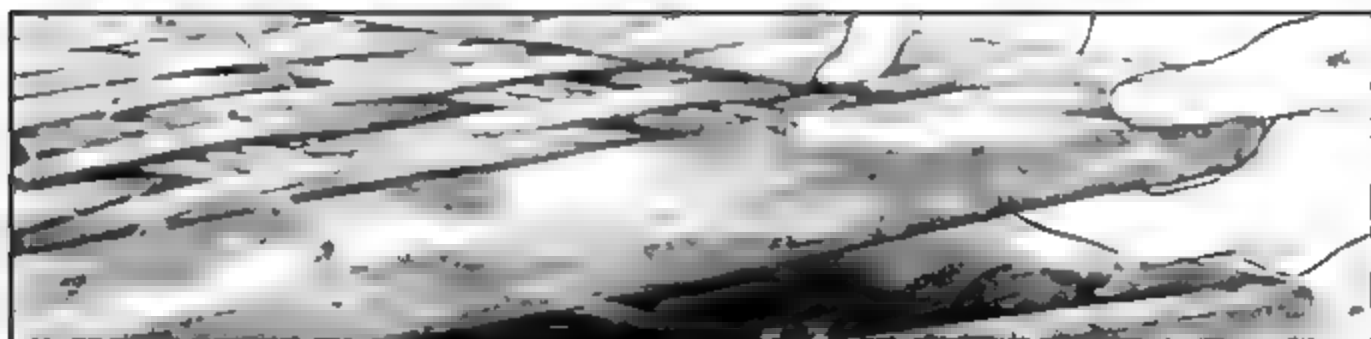
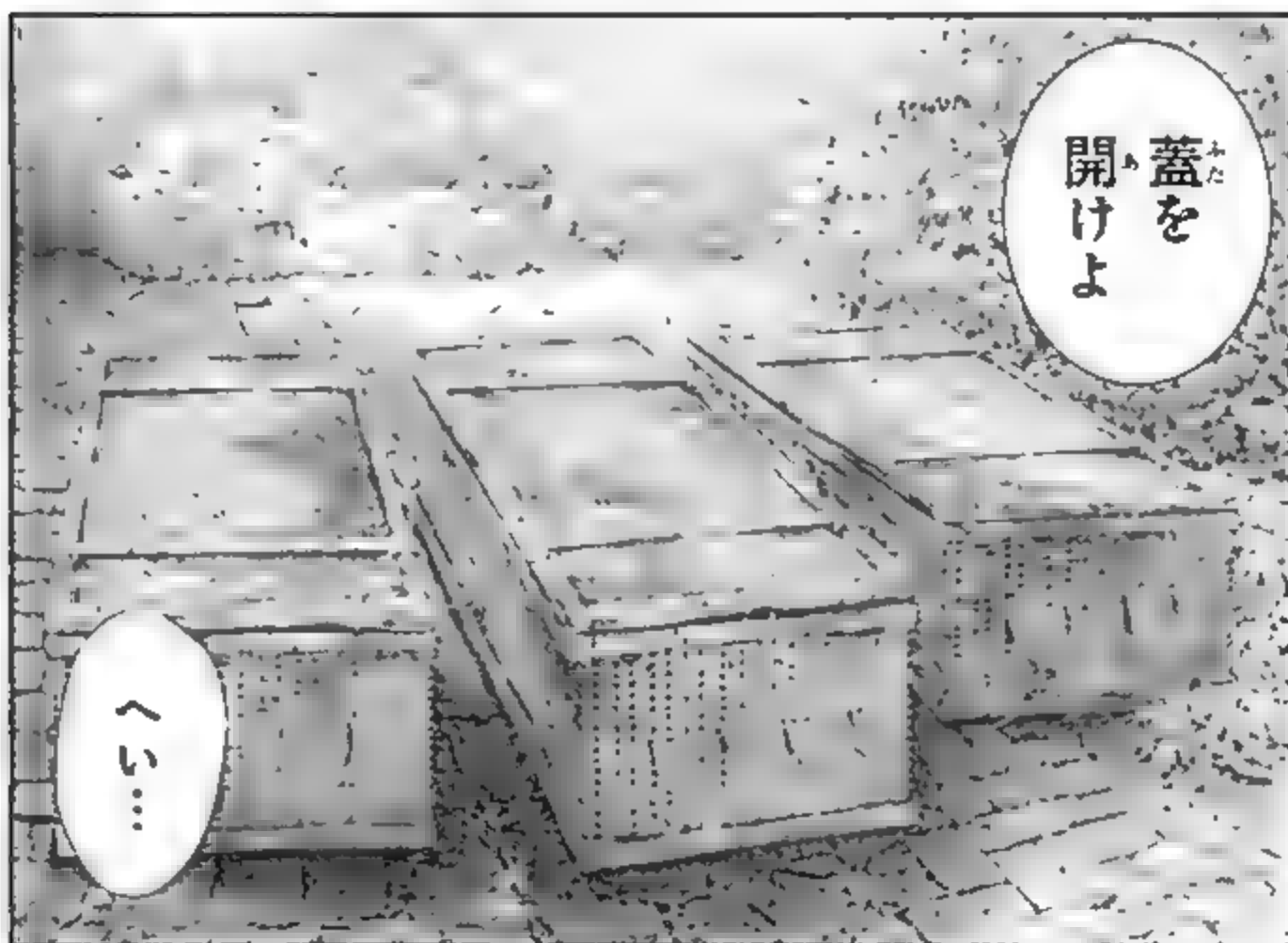
### n°3 誇り高き一族

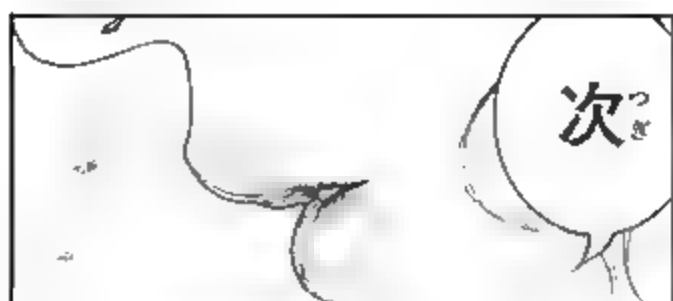
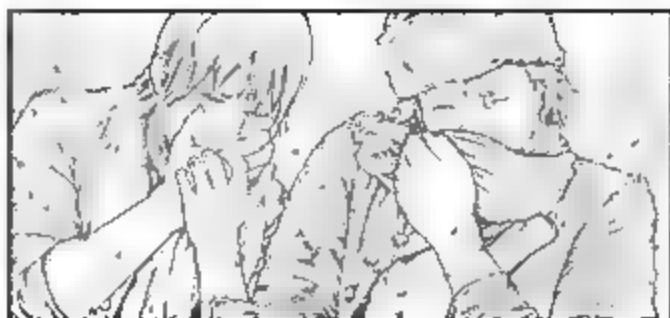
旦那様







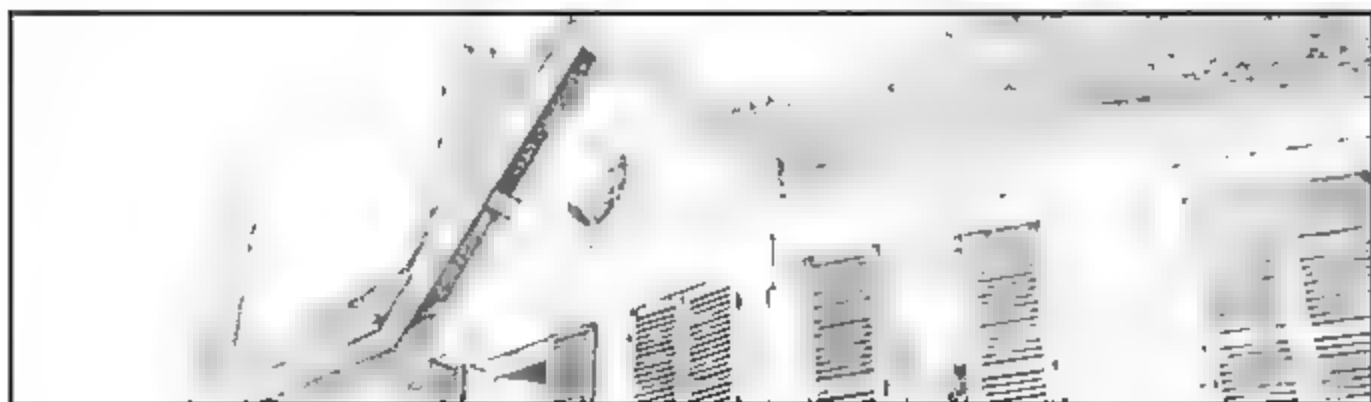




仕事を  
途中で投げ出し  
放棄する者の道は

次第に細く険しく  
なっていく……

終には  
茨の道へ迷い込み  
傷つき 血塗れになつて  
身動きがとれなくなる  
のだ……





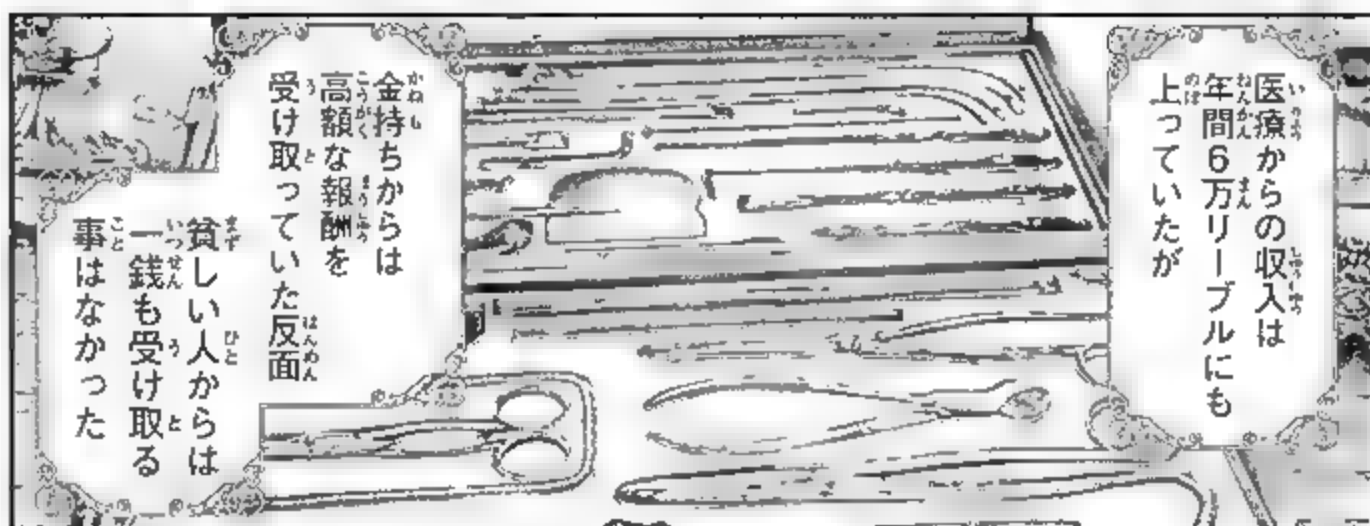
サンソン邸には  
診察室 待合室  
薬調合室

実験室が  
完備されていた



サンソン家は  
代々 医業を  
副職にしてきた

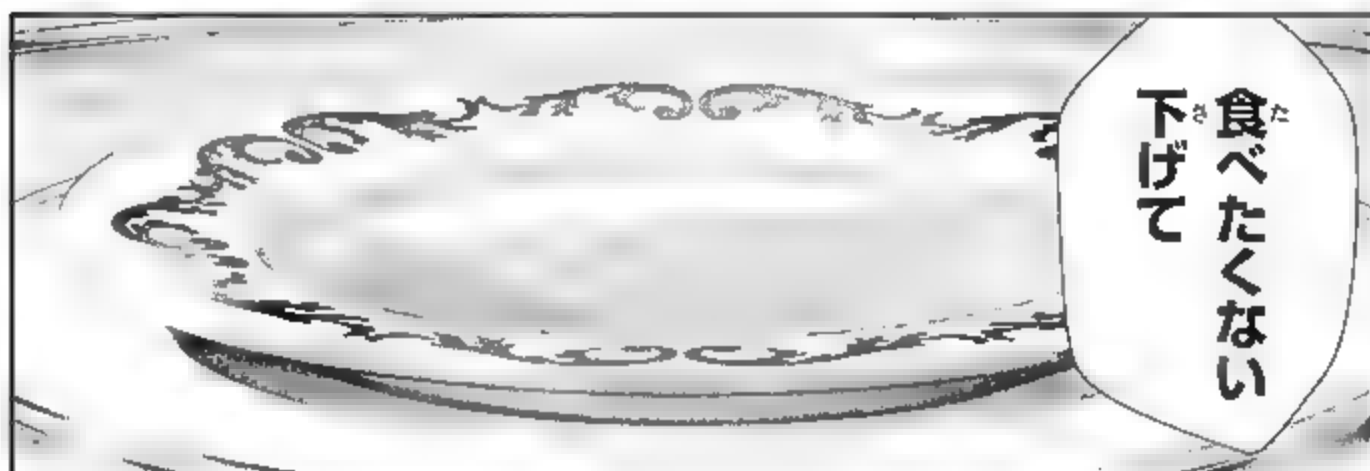
死刑執行後  
引き取り手のない死体を  
解剖することにより  
人体の構造を知悉する  
ようになったのである



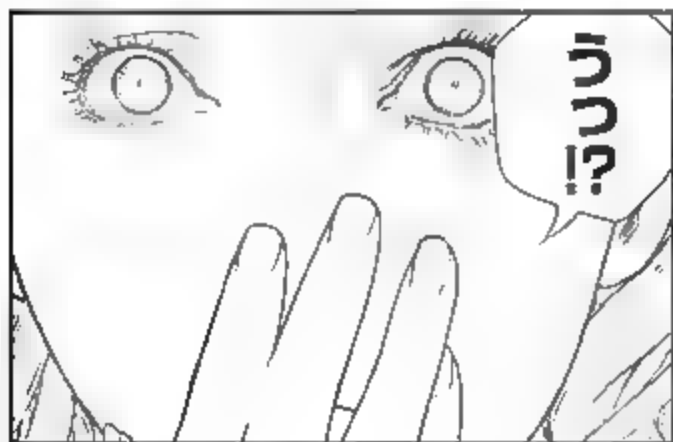
医療からの収入は  
年間6万リーブルにも  
上っていたが

金持ちからは  
高額な報酬を  
受け取っていた反面

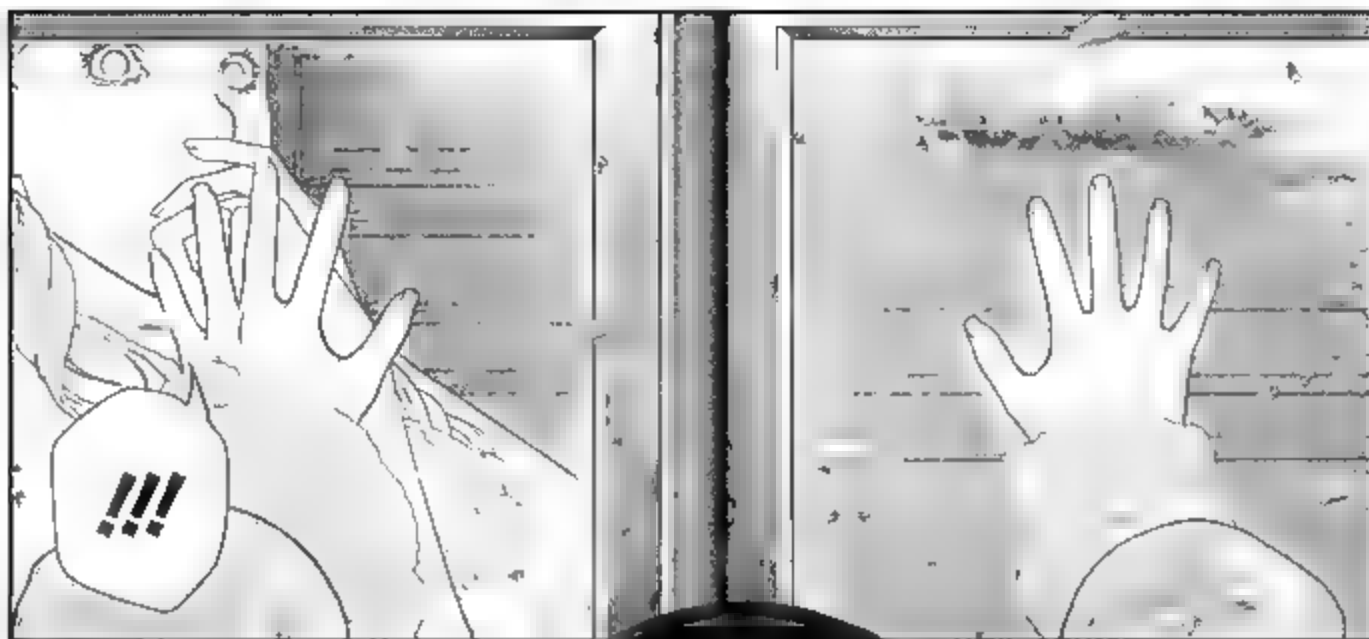
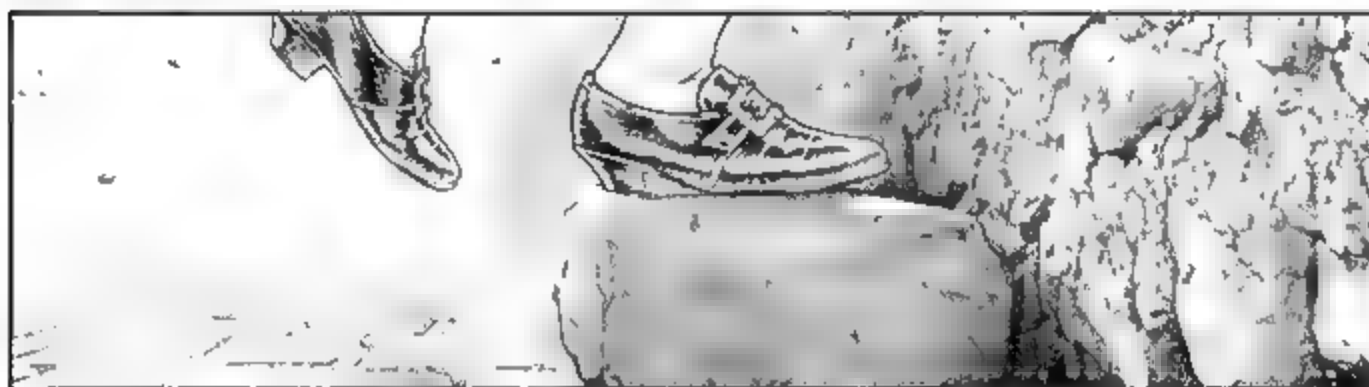
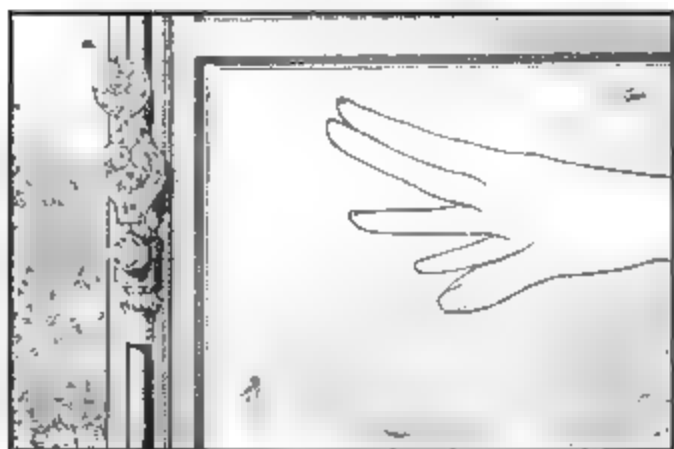
貧しい人からは  
一銭も受け取る  
事はなかった



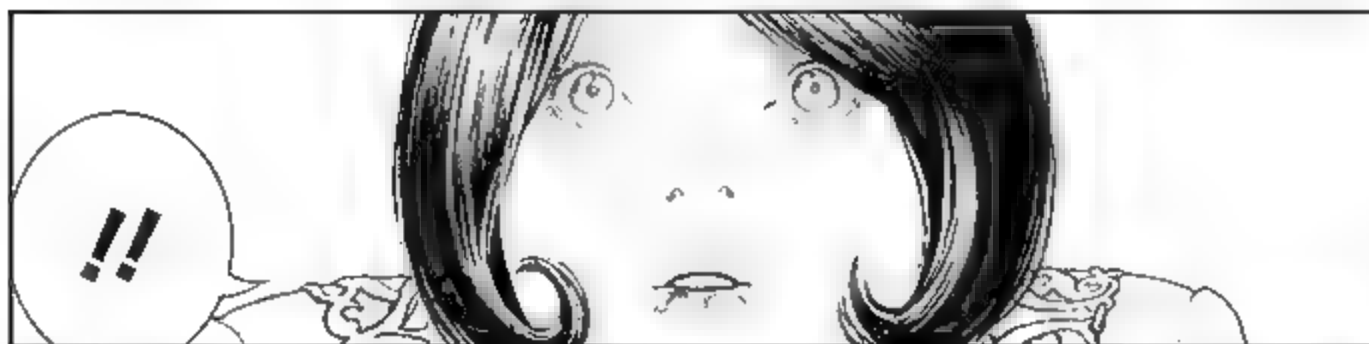
食べたくない  
下げて

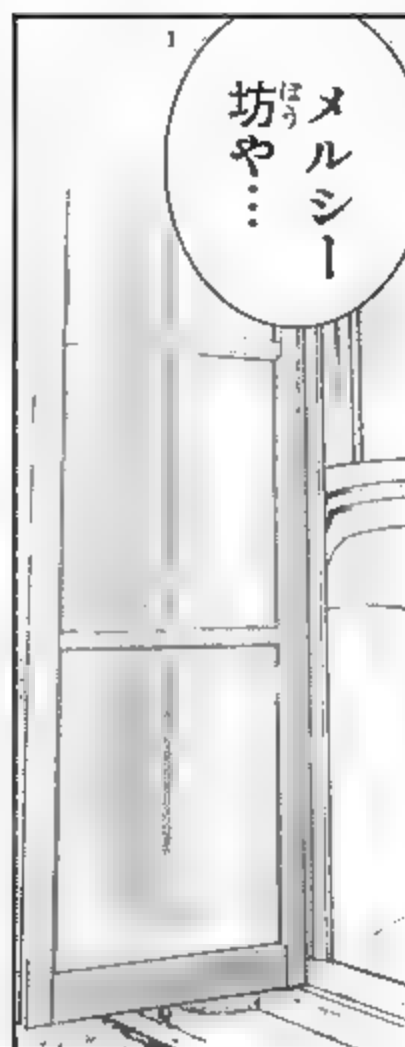


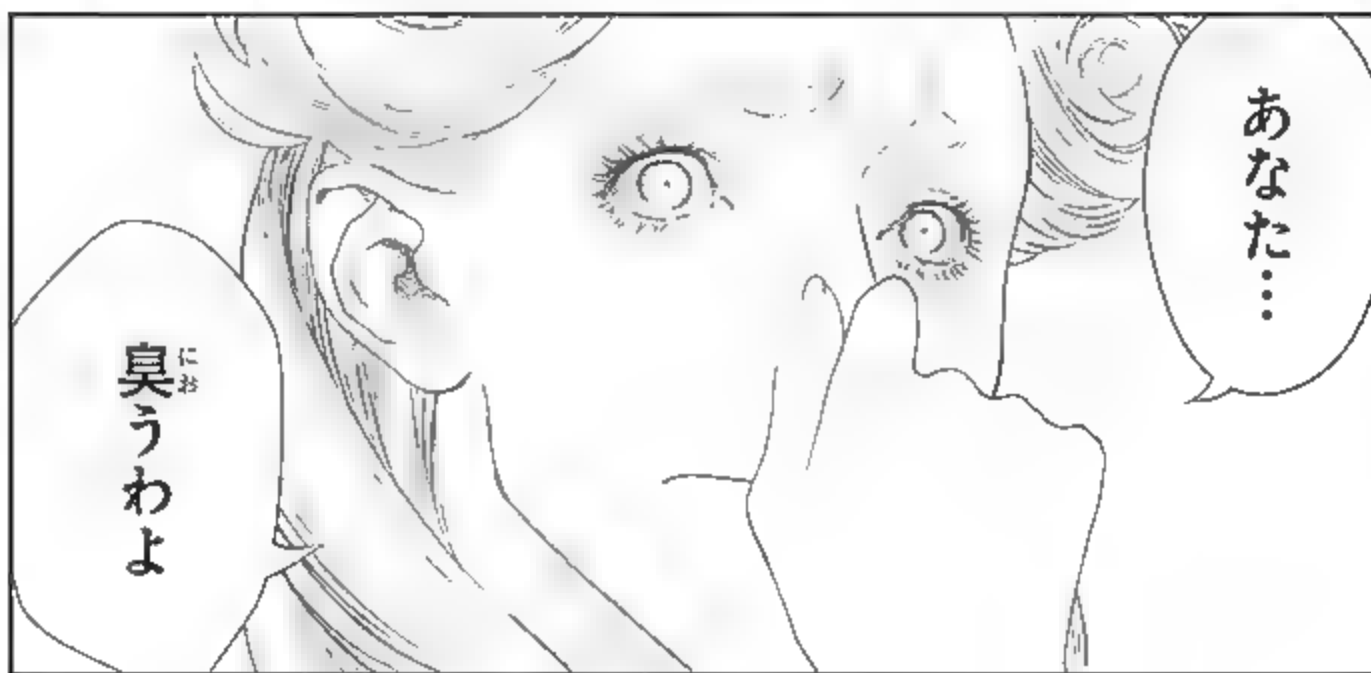
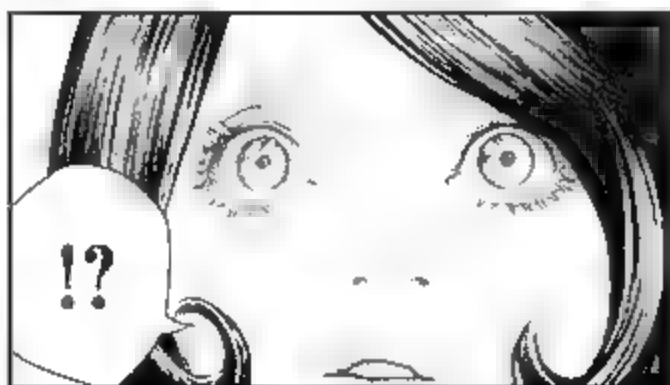


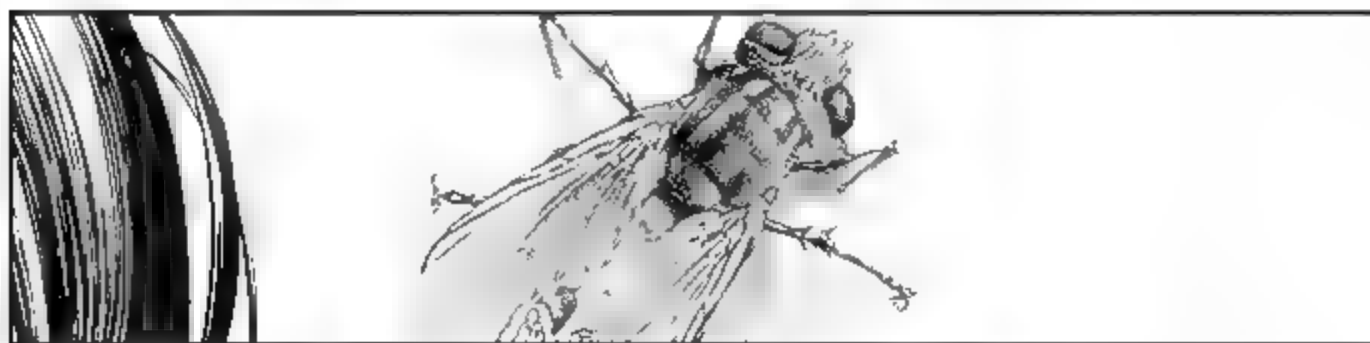












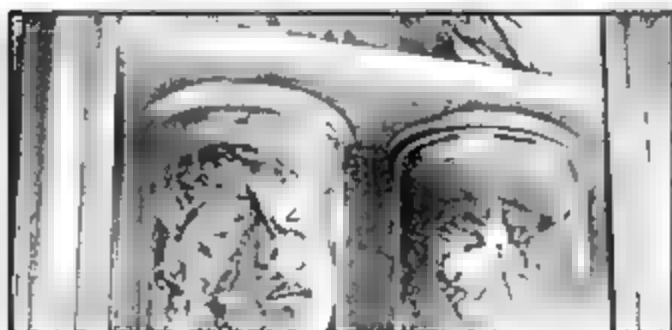
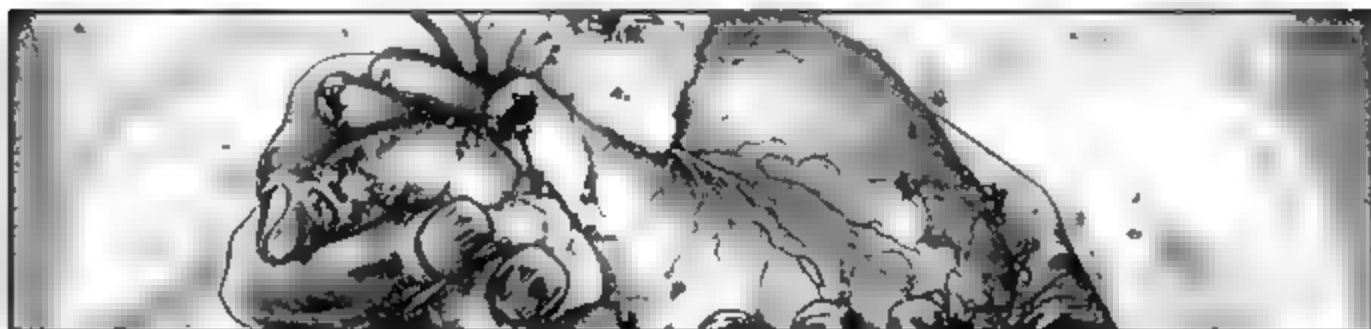
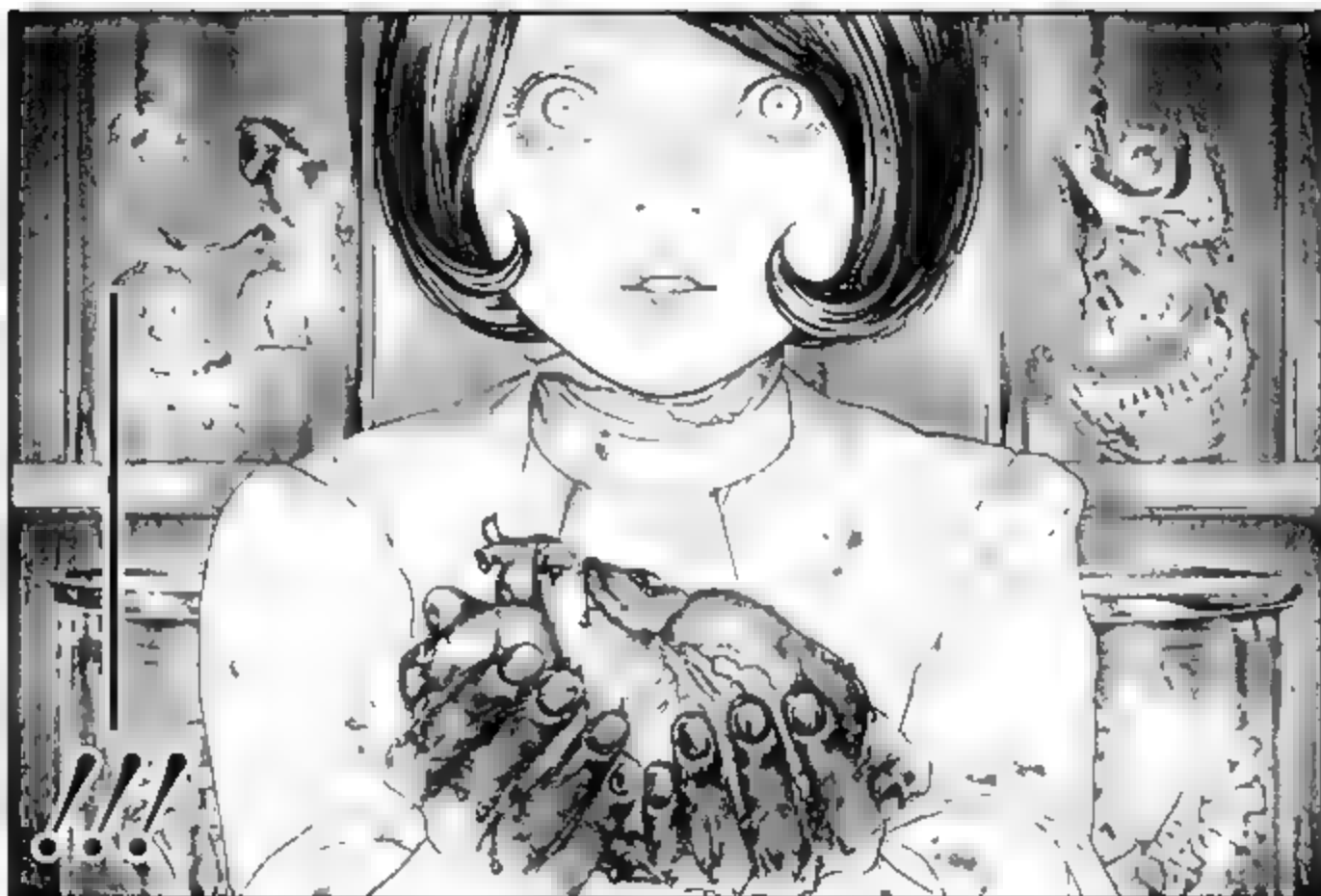


オモチヤの  
兵隊 それ  
トテチテタ

1. 1. それ  
2. 2.

さあ アンリ  
心の臓を  
取り出してごらん

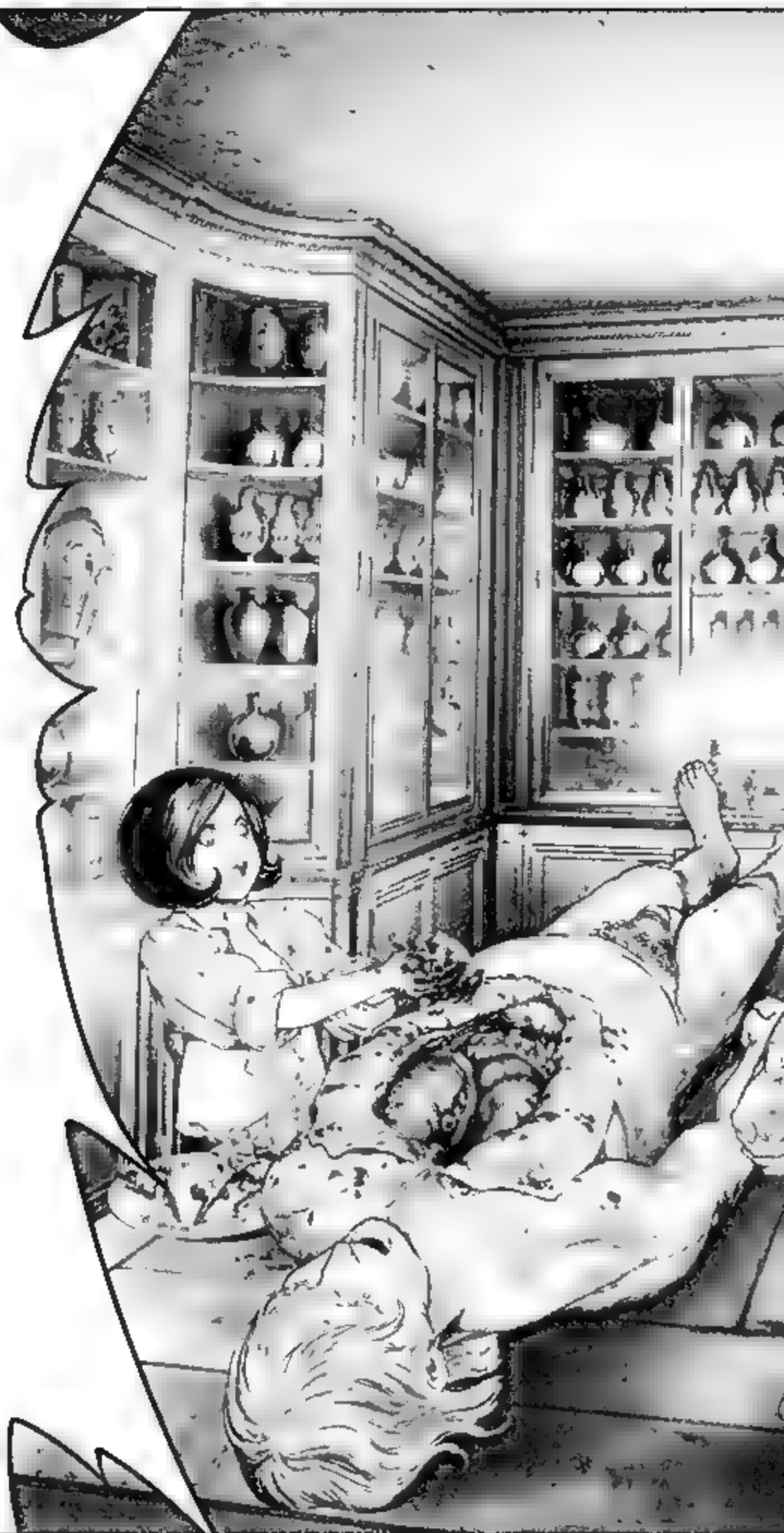




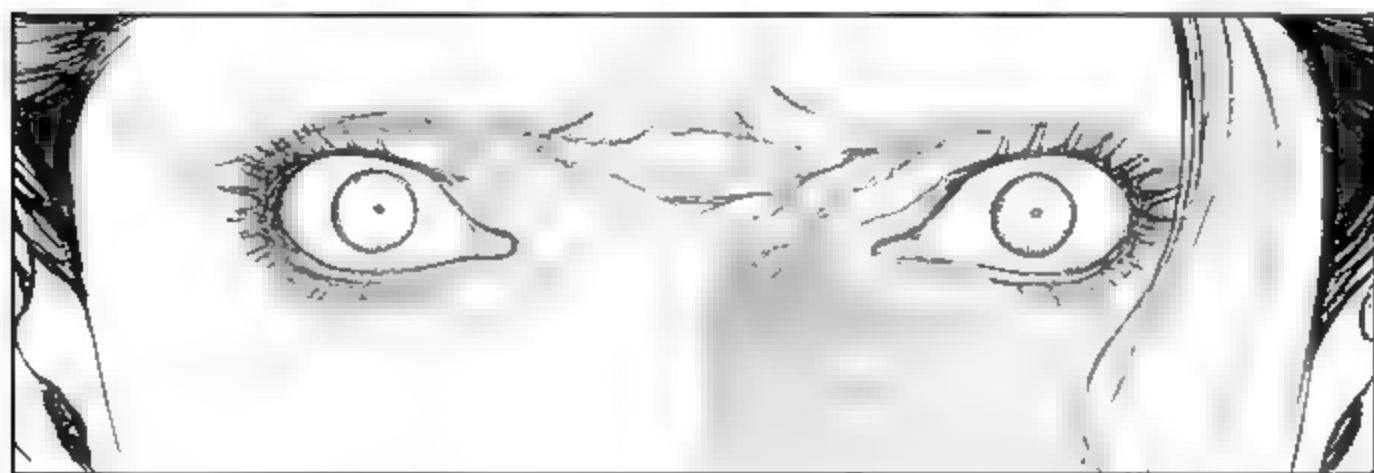


うわあああ

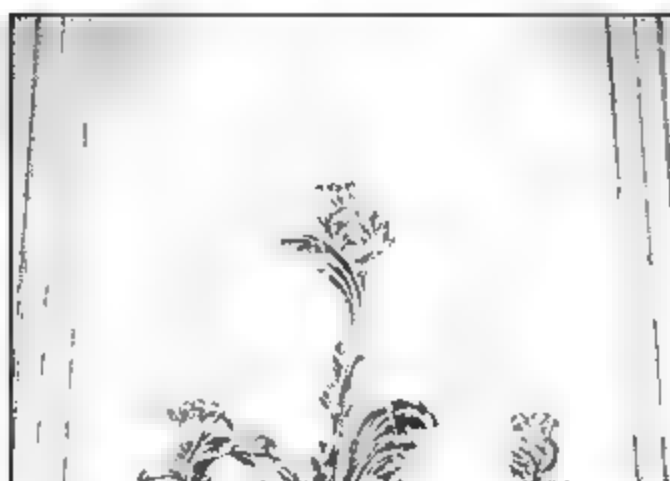
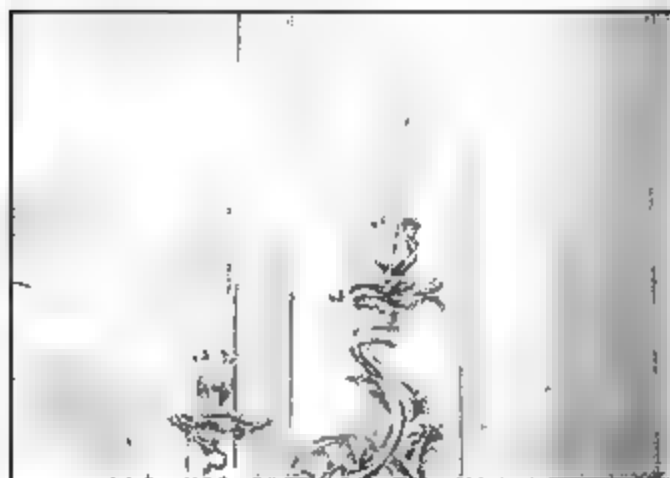
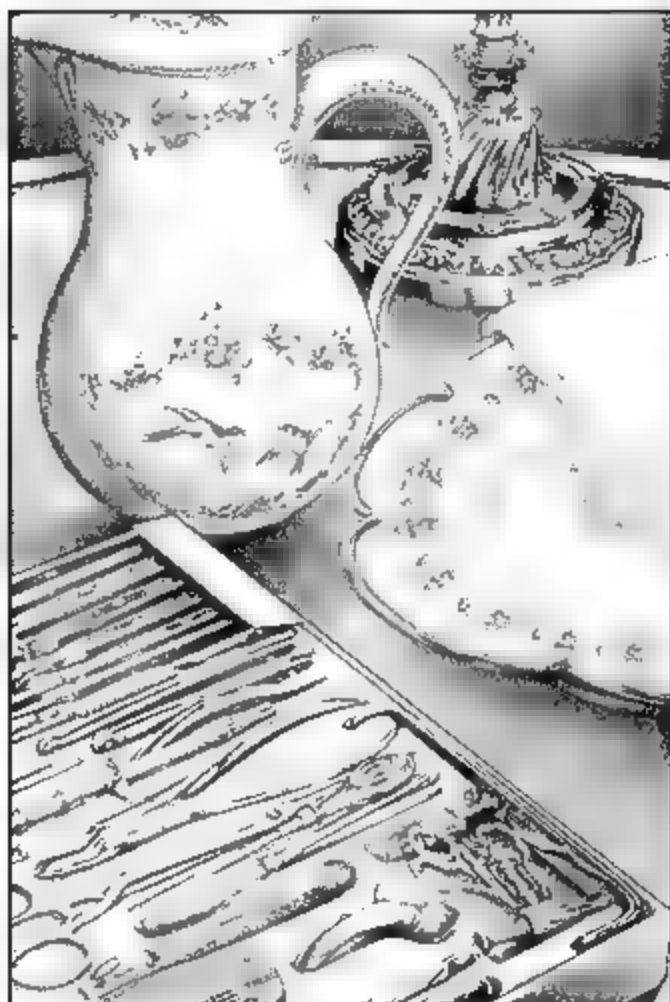
—  
!!!!



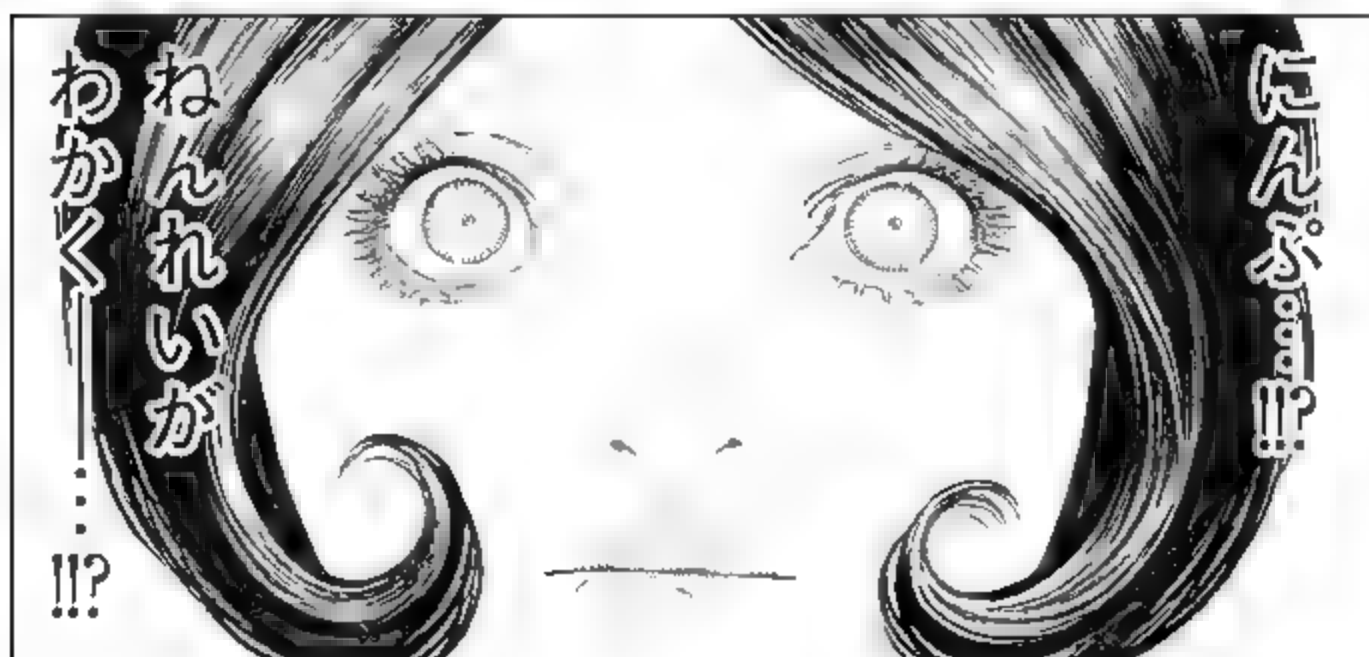
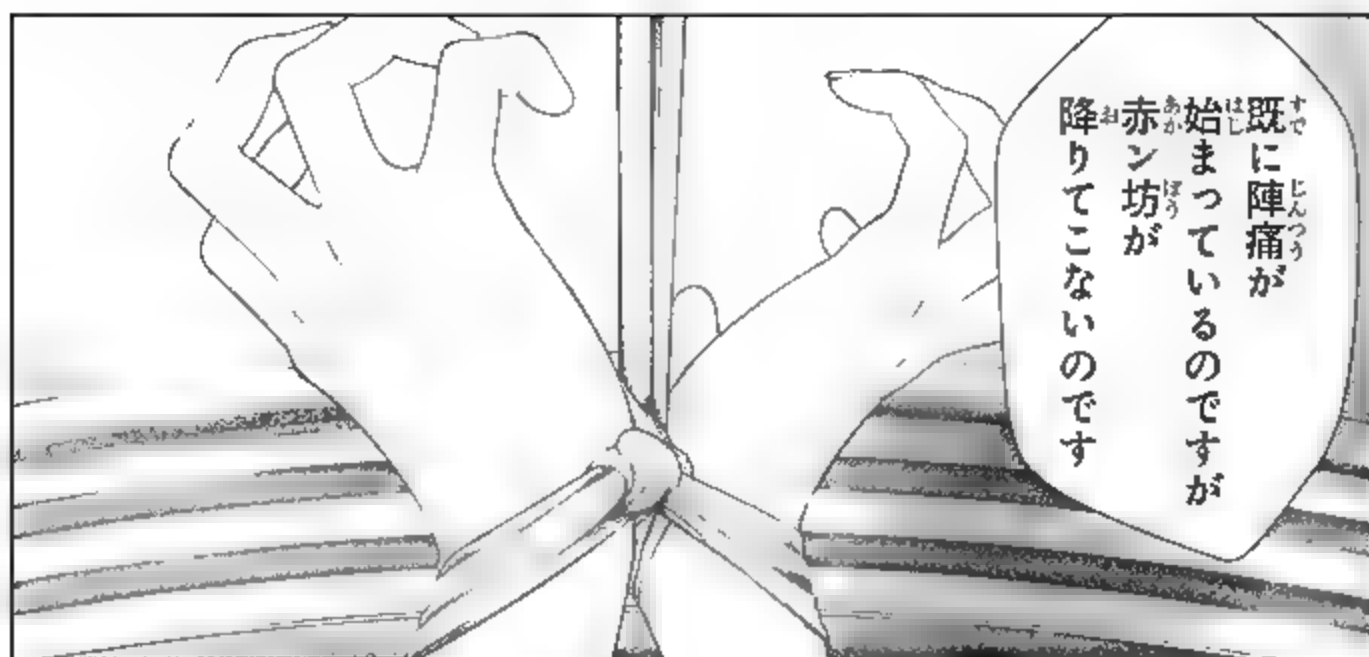


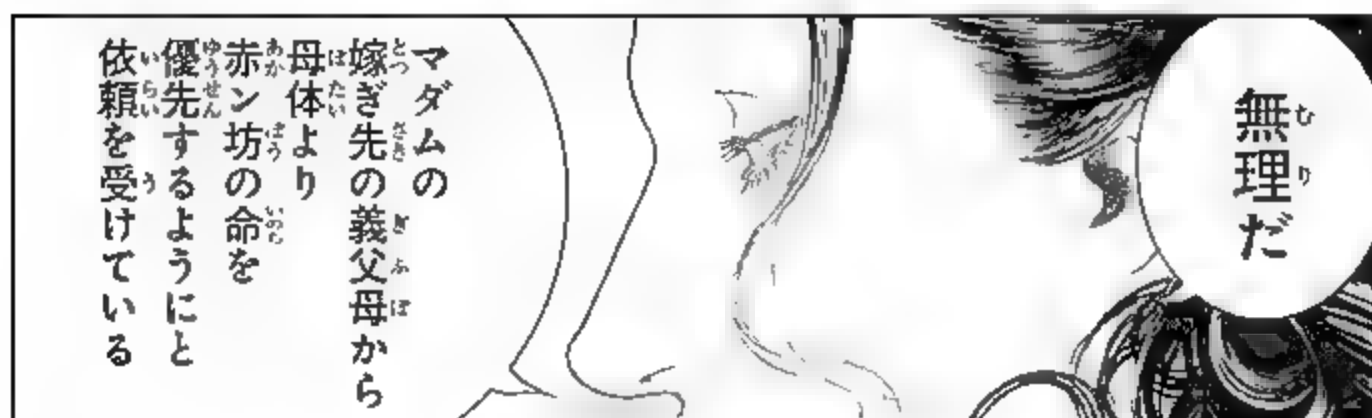












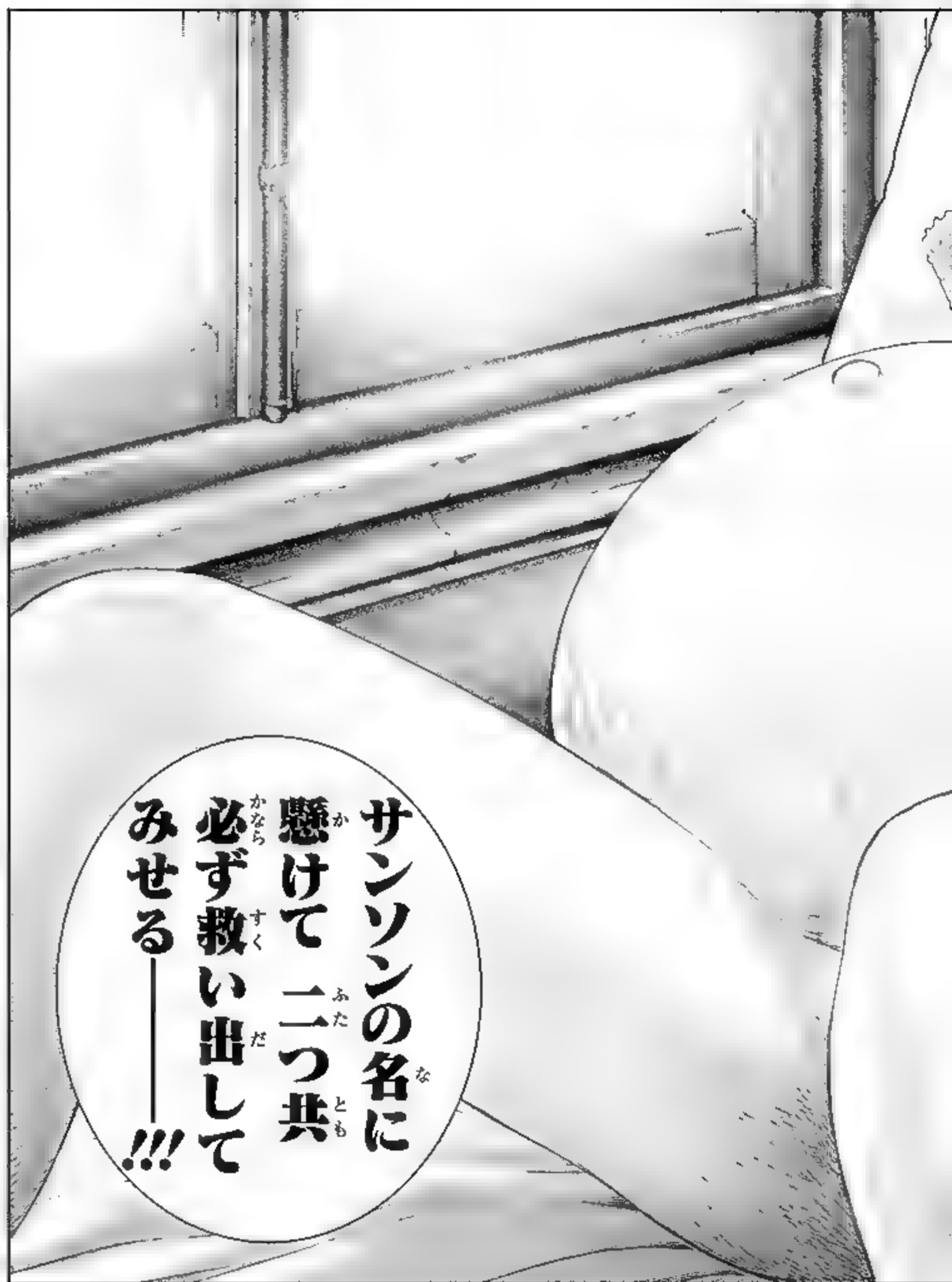
※帝王切開術—腹部を切開して胎児を取り出す方法





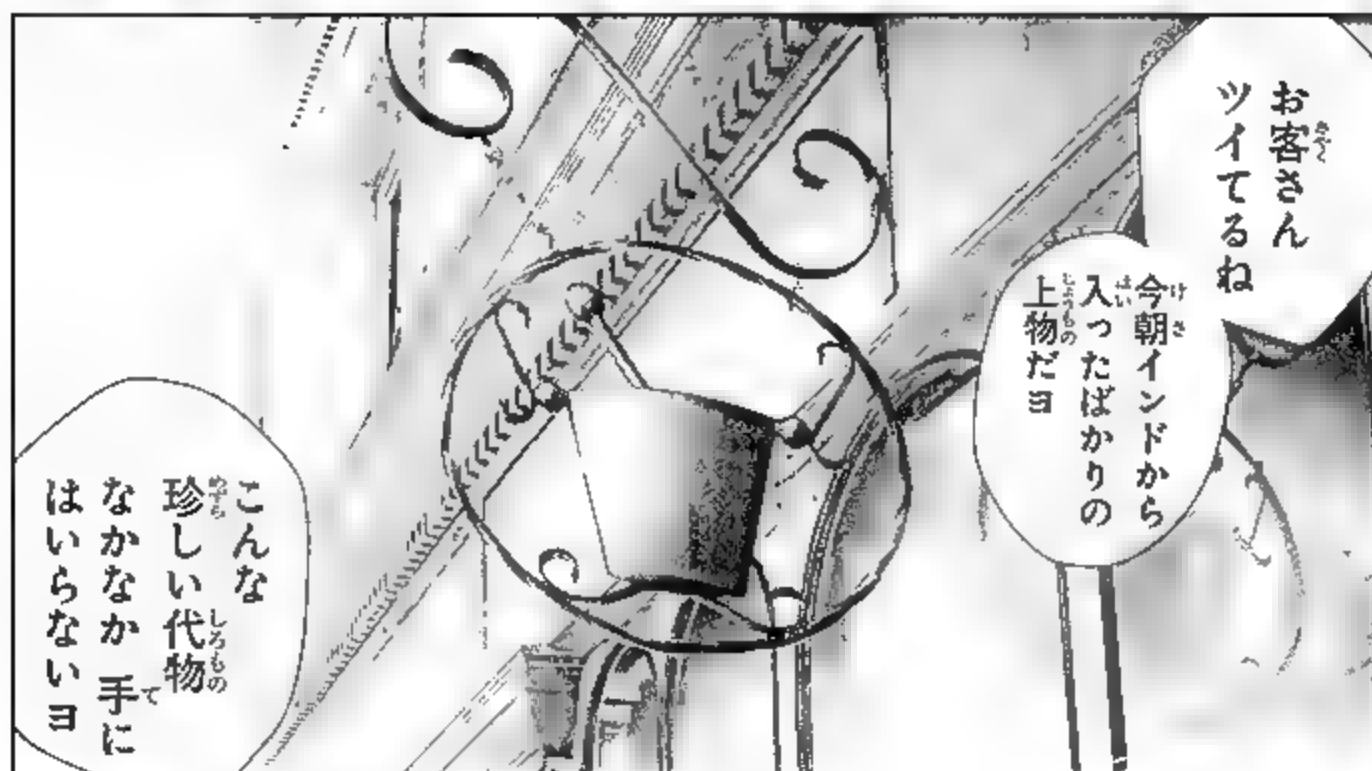
うら若き  
12歳のマダム  
エレーヌ・  
ヴィルヌーブと

子宮内の  
赤ん坊の  
命は



サンソンの名<sup>な</sup>に  
懸<sup>か</sup>けて二<sup>ふた</sup>つ共<sup>とも</sup>  
必<sup>かなら</sup>ず救<sup>すく</sup>い出<sup>だ</sup>して  
みせる——  
!!!





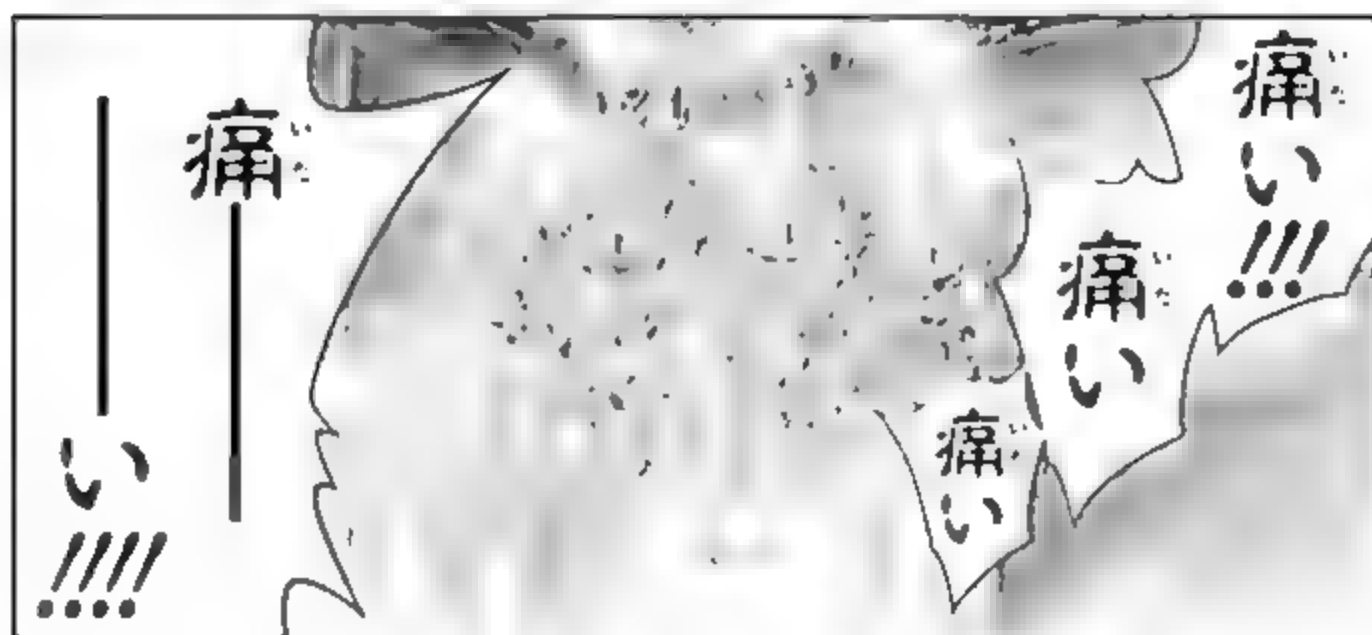




n°4

生命握る手

いざパリへ  
急ぐぞ!!!

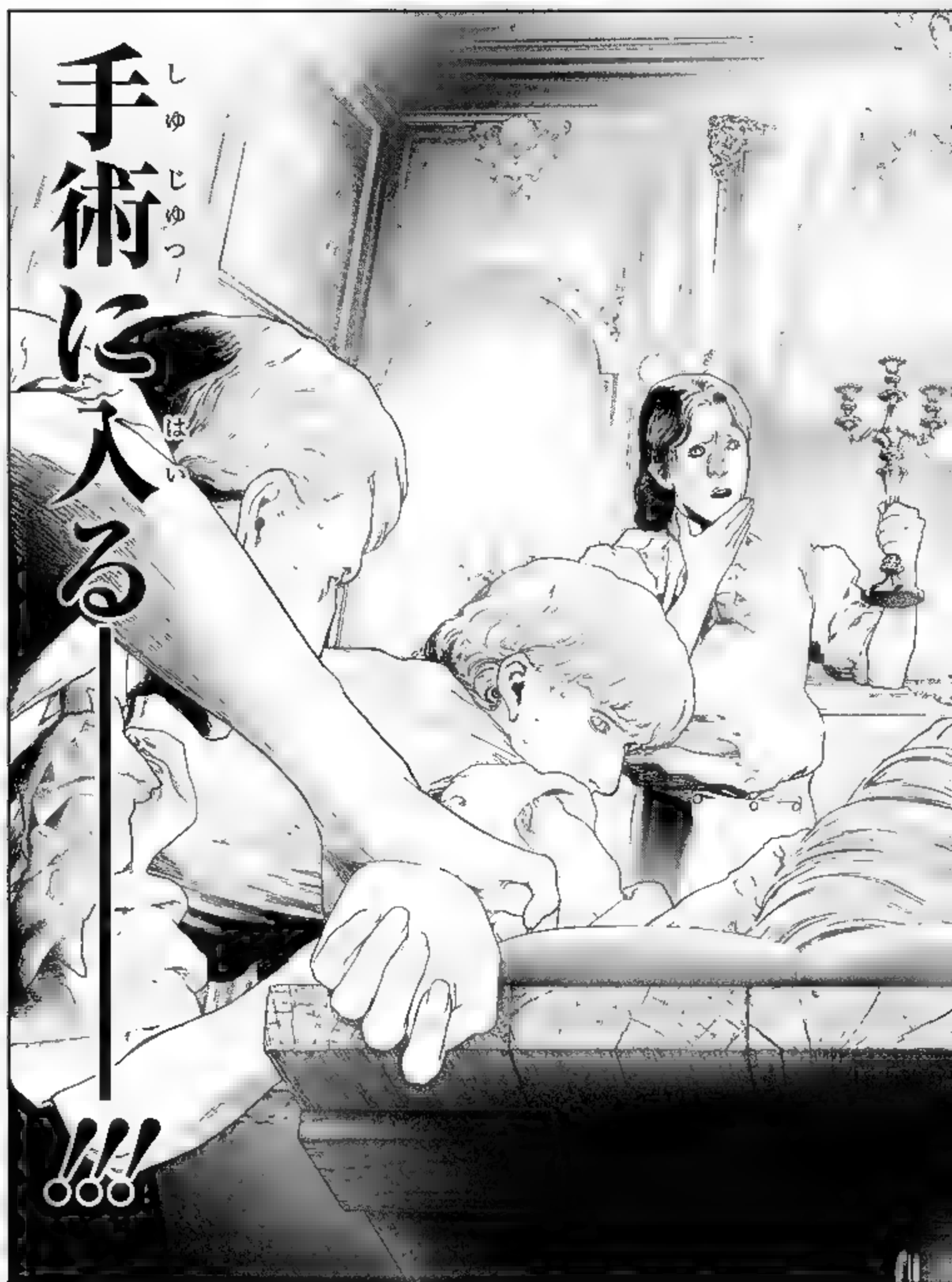


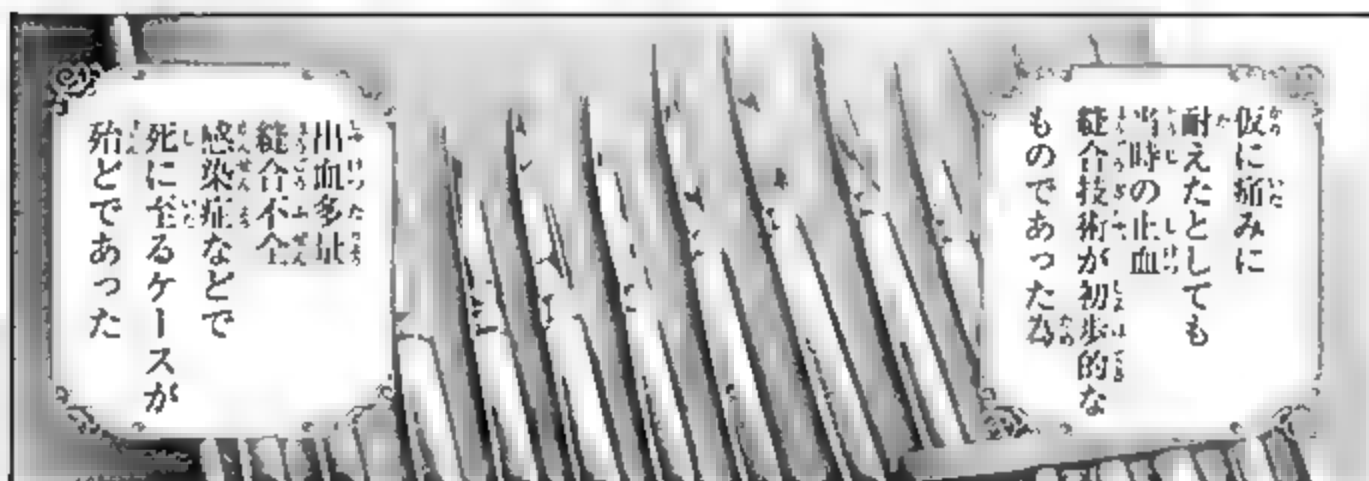


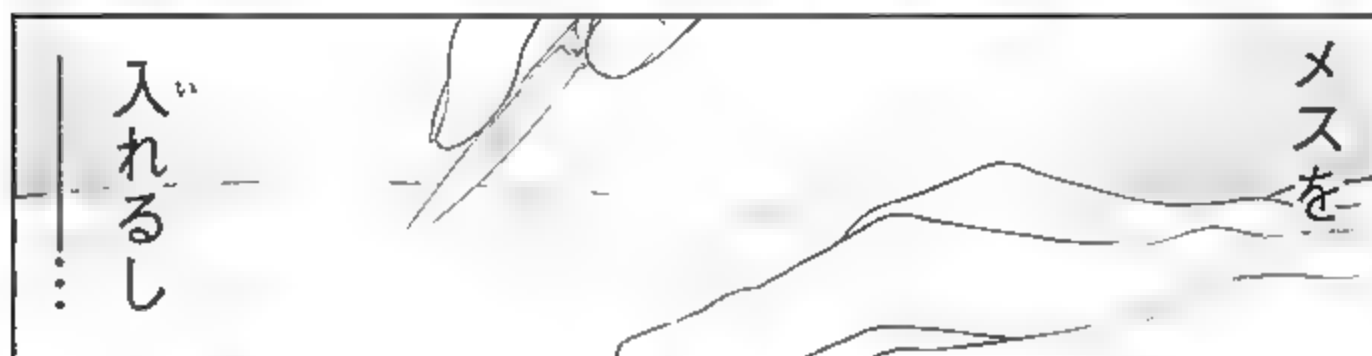
これより

帝王切開術の





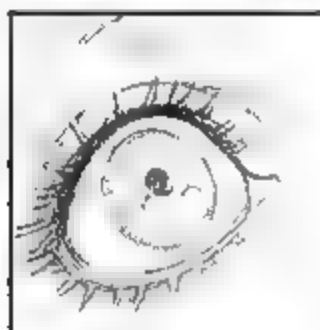
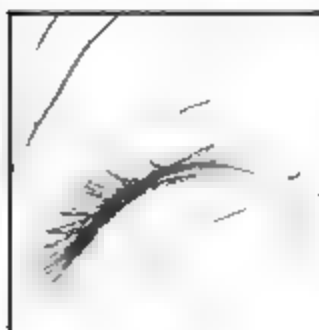
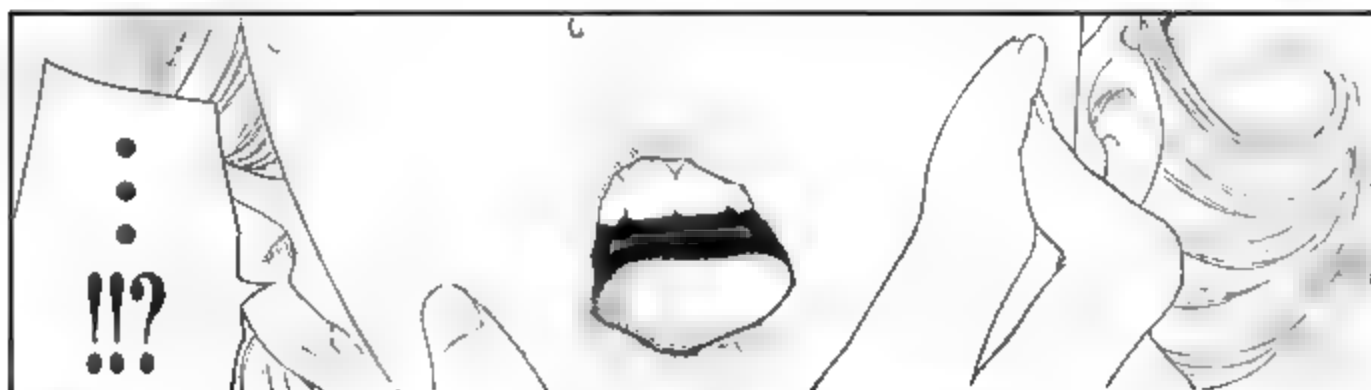


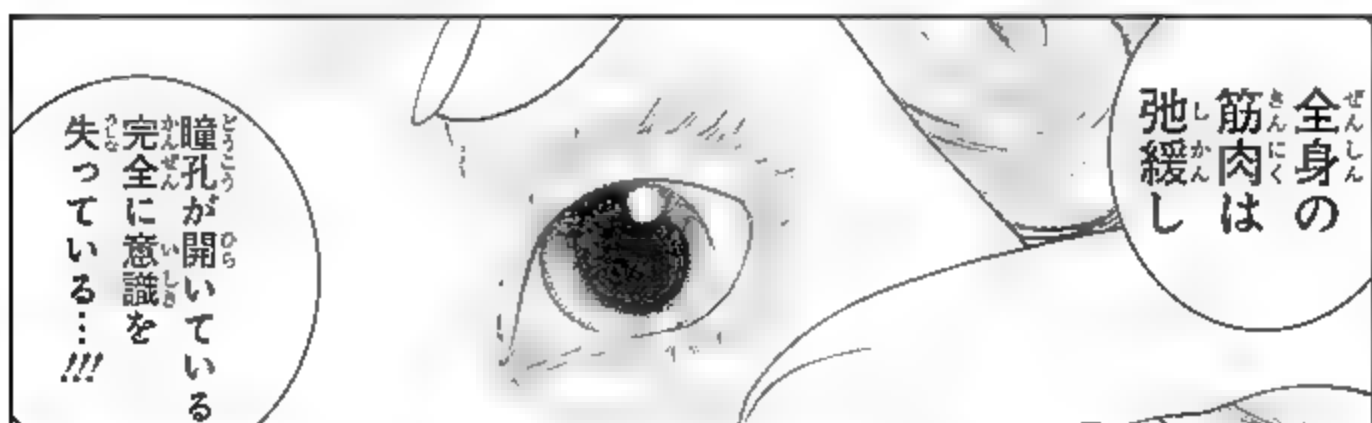






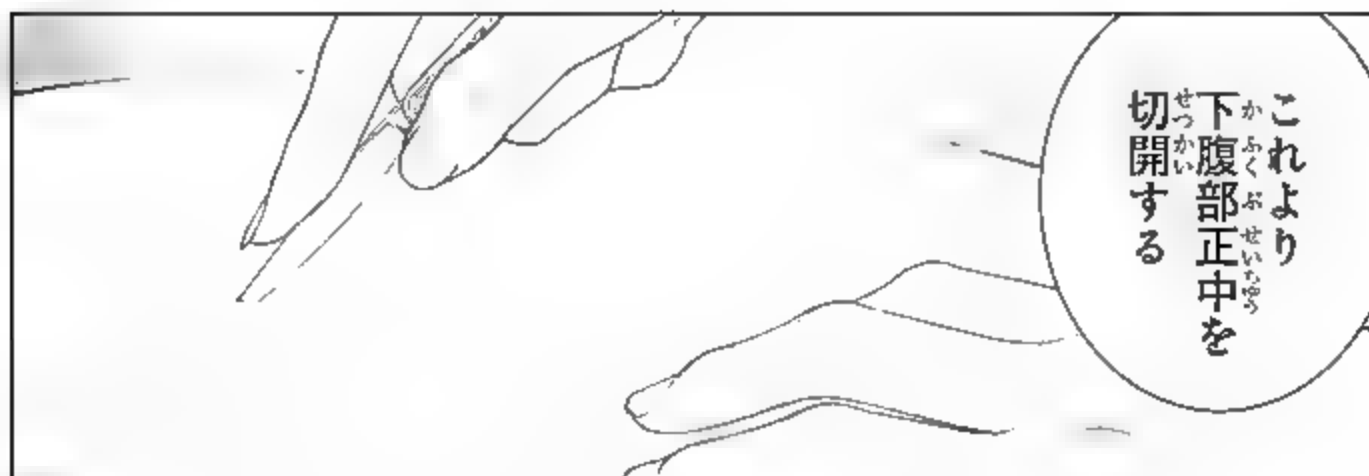
















なんて力づよくて

かつこいいせなかなんだ

。。。。

ちちうえ おじさま

ぼくはいま二人とおなじ

サシツシの血がながれていることを  
ほごりにおもいます!!!!



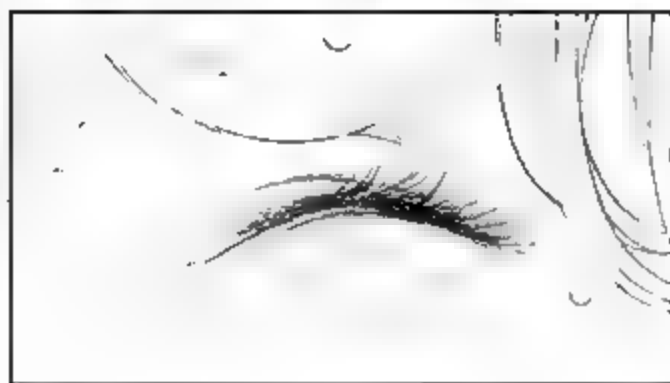
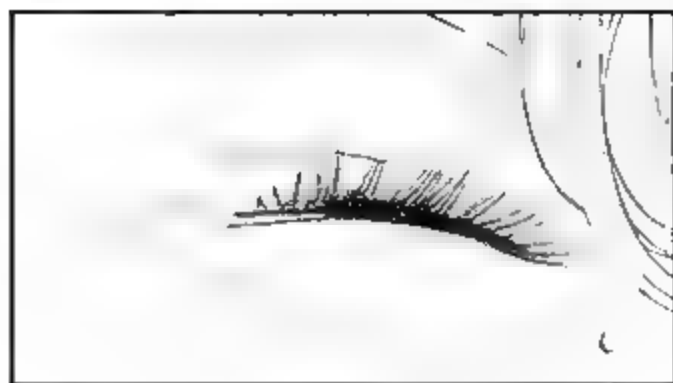
この  
貧乏貴族の  
生娘が...!!!

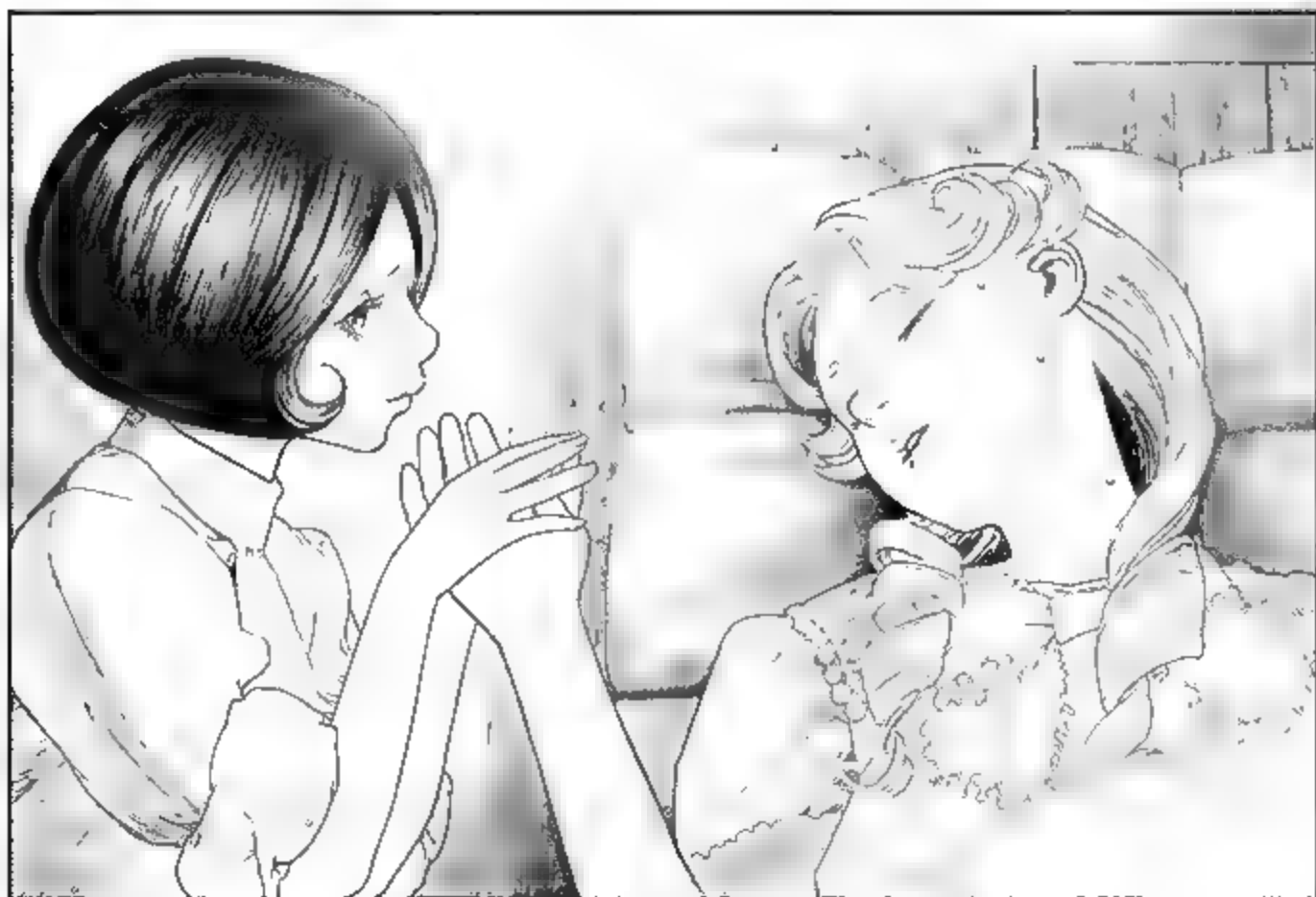


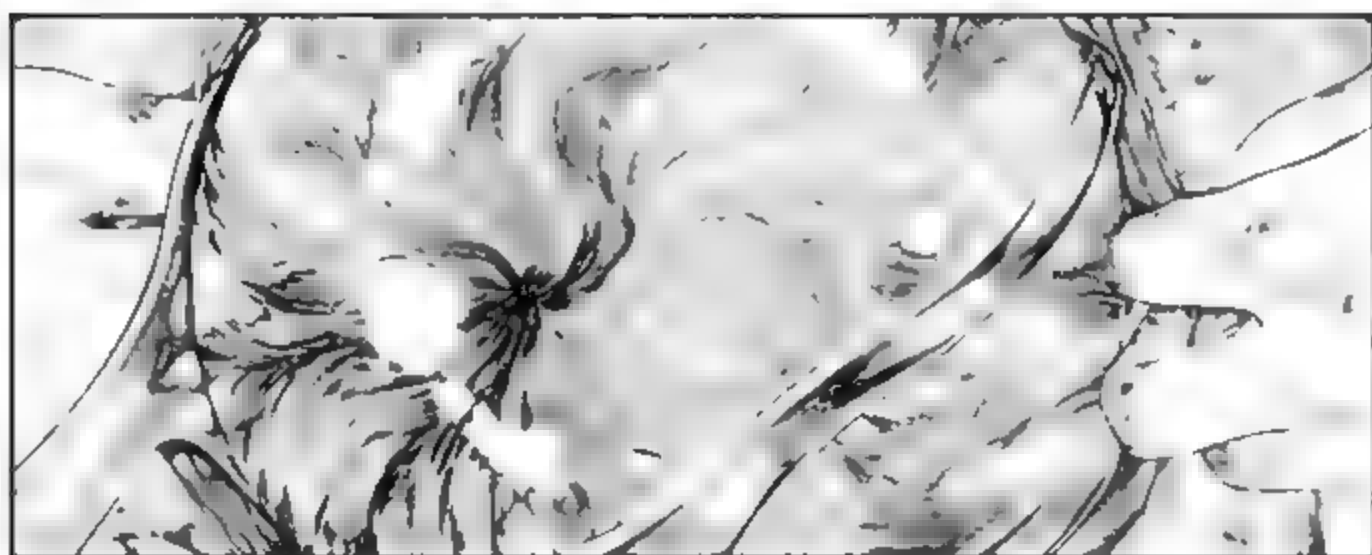
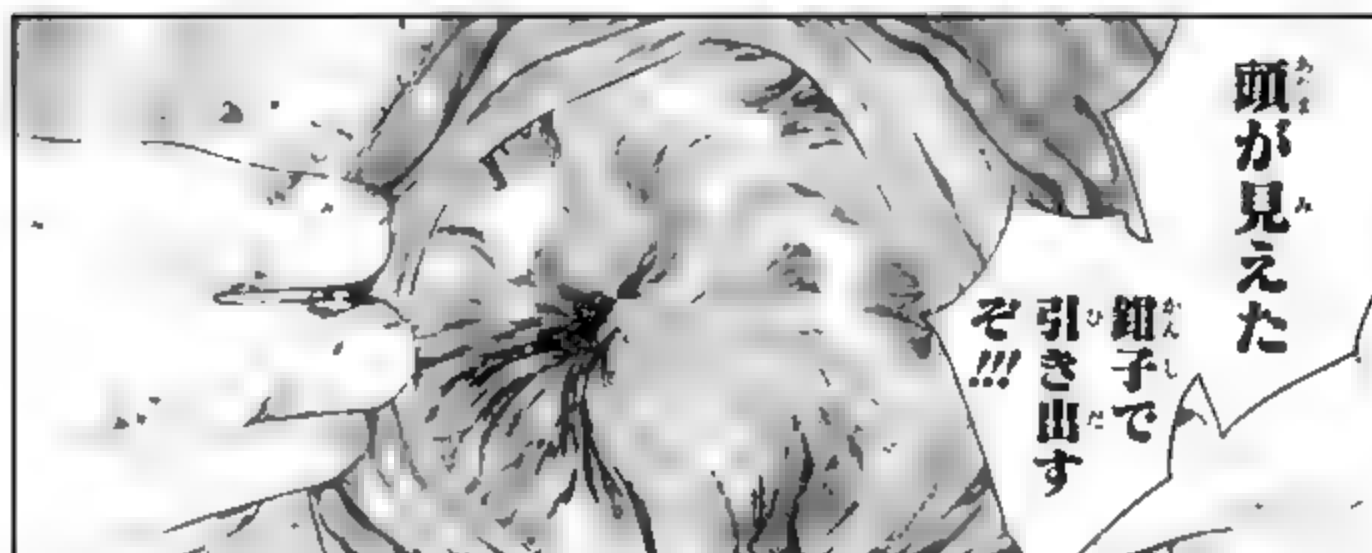
お前の父親は  
ブルジョワ階級の  
富が欲しくて

お前を俺様に  
売ったのだ!!!

どんな気分だ  
お前の美しい身体が  
平民の汚らしい  
スペルムで  
満たされるのは...!!!



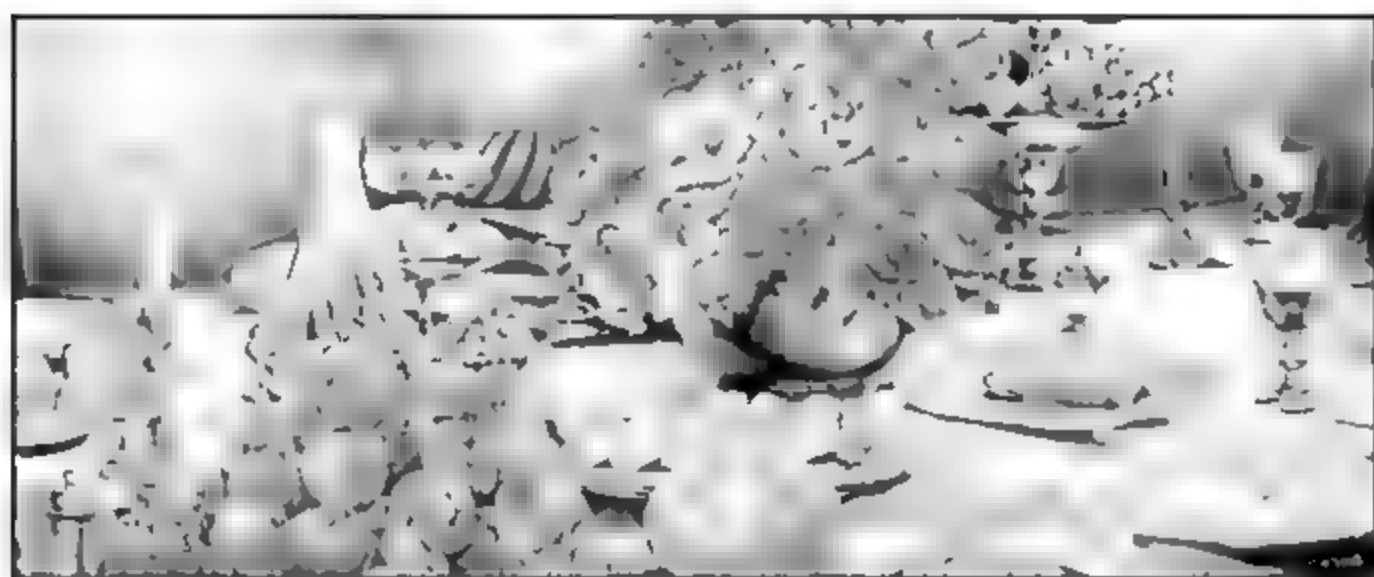


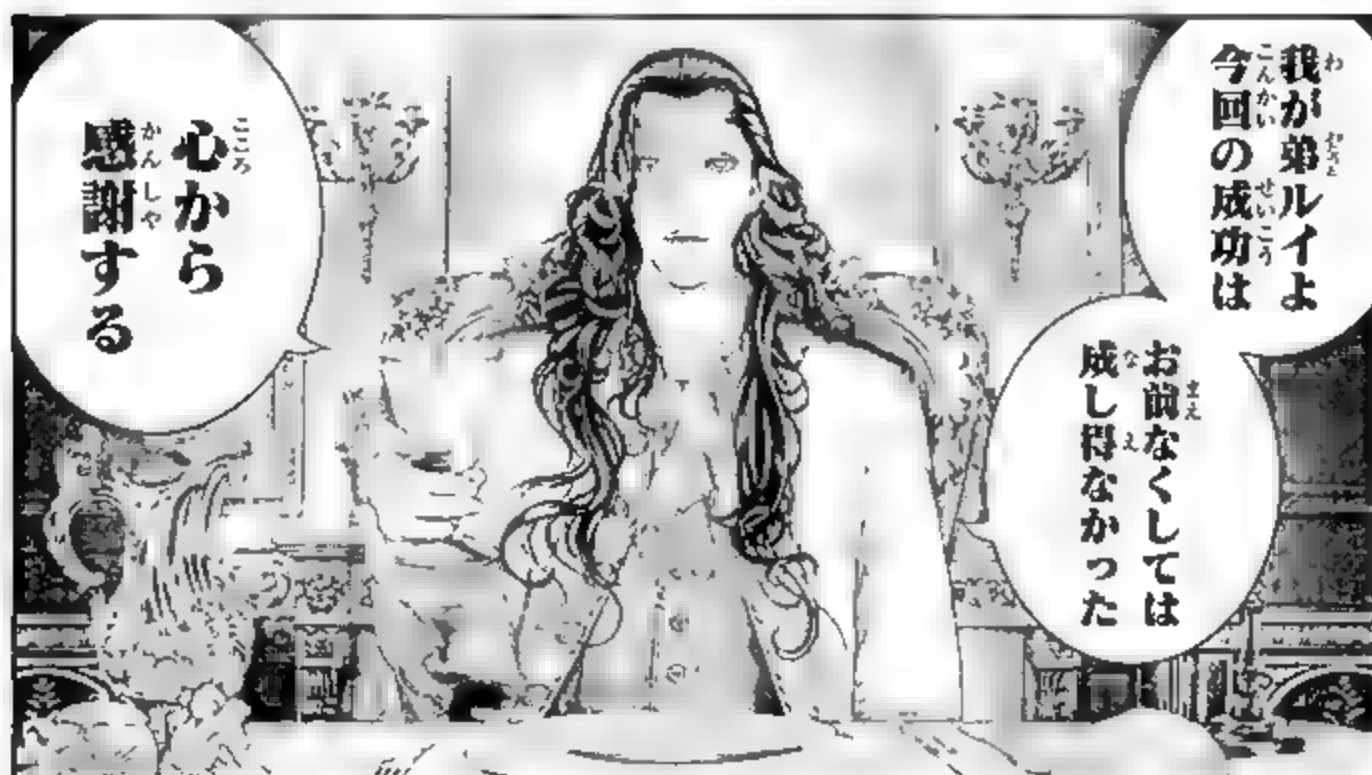


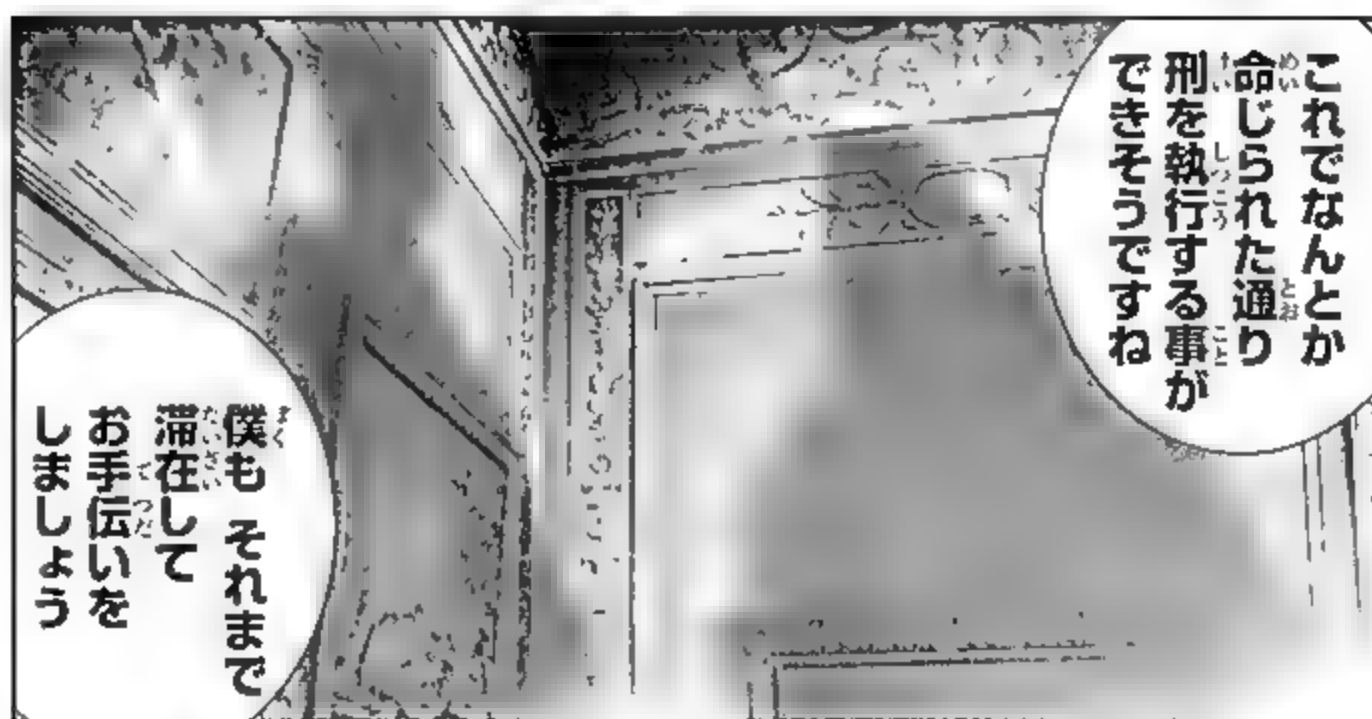


















女性と子供の  
処刑は  
貴族であろうとも  
「絞首刑」のみと  
定められている



今回  
注意すべき  
点は――

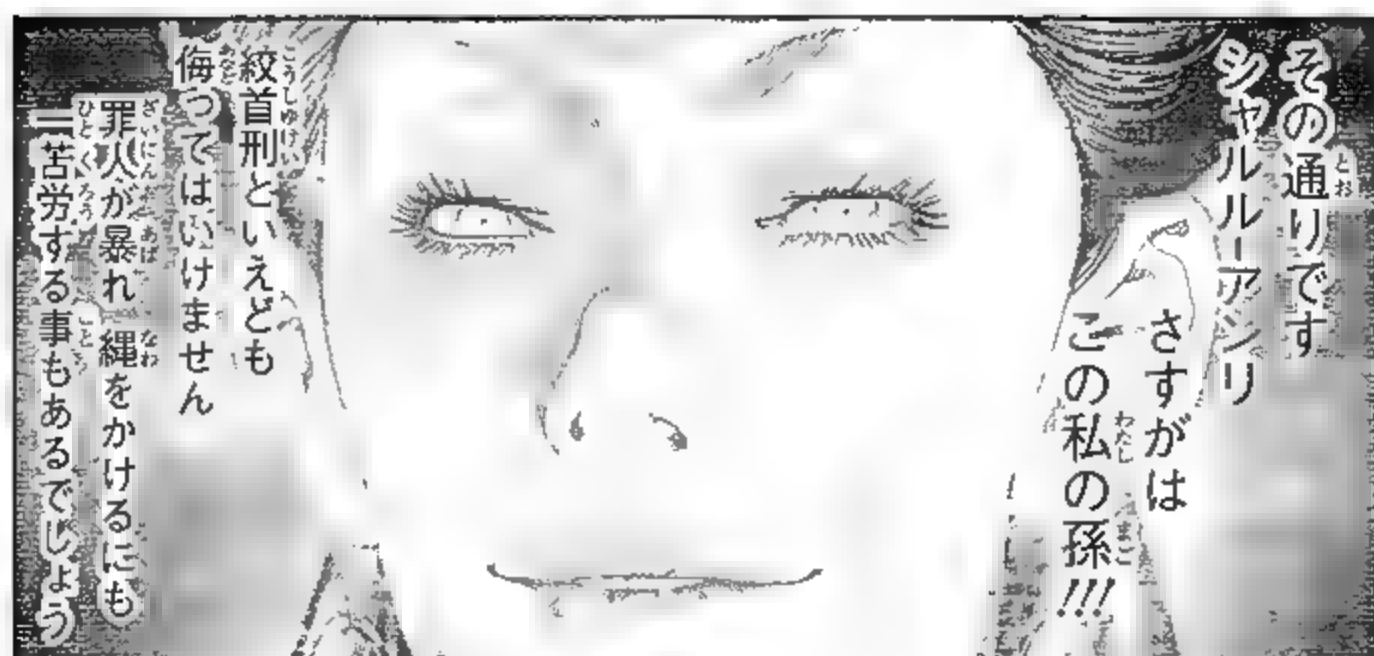


12歳の  
幼き罪人の  
体重が軽すぎ

うまく首に  
重量がかから  
ない為

おそろくは  
一瞬で首の骨を  
折る事ができず  
死に至るまで長時間  
もがき苦しんで  
しまうという事だ……



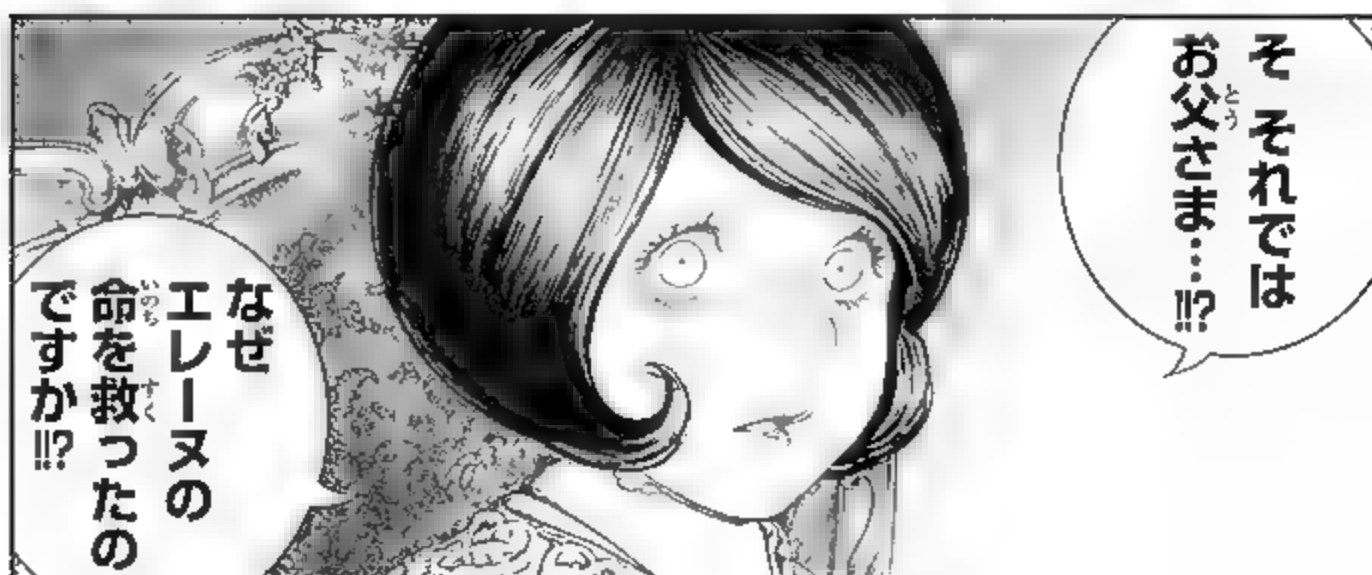
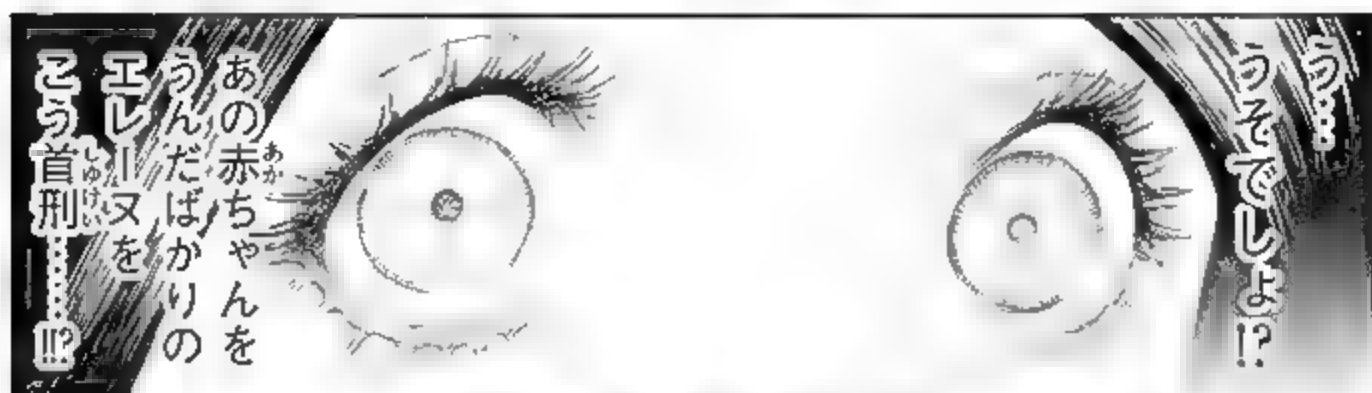


我がサンソン家は  
国王陛下の委任を受けた  
名誉ある三族

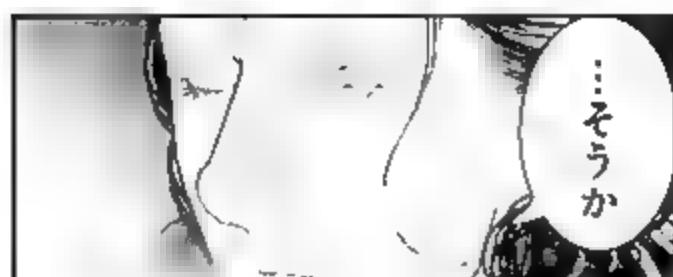
n°5 清濁の世界

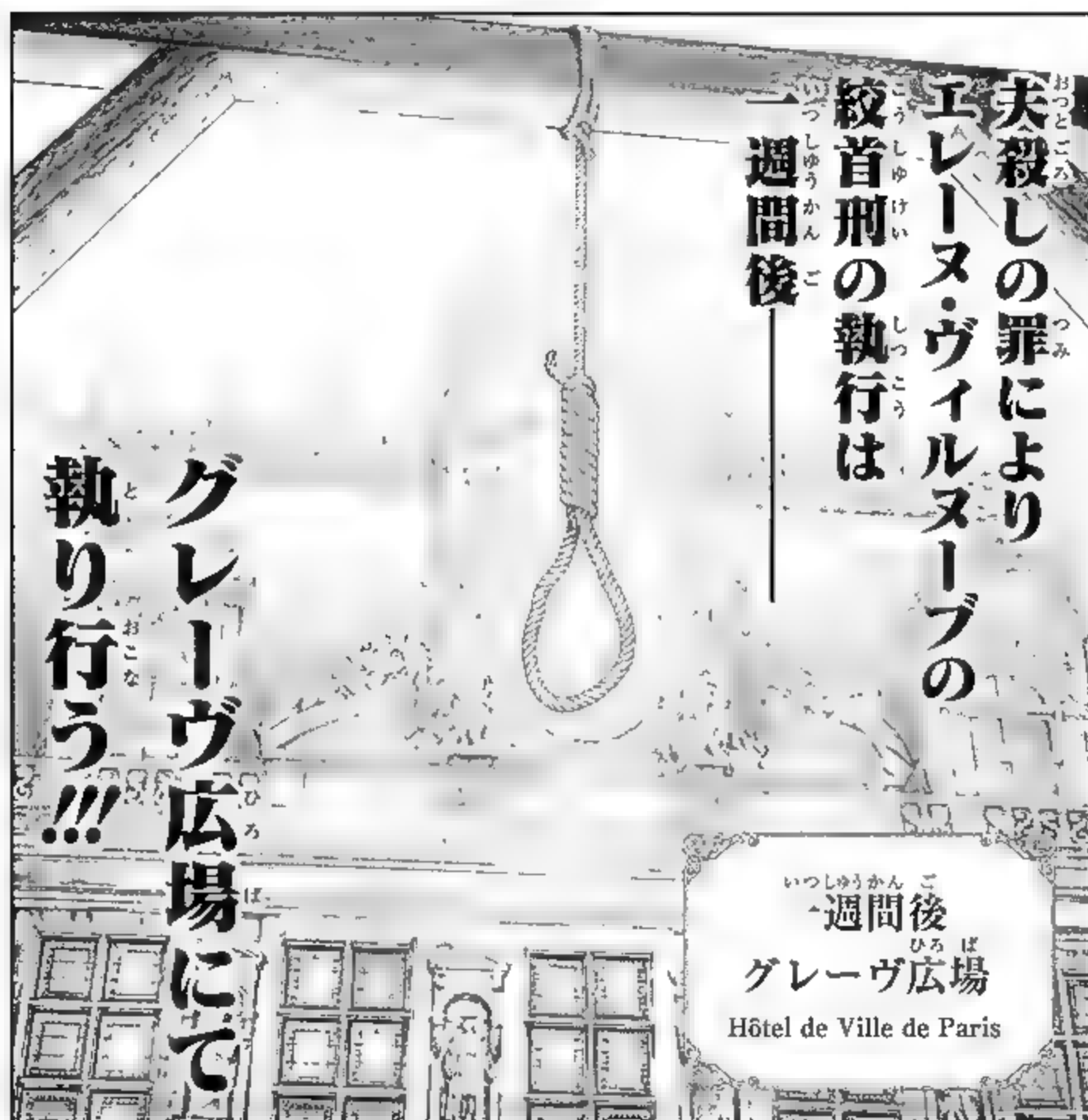
罪を罰し  
人々に秩序をもたらし  
胸を張り職務に励めと











夫殺しの罪により  
エレーヌ・ヴィルヌーブの  
絞首刑の執行は  
一週間後

一週間後  
グレーヴ広場  
Hôtel de Ville de Paris

グレーヴ広場にて  
執り行う!!!

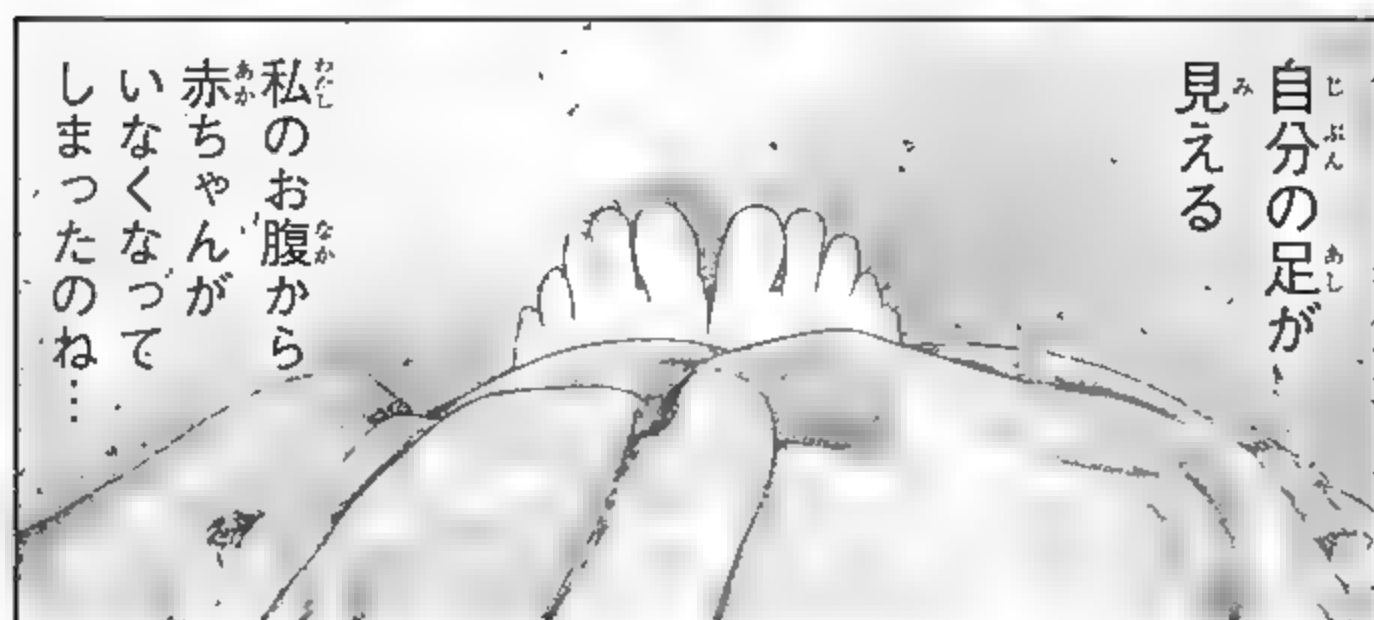


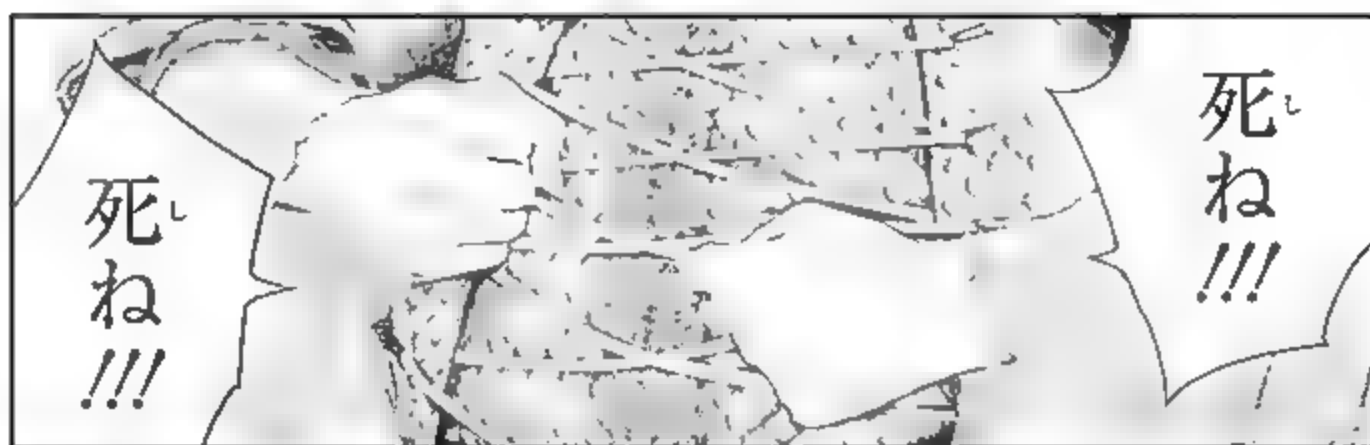
なんだよあれ  
今日の罪人は  
ガキじゃねえか

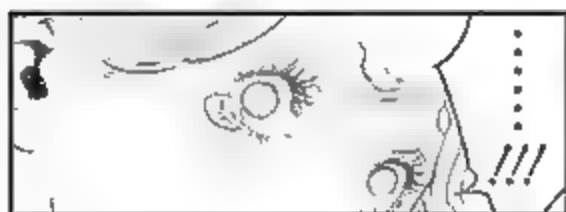
旦那殺し  
なんつーから

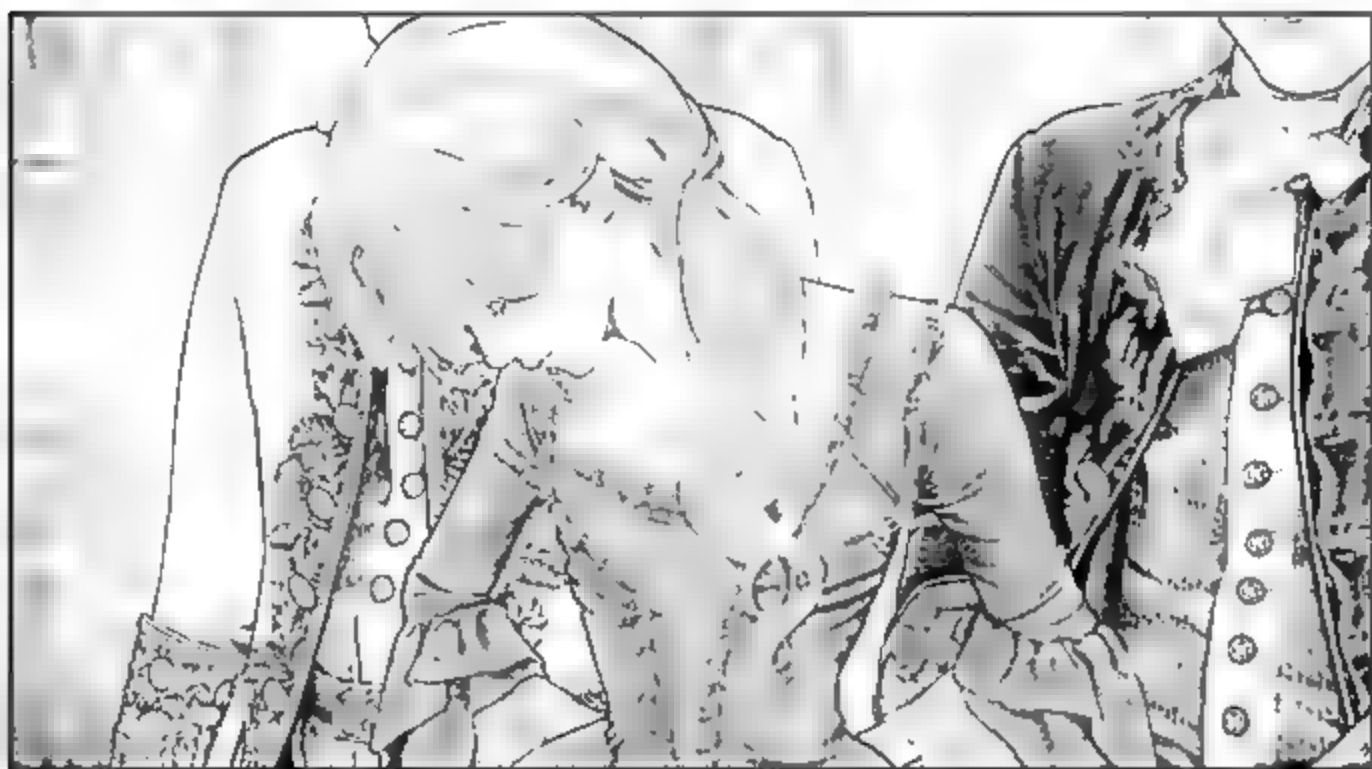
よっほど  
艶っぽいマダムかと  
期待したのによー



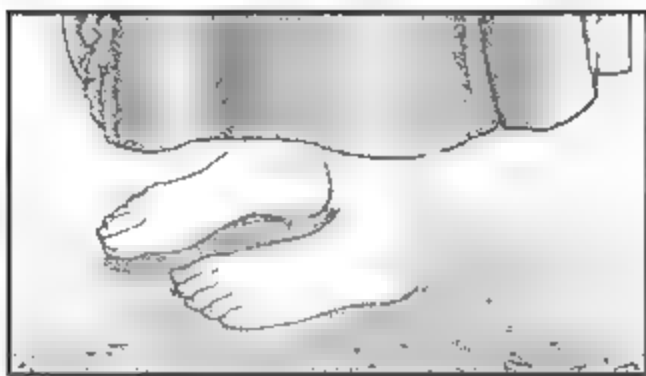
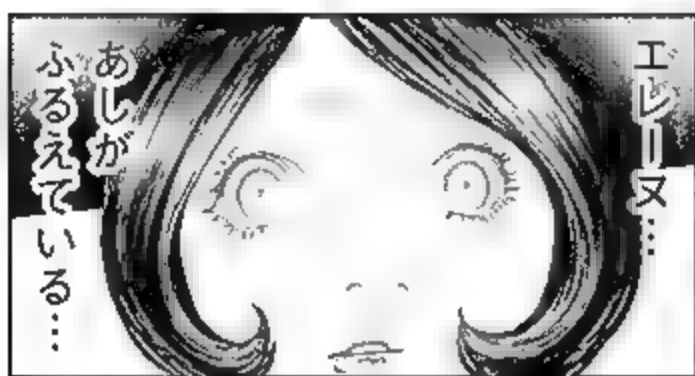






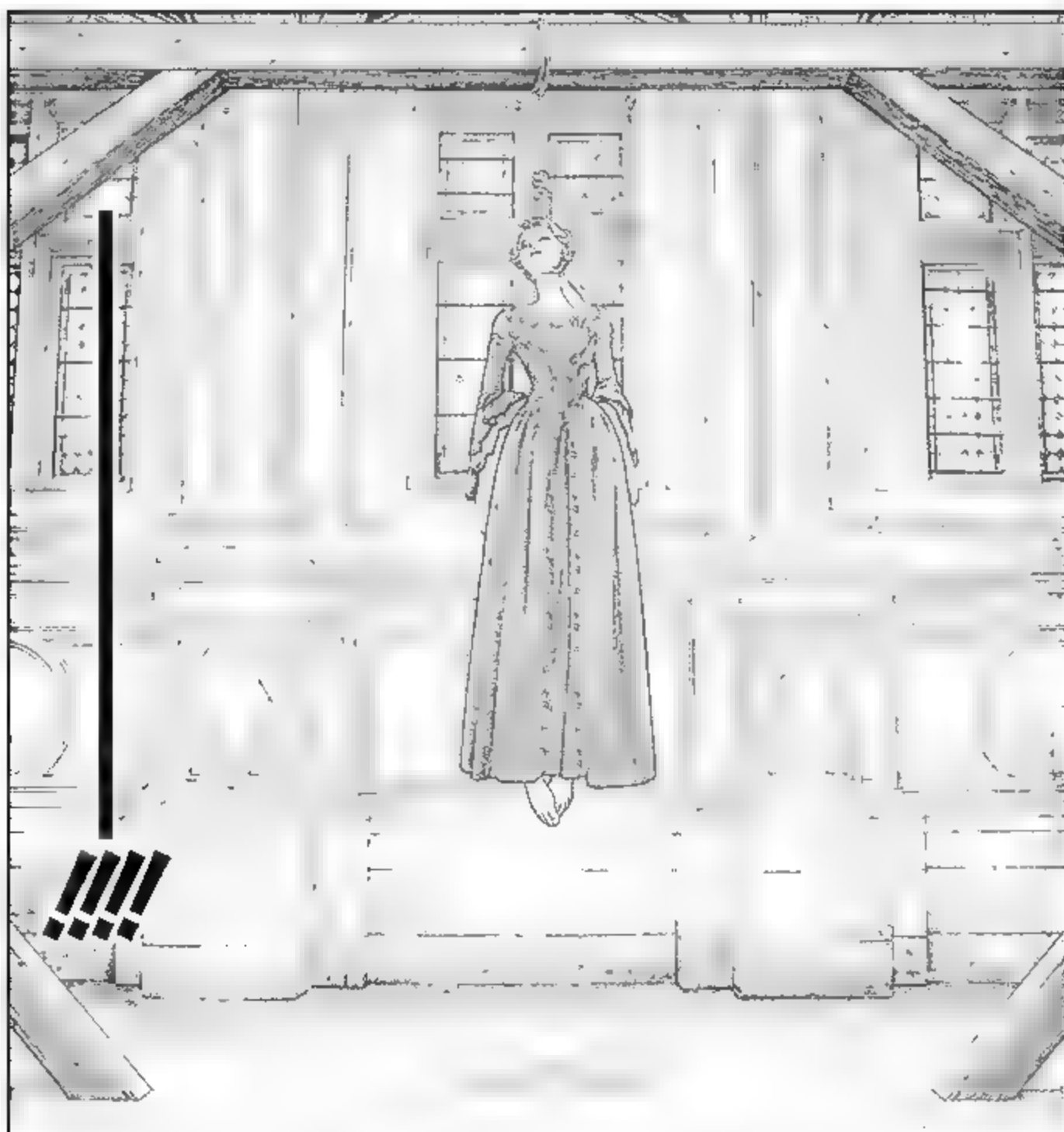




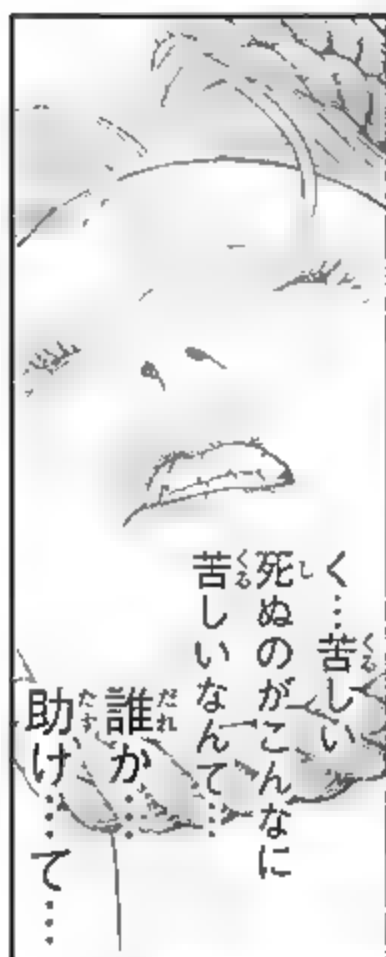












く…苦しい  
死ぬのがこんなに  
苦しいなんて…  
誰か…  
助け…て…



ほら坊や  
ご覧なさい

お前の  
お父様を殺した  
憎い仇の顔を

あの貴族の娘を  
苦しむ様を

少しでも長く  
その目に  
焼きつける  
のですよ!!!



かわいそうな  
エレヌ  
あかちゃんを  
うむときも一人

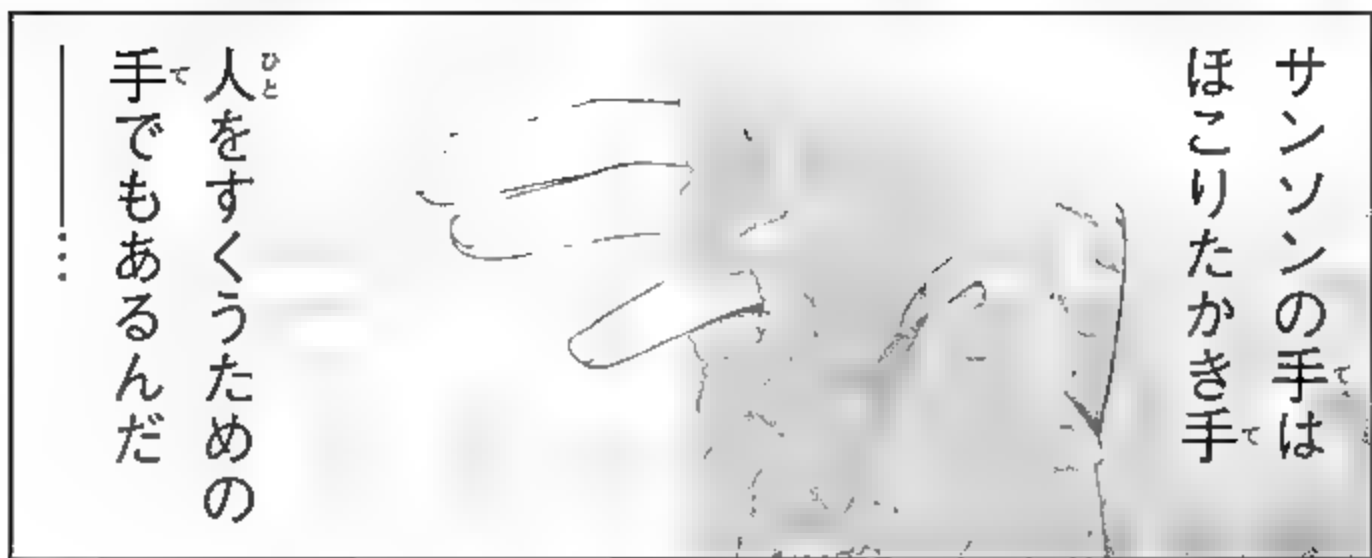
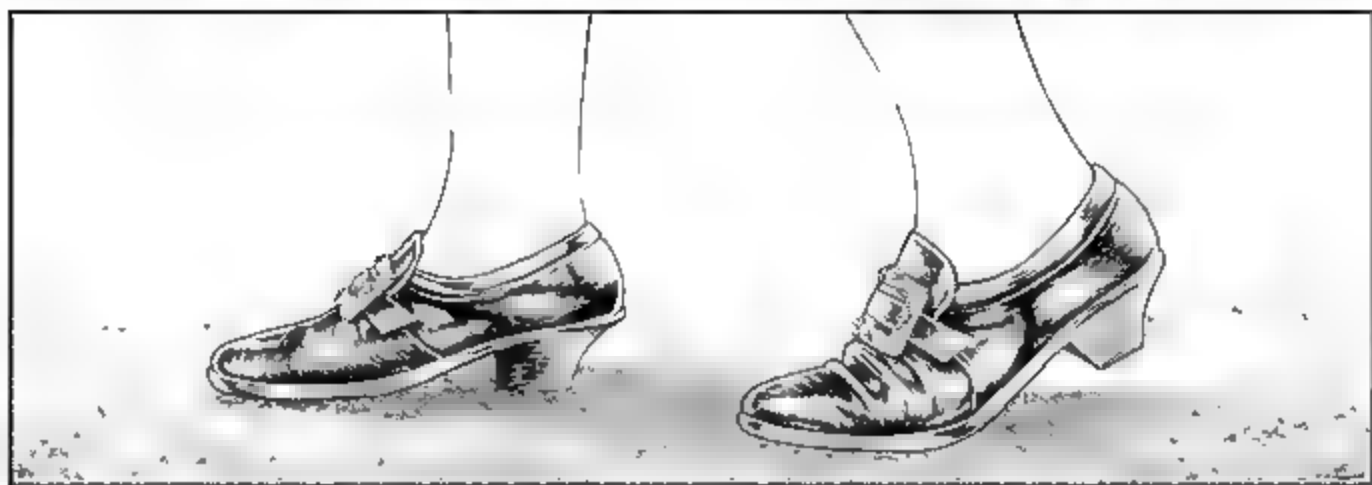
死ぬときも  
一人だなんて…



ぼくが  
いきます

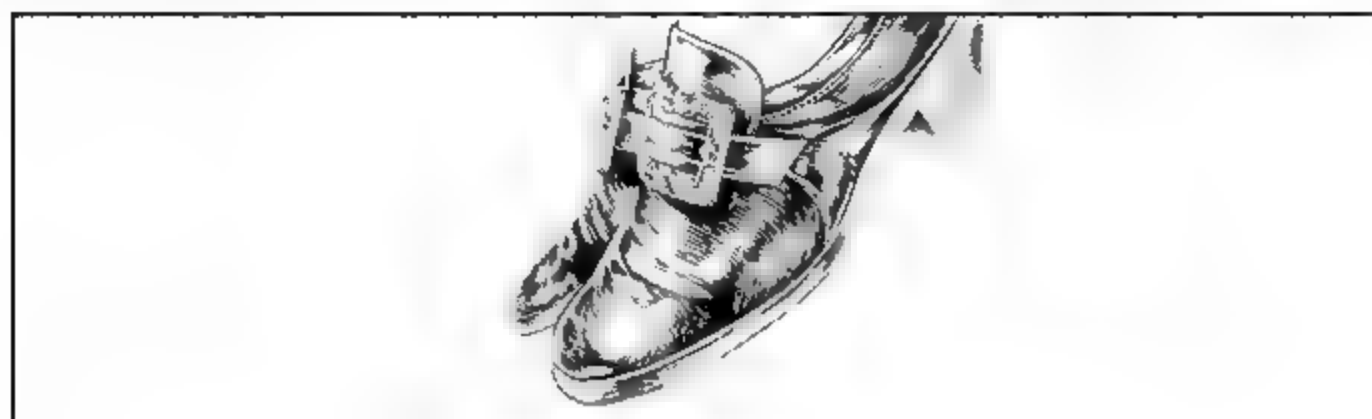


仕方が無い  
ならば  
助手を一人  
引っ張らせるか…



サンソンの手は  
ほこりたかき手

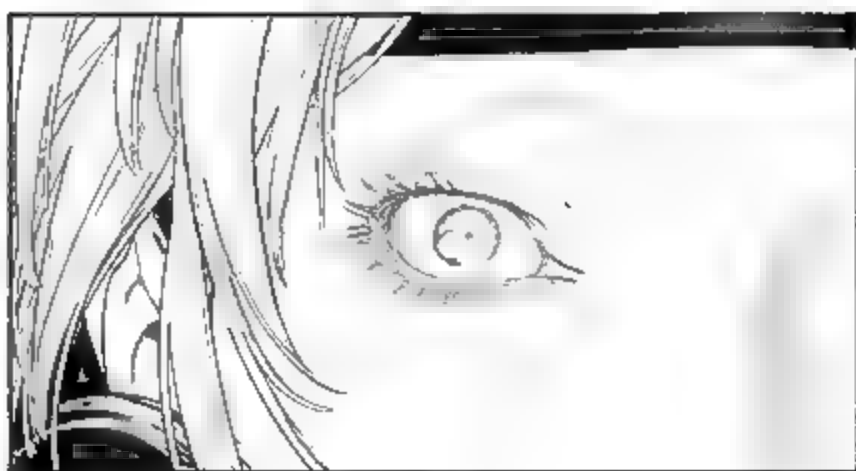
人をすくうための  
手でもあるんだ







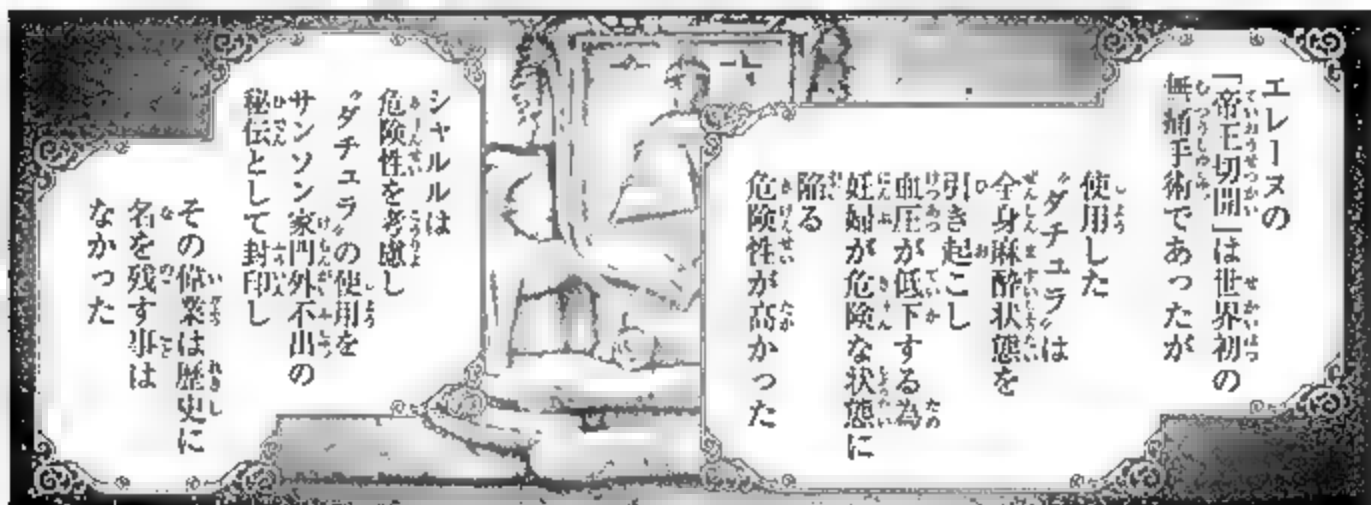
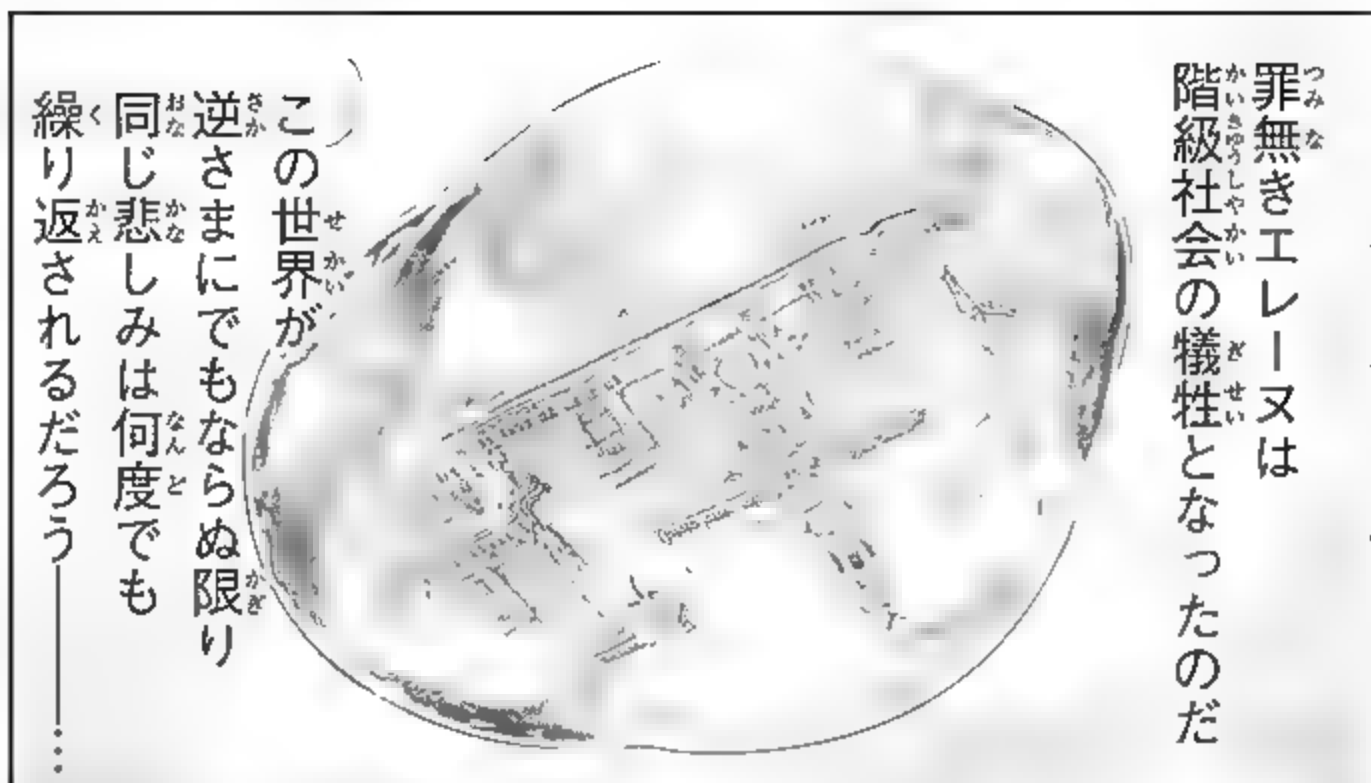
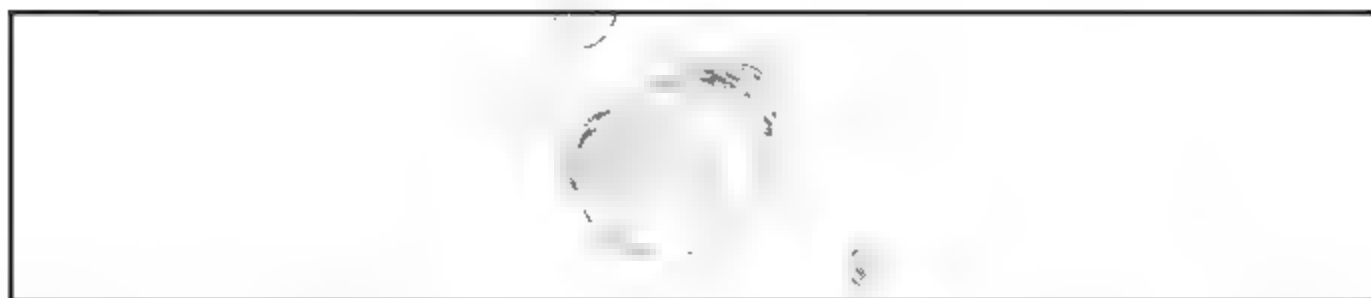




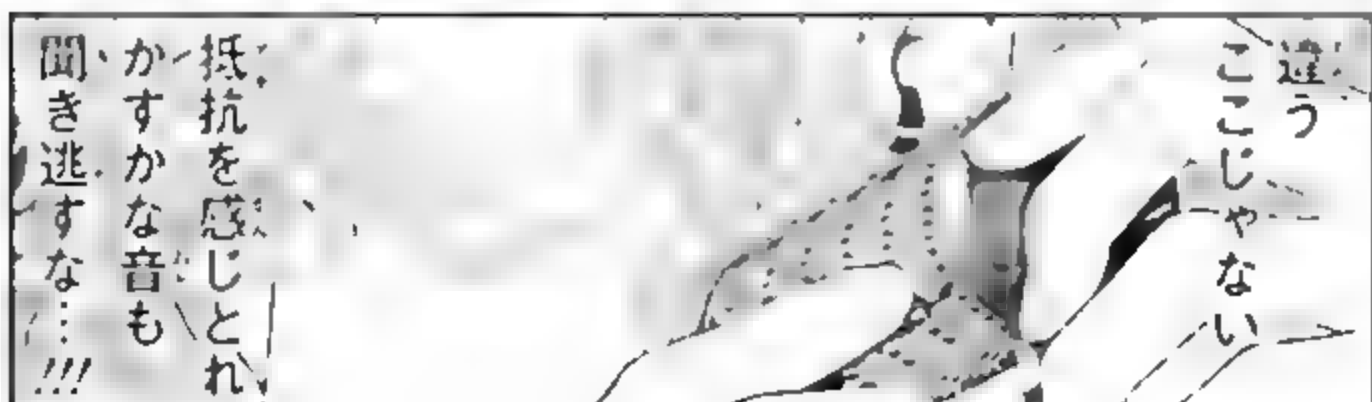








※実際には江戸時代の医師・華岡青洲の妻がダチュラの影響で失明している。



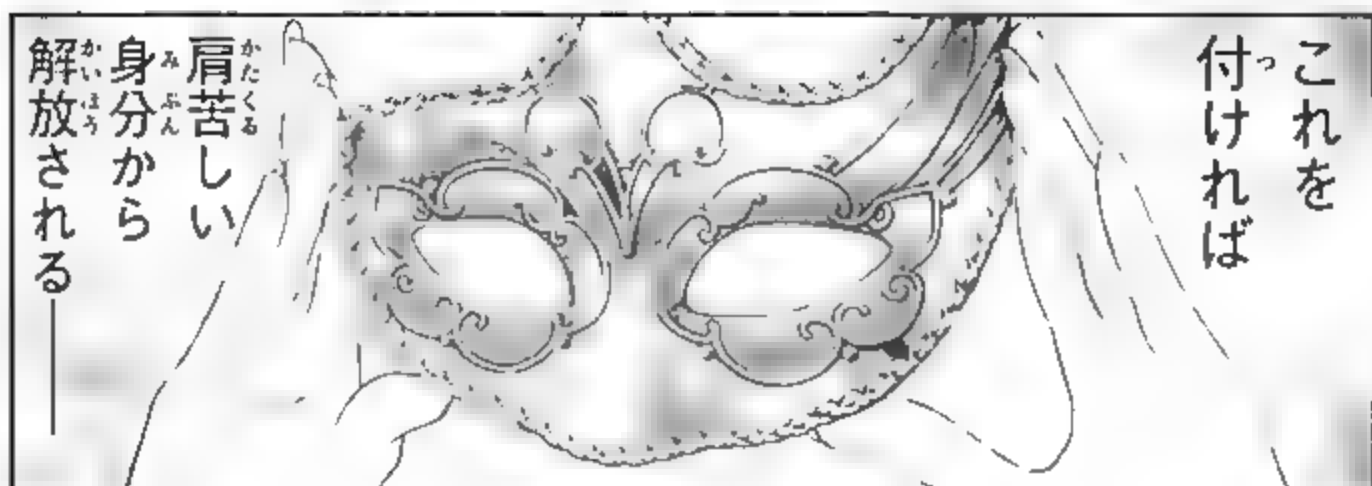
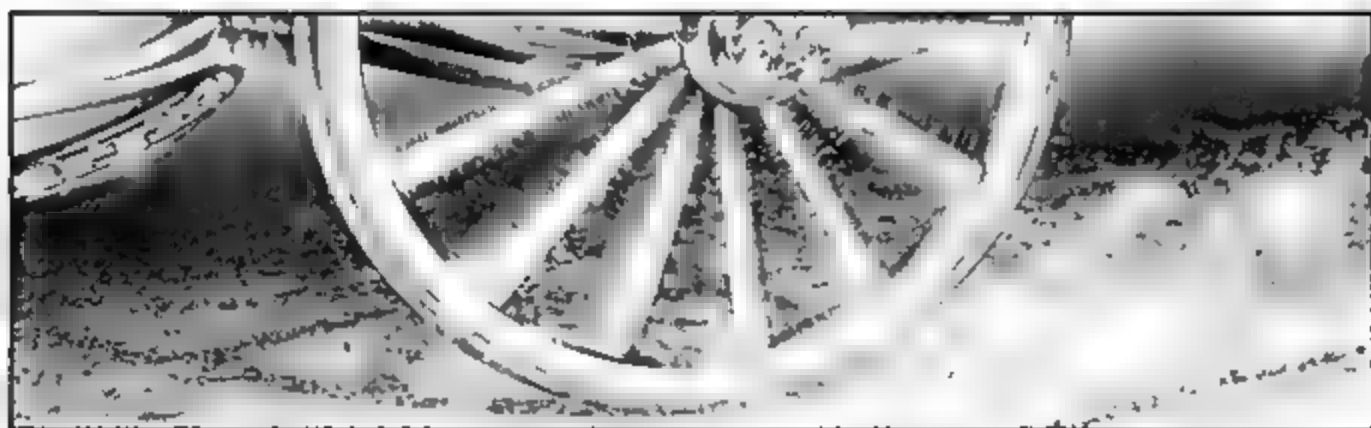
この  
難解な錠前を  
開ける事ができれば

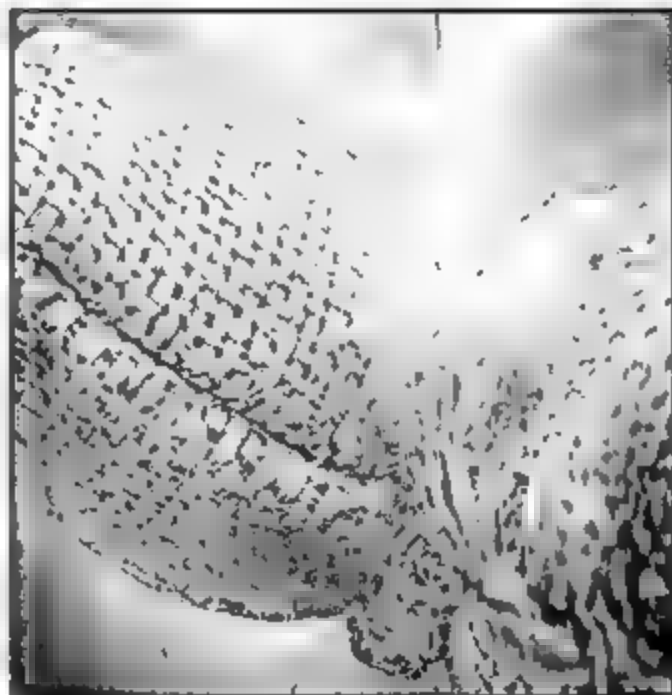
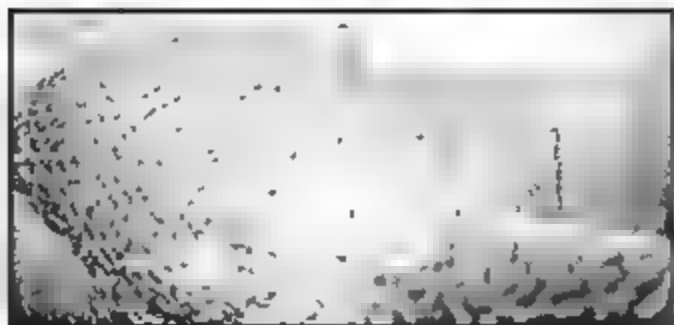
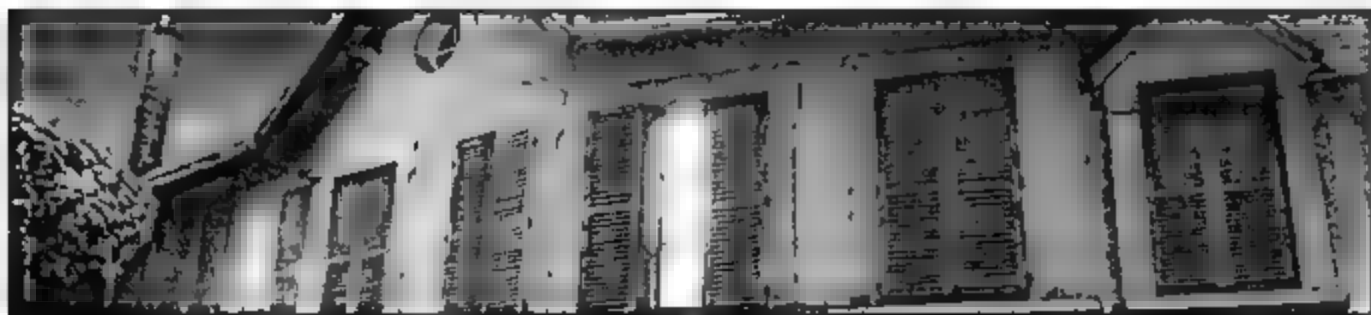


僕は変われる――

!!!!

n.6 山になる革命



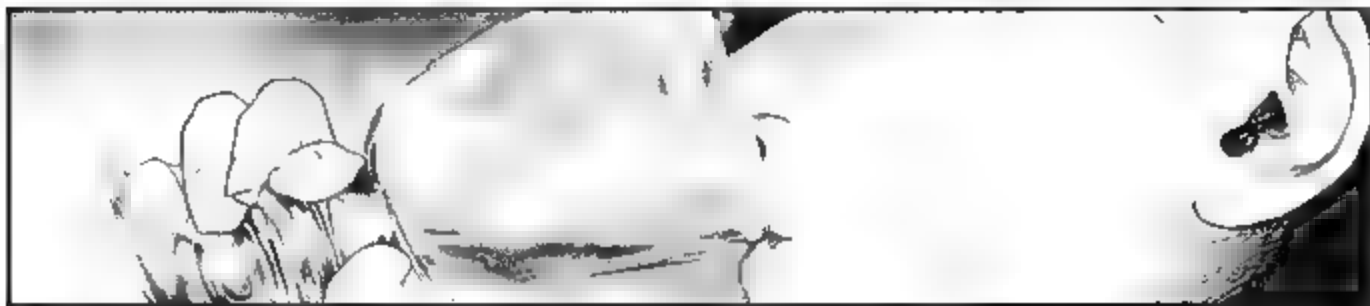


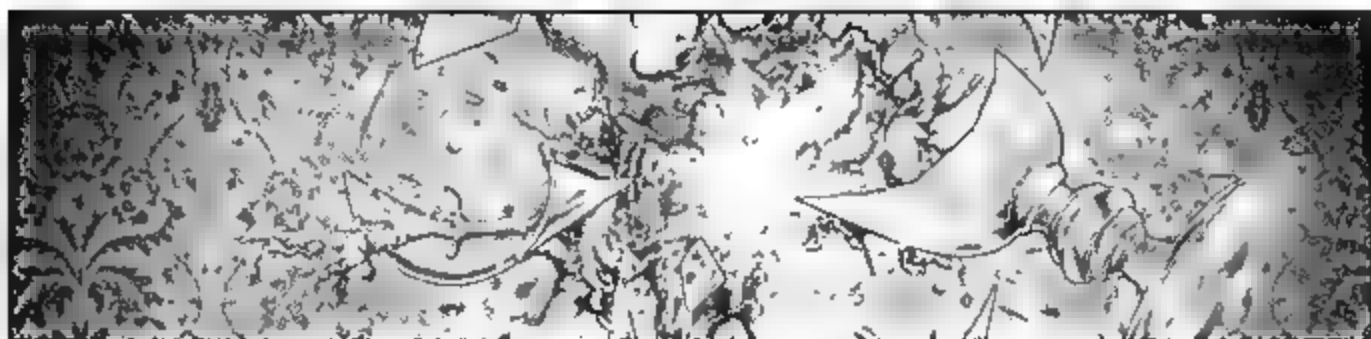
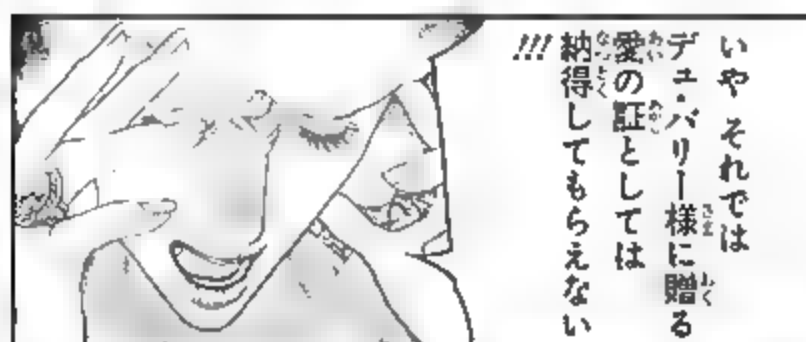




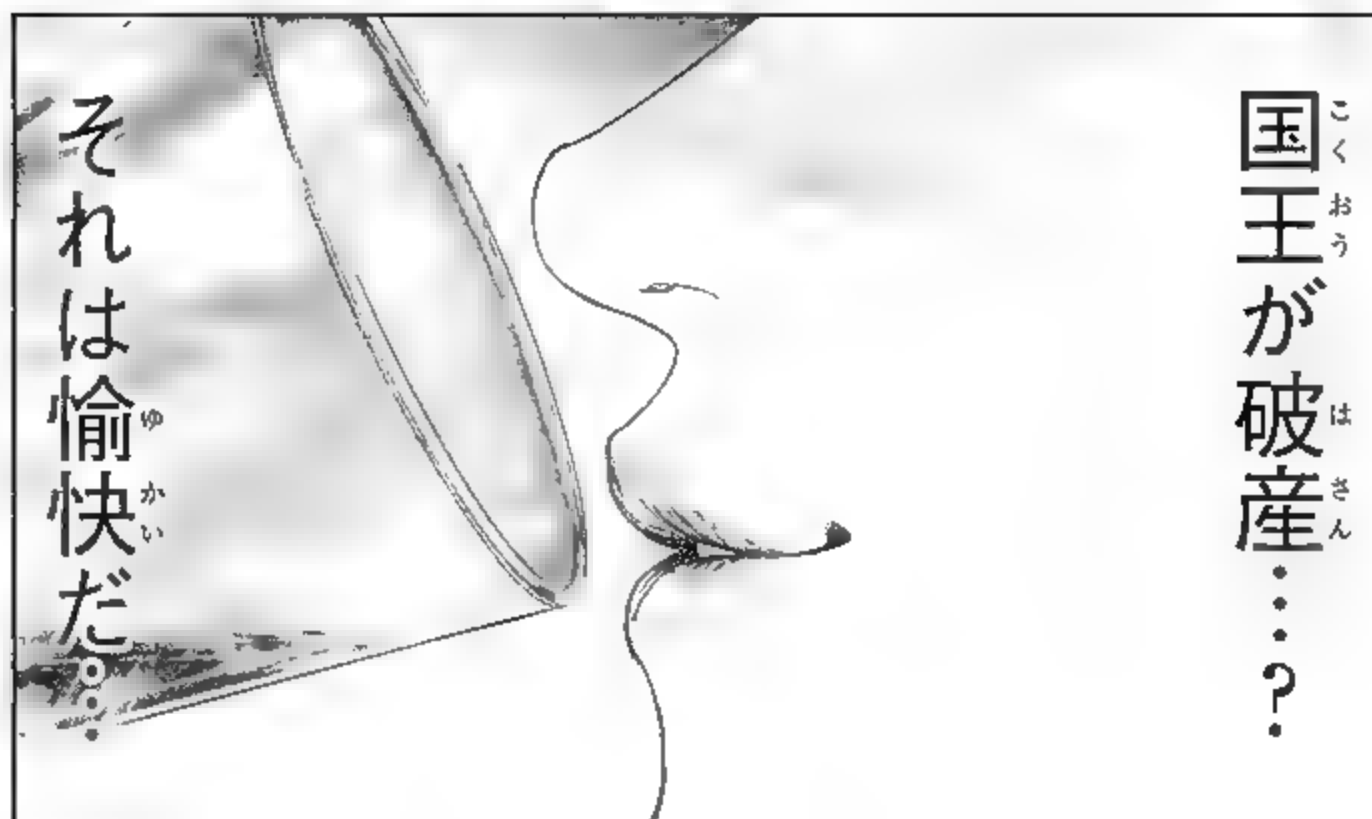
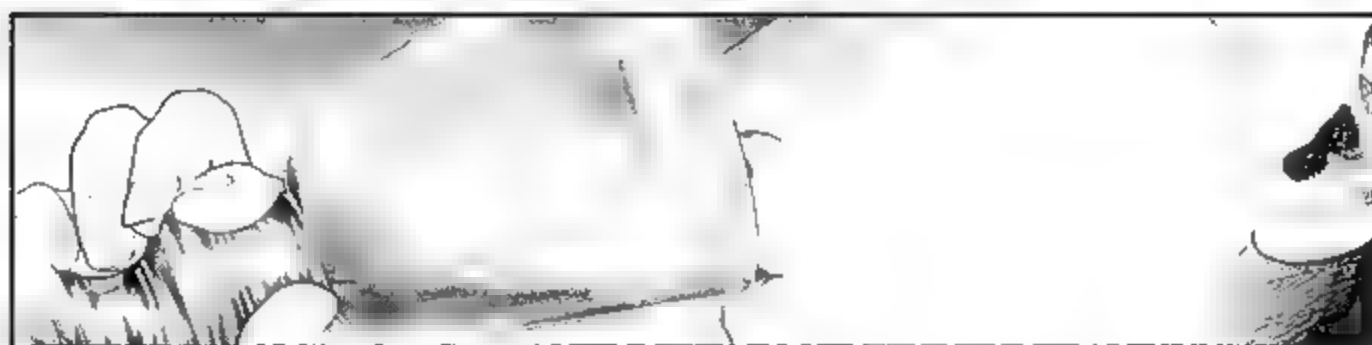


※現代日本における約2700億円の価値。

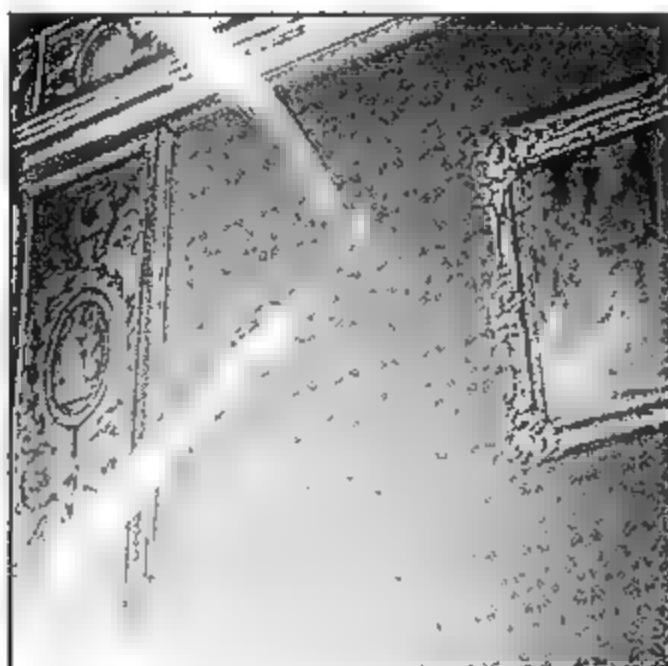
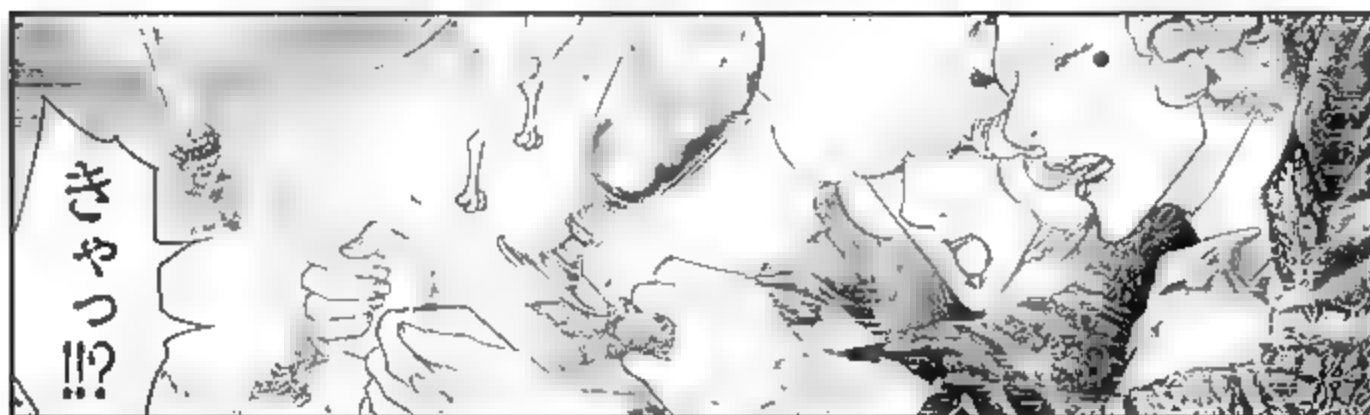








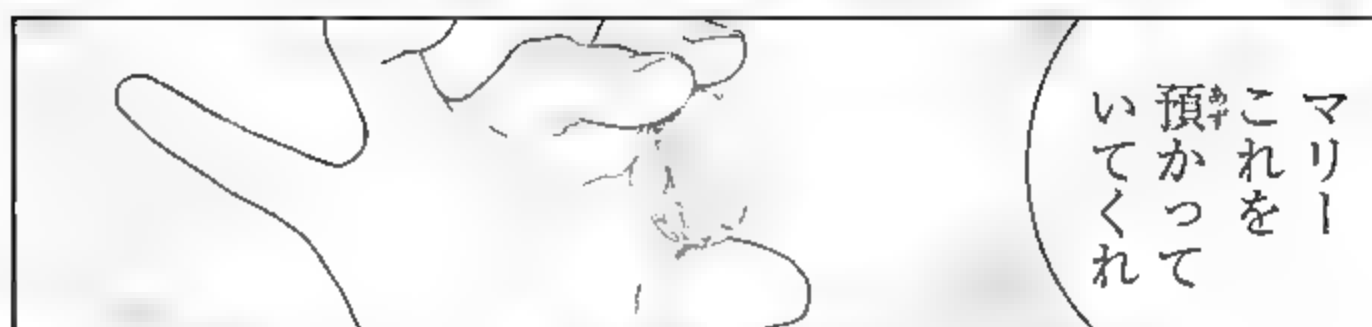


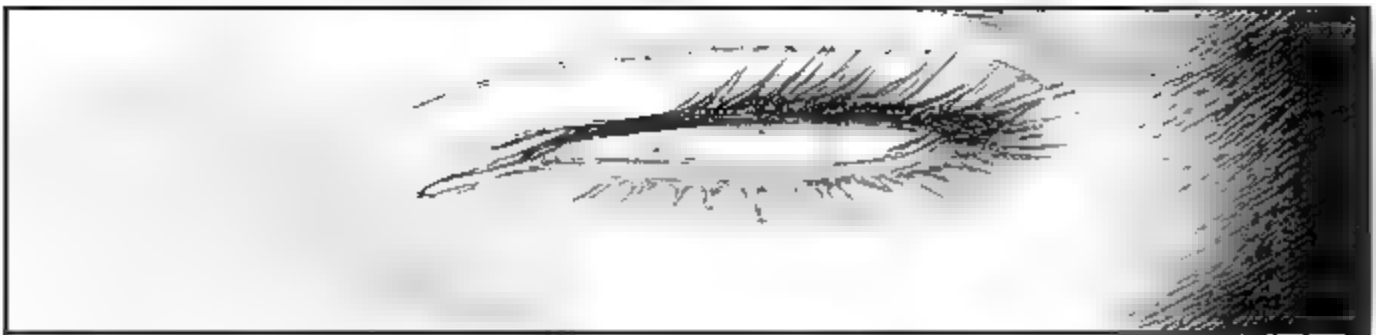


メッシーユ

私の<sup>わたし</sup>  
友達<sup>ともだち</sup>に  
何か<sup>なに</sup>用<sup>よう</sup>でも?

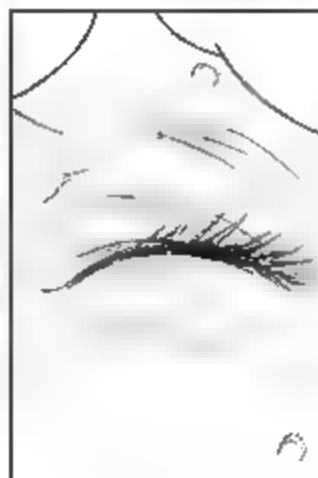
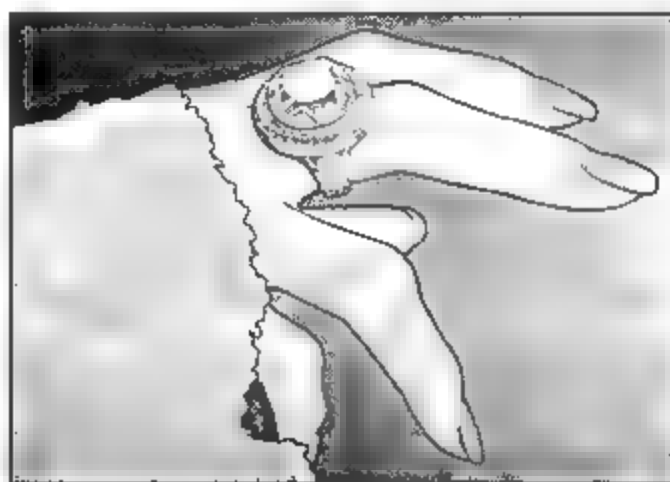
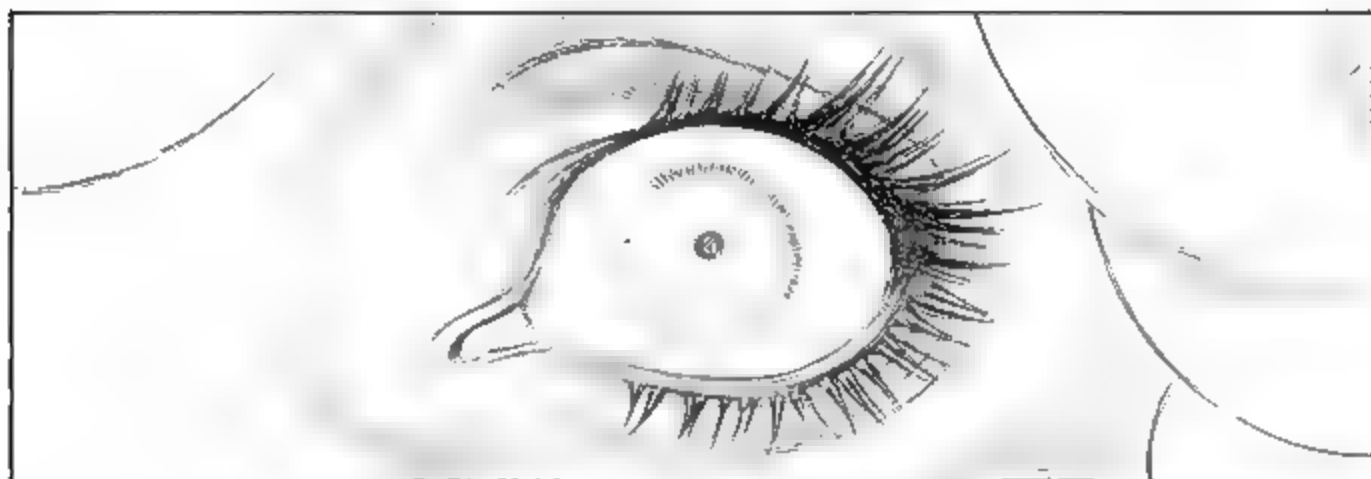
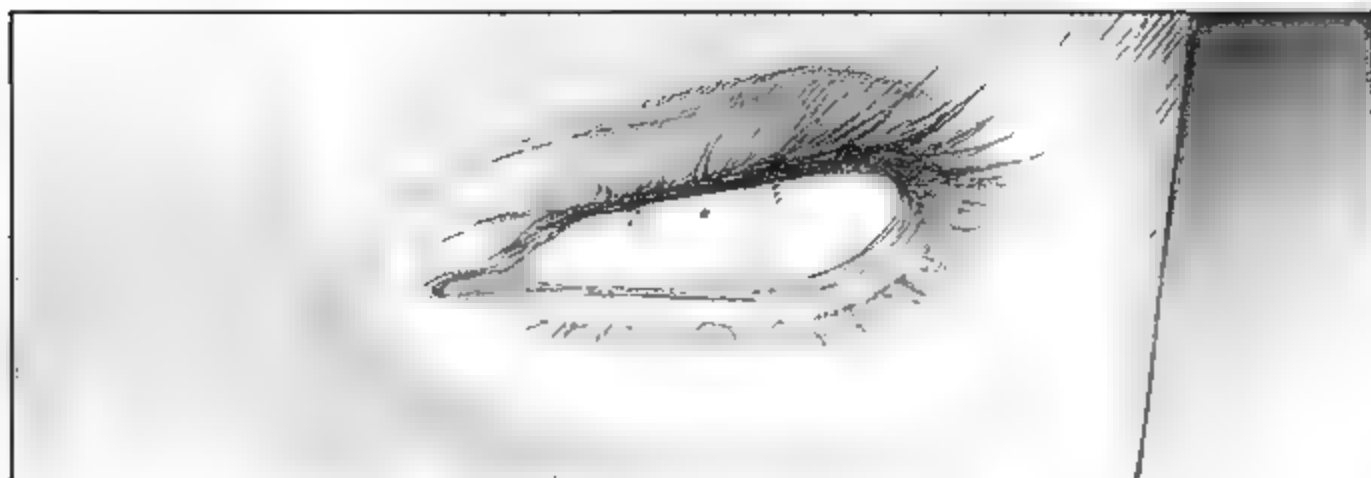


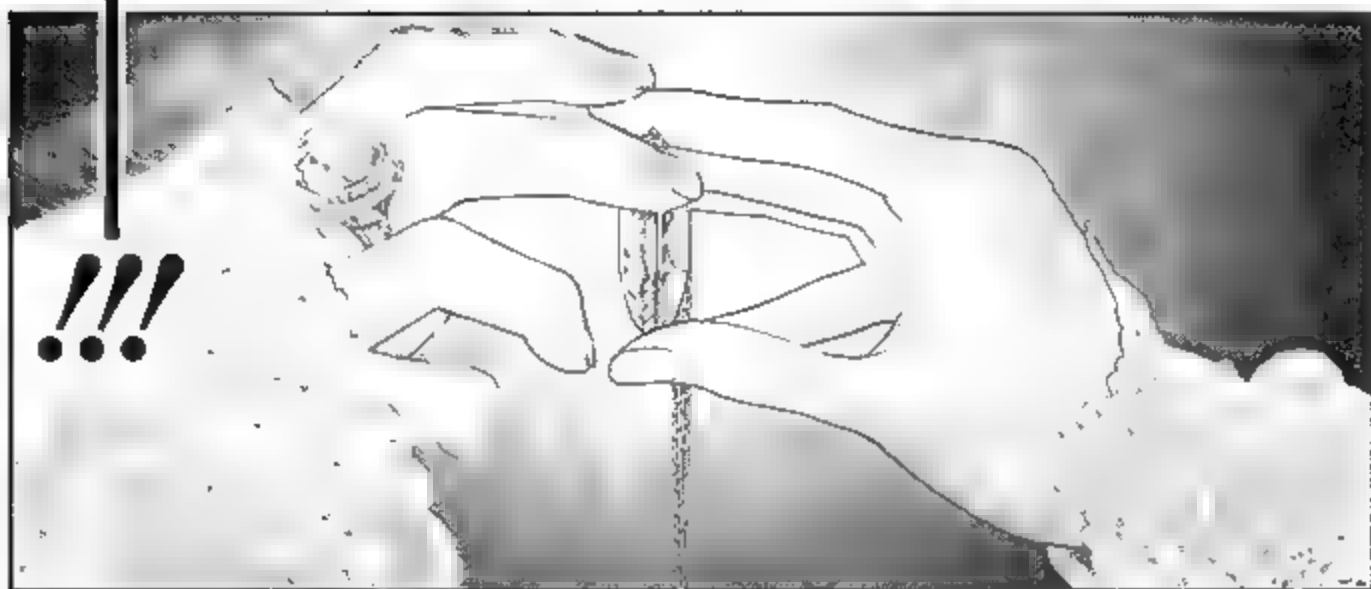


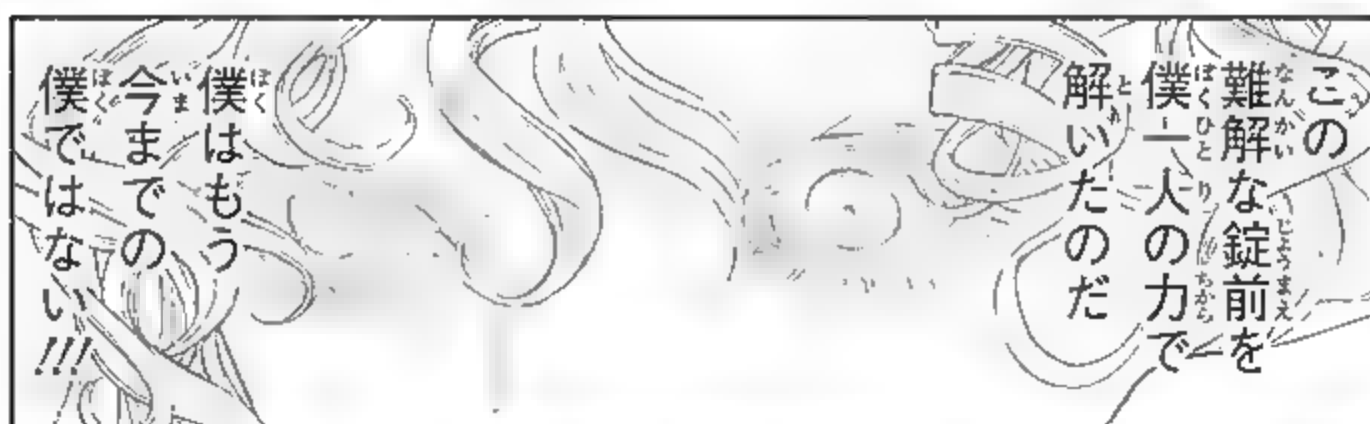
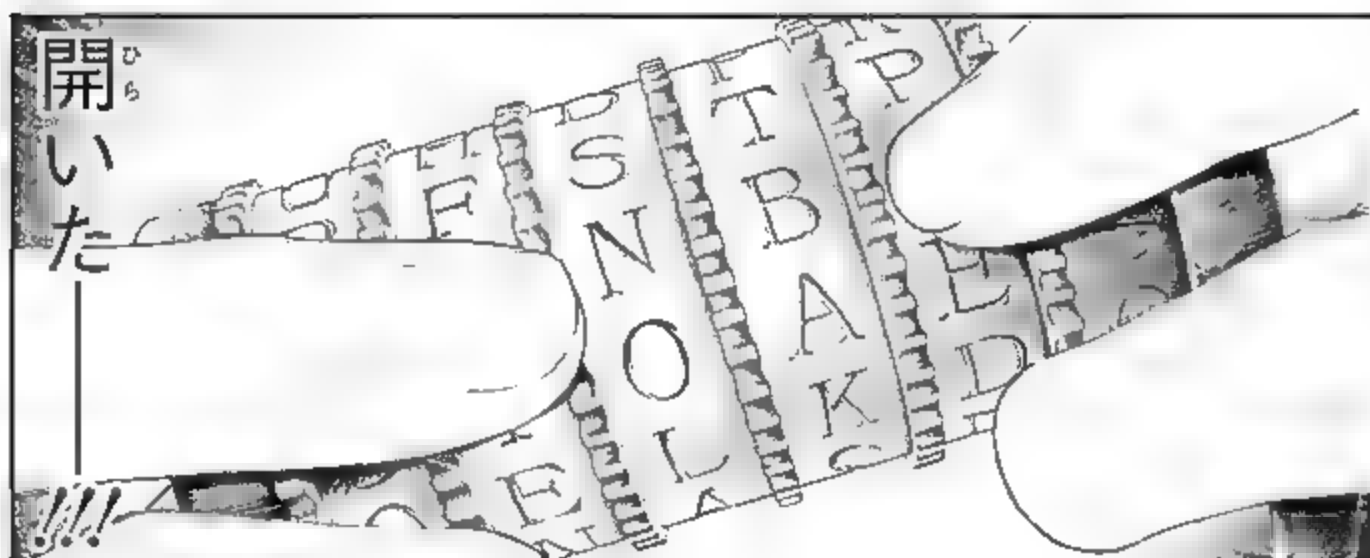




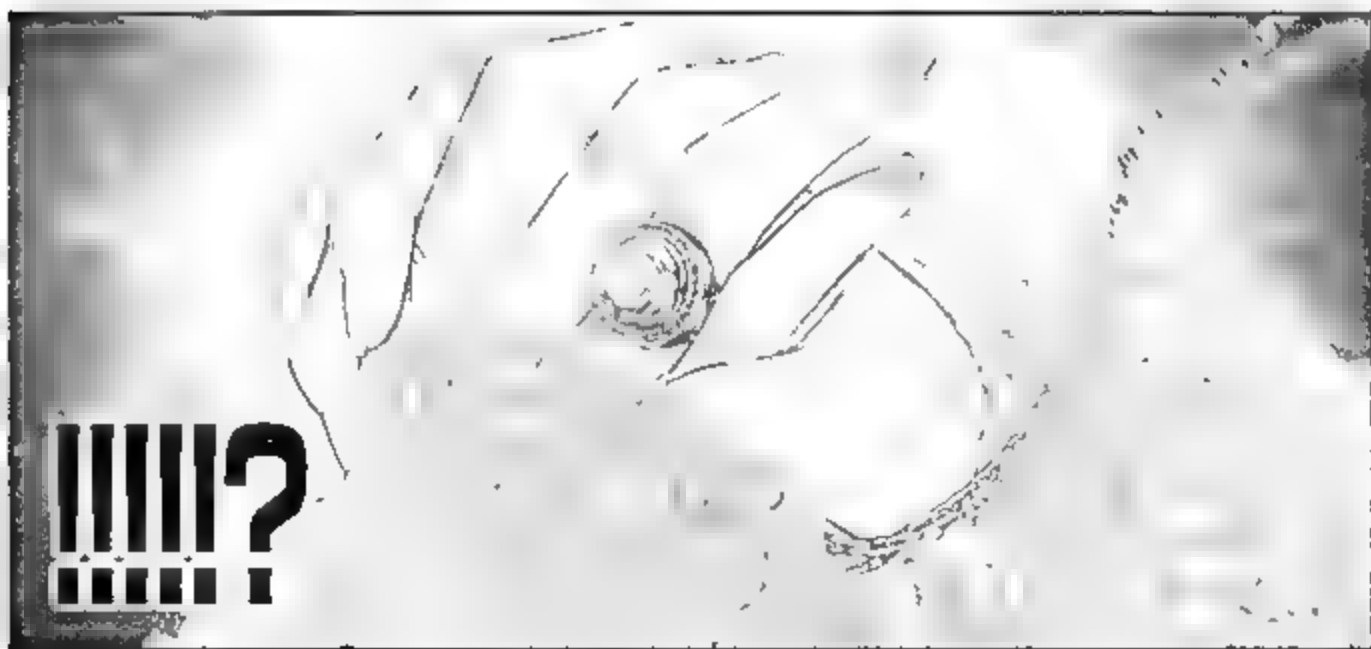






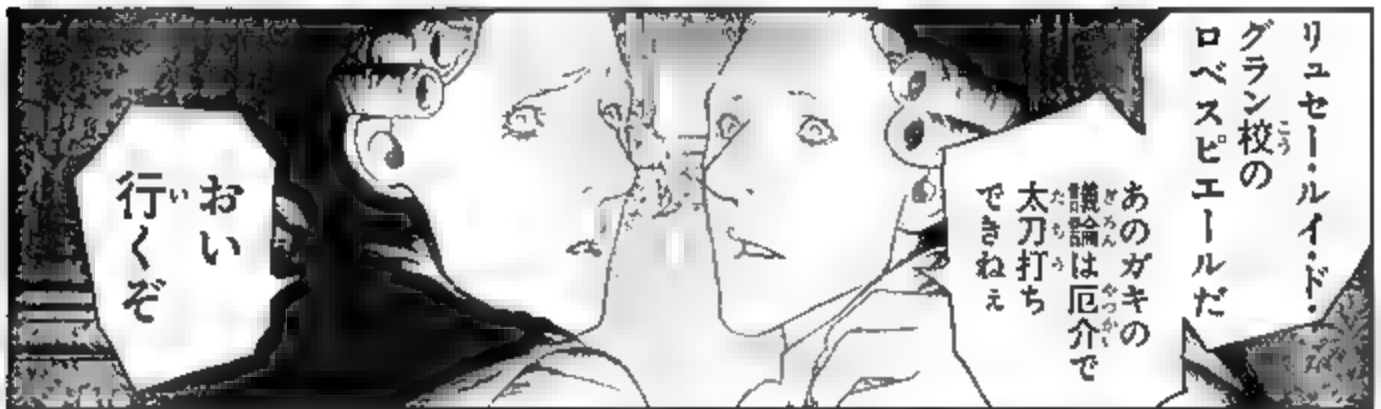
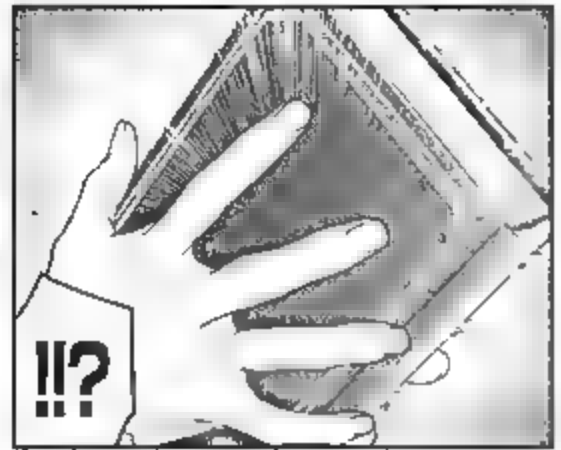


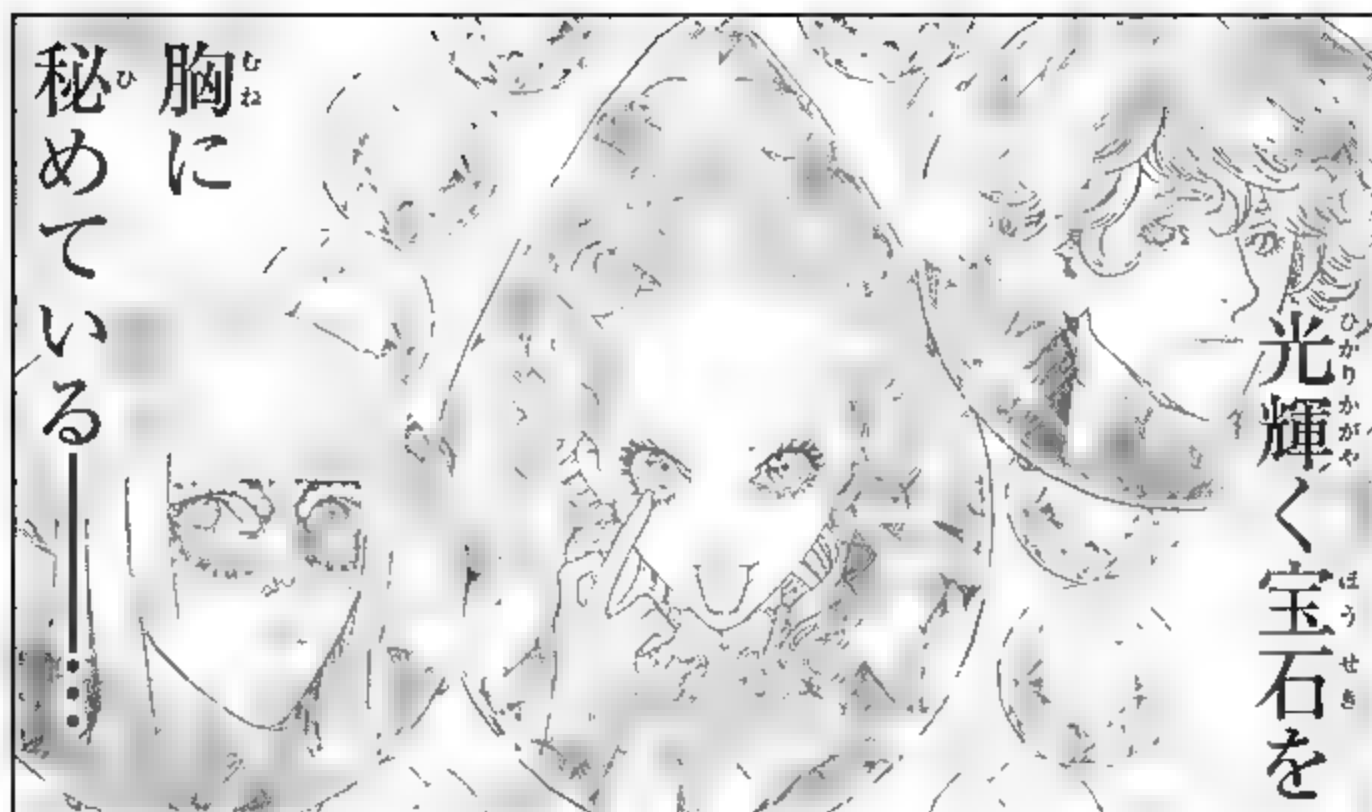
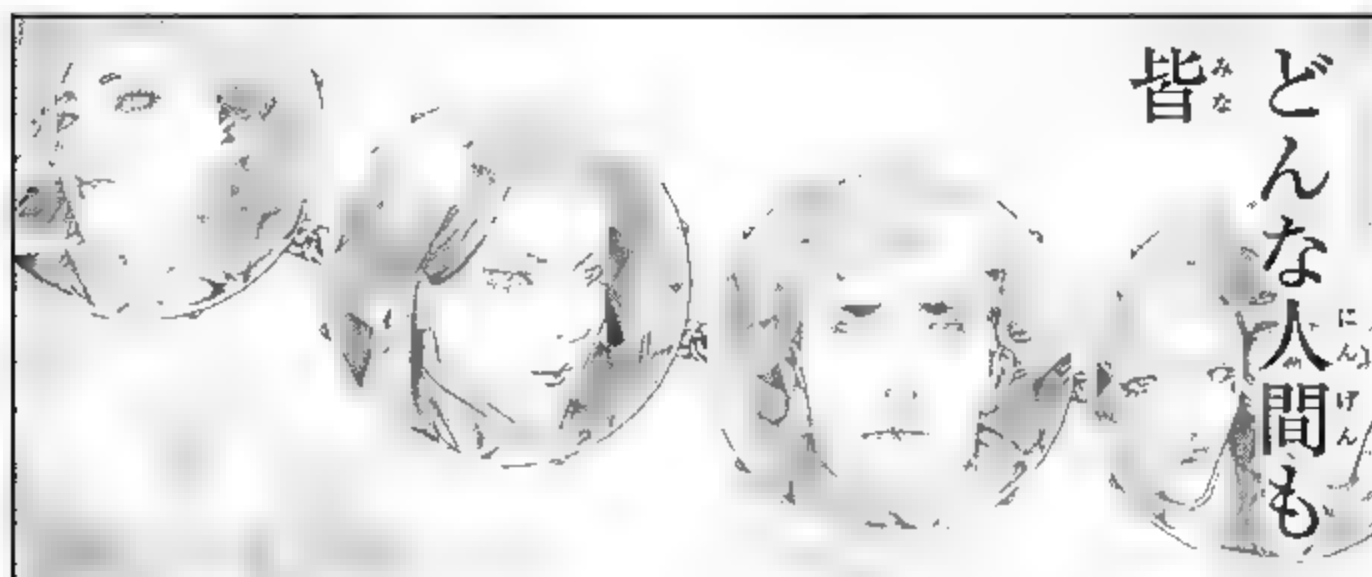




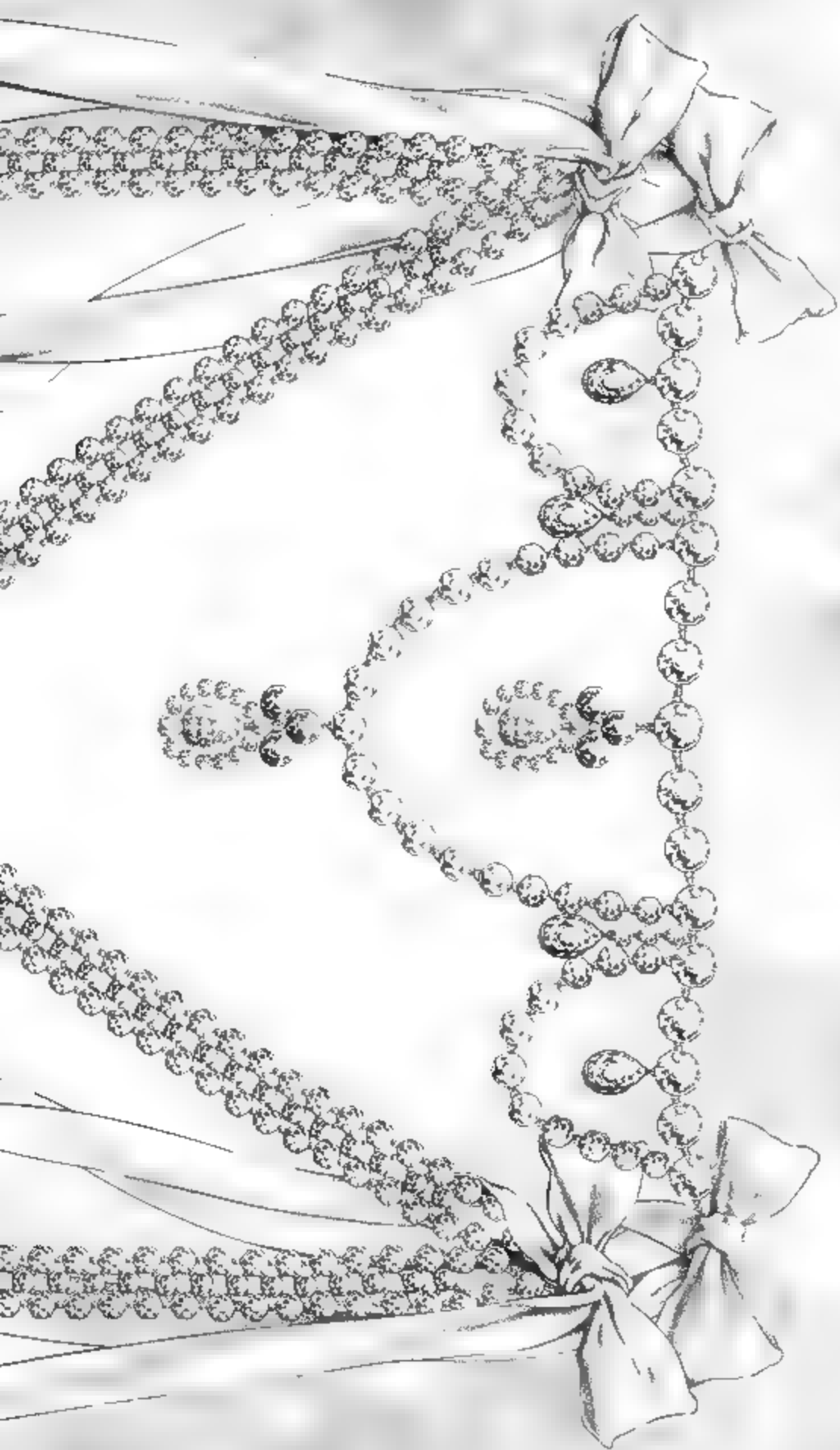








た か  
お そ  
戦いを恐れるな

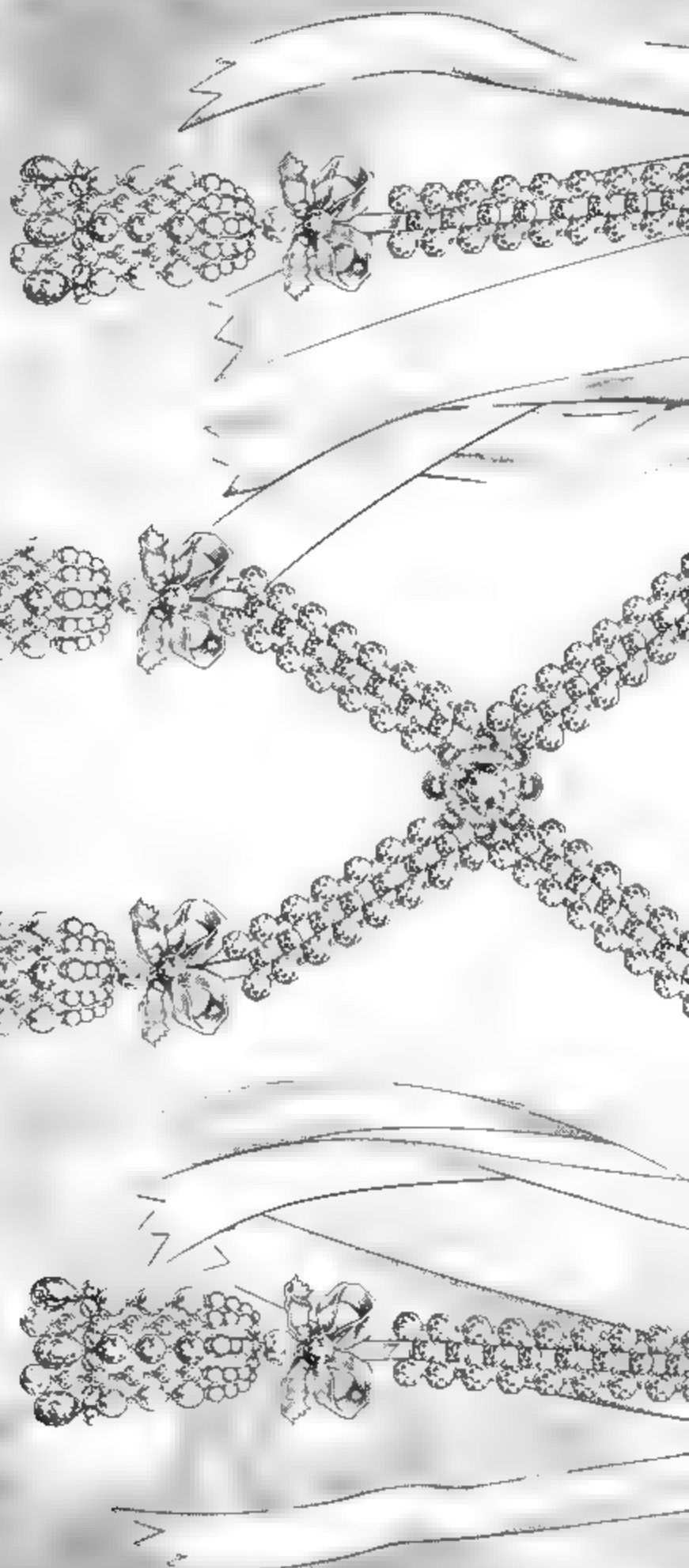


# 時代の流れで 己の勇気で 時代を変える——!!!

おのれ

ゆう

き





A suivre dans le volume 2.

# イノサン innocent *sin*

坂本眞一

【出典】

安達正勝

『死刑執行人サンソン』

(集英社新書)

※この作品は安達正勝著『死刑執行人サンソン』内の歴史的事実を  
坂本眞一による解釈で漫画化したものです。



[作画協力]

石塚サム

中村優児

神上郁真

中本美咲

小笠原左織

渡辺亮

[構成協力]

田中里佳

[時代考証協力]

長田龍太

来馬明規

小野りか

(SPONGE)

[デザイン]

小林満

工藤亜希

(ジュニアロイド)

[編集]

網島圭介



## イノサン Rouge ルージュ

1 巻

坂本眞一

© 坂本眞一 2015, 2015

初版発行 2015 年

デジタル版発行 2015 年

発行所 集英社

<http://www.shueisha.co.jp>

この作品は、デジタル配信用に再編集を行ったものです。

本作品の内容あるいはデータを、全部・一部にかかわらず、無断で複製、改竄、公衆送信（インターネット上への掲載を含む）することは、法律で禁じられています。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。